産業情報学科　科目一覧

産業技術学部　産業情報学科 【令和7年度以降の入学者対象】

【学科共通】教養教育系科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
教養教育系科目	主題別教育科目		哲学	講義	2	選択	1	選択科目　6単位以上
			歴史学	講義	2	選択	1	
			心理学	講義	2	選択	1	
			法律学	講義	2	選択	1	
			経済学	講義	2	選択	1	
			社会学	講義	2	選択	1	
			日本国憲法	講義	2	選択	1	
			言語学概論	講義	2	選択	1	
			現代科学	講義	2	選択	1	
	語学教育科目	外国語	英語A	演習	2	必修	1	・必修科目 14単位 ・選択必修科目 語学教育科目　2単位 健康・スポーツ科目　1単位 ・選択科目 11単位以上
			英語B	演習	2	必修	1	
			英語C	演習	2	選択	2	
			英語D	演習	2	選択	2	
		手話言語	アメリカ手話言語1	演習	1	選択	1	
			アメリカ手話言語2	演習	1	選択	1	
			手話コミュニケーション入門	講義	2	選択必修	1	
			日本手話言語基礎	講義	2	選択必修	1	
			手話コミュニケーション演習	演習	1	選択	1	
		日本語	日本語表現法A	演習	1	必修	1	
			日本語表現法B	演習	1	必修	1	
	健康・スポーツ教育科目		健康・スポーツA	講義・実習	1	必修	1	
			健康・スポーツB	講義・実習	1	必修	1	
			健康・スポーツC	講義・実習	1	必修	2	
			健康・スポーツD	講義・実習	1	選択必修	2	
			アウトドアスポーツ	講義・実習	1	選択必修	2	
			スノースポーツ	講義・実習	1	選択必修	2	
	キャリア教育科目		修学基礎	演習	1	必修	1	
			情報保障概論	講義	2	必修	1	
			企業・社会への参加とコミュニケーション	講義	2	選択	1	
			ろう・難聴者の社会資源と自分史	講義	2	必修	2	
			日本語社会とコミュニケーション	講義	2	選択	2	
			聴覚科学	講義	2	選択	2	
			聴覚障害と就労	講義	2	選択	3	
			障害者スポーツ	演習	1	選択	3	
			ライフキャリア	講義	2	選択	3	
			異文化コミュニケーション（COIL）	演習	1	選択	2・3・4	
			異文化コミュニケーション（米国）	演習	1	選択	2・3・4	
			教養A（放送大学）	講義	2	選択	1	
			教養B（放送大学）	講義	2	選択	1	
	卒業に必要な修得単位数（教養教育科目）							34単位以上

（注）卒業年次に「スノースポーツ」を履修することはできない。

産業情報学科 専門教育系科目

【学科共通】産業情報学基礎教育科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	産業情報学基礎教育科目	技術基礎科目	産業情報基礎・演習A	講義	3	必修	1	産業情報学基礎教育科目 21単位以上 必修科目　16単位 選択必修科目 1単位 選択科目　4単位以上
			産業情報基礎・演習B	講義	3	必修	1	
			数学演習A	演習	1	選択必修	1	
			数学演習B	演習	1	選択必修	1	
		データサイエンス科目	情報リテラシー	講義	2	必修	1	
			コンピュータシステム概論	講義	2	必修	1	
			線形代数学1	講義	2	必修	1	
			統計確率A	講義	2	必修	1	
			統計確率B	講義	2	選択	1	
			情報数理A	講義	2	選択	1	
			情報数理B	講義	2	選択	1	
		工学基礎科目	解析学1	講義	2	必修	1	
			解析学2	講義	2	選択	1	
			基礎力学A	講義	2	選択	1	
			基礎力学B	講義	2	選択	1	
			物理数学A	講義	2	選択	1	
			物理数学B	講義	2	選択	1	
			基礎電磁気学	講義	2	選択	2	
	卒業に必要な修得単位数（産業情報学基礎教育科目）							21単位以上

産業情報学科（情報科学コース）【令和7年度以降の入学者対象】

専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	情報科学概論	講義	2	必修	2	専門基礎教育科目 11単位以上 ・必修科目　9単位 ・選択科目　2単位以上
		データサイエンス概論	講義	2	必修	2	
		プログラミング演習1	演習	2	必修	2	
		電気回路学・演習1	講義・演習	3	必修	2	
		統計確率C	講義	2	選択	2	
		線形代数学2	講義	2	選択	2	
		幾何学1	講義	2	選択	2	
		応用数学A	講義	2	選択	2	
		幾何学2	講義	2	選択	2	
		情報数理C	講義	2	選択	3	
		応用数学B	講義	2	選択	2	
卒業に必要な修得単位数（専門基礎教育科目）							11単位以上

専門教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	電磁気学・演習	講義・演習	3	選択必修	2	専門教育科目 59単位以上 ・必修科目12単位 ・選択必修科目 12単位以上
		論理回路設計論・応用演習	講義・演習	3	選択必修	2	
		産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトC	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトD	演習	1	選択	2・3	
		情報科学研究プロジェクトA	演習	1	選択	2	
		ソフトウェア工学・演習1	講義・演習	3	必修	2	
		プログラミング演習2	演習	2	選択必修	2	
		電気回路学・演習2	講義・演習	3	選択必修	2	
		フィジカルコンピューティング論・演習	講義・演習	3	選択必修	2	
		データベース論・演習	講義・演習	1.5	選択必修	2	
		データベース設計論・演習	講義・演習	1.5	選択必修	2	
		アルゴリズムとデータ構造1	講義	2	選択	2	
		日本語テクニカルライティング	演習	1	選択	2	
		情報社会と情報倫理	講義	2	選択	2	
		会話情報学・基礎	講義	2	選択	2	
		情報保障技術学・演習	講義・演習	3	選択	2	
		情報科学研究プロジェクトB	演習	1	選択	2	
		アジャイル開発演習	演習	2	選択	2	
		ネットワーク・セキュリティ論	講義	2	必修	3	
		ネットワークシステム実験	実験	1	必修	3	
		ソフトウェア工学・演習2	講義・演習	3	選択必修	3	
		電子回路実験	実験	2	選択必修	3	
		電子回路学・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		インテリジェント制御工学	講義	2	選択必修	3	
		実践データサイエンス	講義・演習	3	選択必修	3	
		アルゴリズムとデータ構造2	講義	2	選択	3	
		情報科学特別講義	講義	2	選択	3	
		情報デザイン論・演習	講義・演習	3	選択	3	
		ヒューマンインタフェース論	講義	2	選択	3	
		会話情報学・応用	演習	1	選択	3	
		コンピュータ・アーキテクチャ	講義	2	選択	3	
		オペレーティングシステム論	講義	2	選択	3	
		情報保障システム工学・演習	講義・演習	3	選択	3	
		インターンシップ	実習	2	選択	3	
		情報科学研究プロジェクトC	演習	1	選択	3	
		画像工学・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		プログラミング応用演習	演習	2	選択必修	3	
		情報システムセキュリティ演習	演習	2	選択必修	3	
		ビッグデータ処理・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		機械学習・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		信号とシステム・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		電子CAD／CAE演習	演習	2	選択必修	3	
		コンピュータグラフィックス論	講義	2	選択	3	
		感性デザイン論・演習	講義・演習	3	選択	3	
		管理システム論	講義	2	選択	3	
		情報保障評価法・演習	講義・演習	3	選択	3	
		情報科学セミナー	演習	1	選択	3	
		情報科学研究プロジェクトD	演習	1	選択	3	
		音声・音響工学	講義	2	選択	4	
		LLMと生成AI	講義	2	選択	4	
		情報科学特別研究1	演習	2	必修	4	
		情報科学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）							59単位以上

産業情報学科（先端機械工学コース）【令和7年度以降の入学者対象】

専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	図学基礎論	講義	2	必修	2	専門基礎教育科目 15単位以上 ・必修科目15単位
		CAD基礎演習	演習	1	必修	2	
		力学1	講義	2	必修	2	
		機械設計製図演習1	演習	2	必修	2	
		機械設計製図演習2	演習	2	必修	2	
		力学2	講義	2	必修	2	
		基礎工学実験	実験	2	必修	2	
		プログラミング基礎演習	演習	2	必修	3	
卒業に必要な修得単位数（専門基礎教育科目）							15単位以上

専門教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	機械加工法実習A	演習	2	必修	2	専門教育科目　55単位以上 ・必修科目　34単位 ・選択科目　21単位以上
		産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトC	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトD	演習	1	選択	2・3	
		機械加工法	講義	2	必修	2	
		機械加工法実習B	演習	2	必修	2	
		力学演習1	演習	1	選択	2	
		力学演習2	演習	1	選択	2	
		機械要素	講義	2	必修	3	
		機械工学実験A	実験	2	必修	3	
		基礎動力学1	講義	2	必修	3	
		材料力学1	講義	2	必修	3	
		流れ学1	講義	2	必修	3	
		熱工学1	講義	2	必修	3	
		CAD/CAM演習1	演習	2	必修	3	
		CAD/CAM/CAE概説	講義・演習	2	必修	3	
		金属材料学	講義	2	選択	3	
		機械工学特別講義	講義	2	選択	3	
		インターンシップ	演習	2	選択	3	
		技術英語1	講義	2	必修	3	
		機械工学実験B	実験	2	必修	3	
		福祉機器設計学	講義	2	選択	3	
		基礎動力学2	講義	2	選択	3	
		材料力学2	講義	2	選択	3	
		流れ学2	講義	2	選択	3	
		熱工学2	講義	2	選択	3	
		CAD/CAM演習2	演習	2	選択	3	
		機械CAD/CAE演習	演習	2	必修	4	
		計測・制御工学	講義	2	選択	4	
		材料強度学	講義	2	選択	4	
		計算流体力学	講義	2	選択	4	
		技術英語2	講義	2	選択	4	
		流体力学	講義	2	選択	4	
		先端機械工学特別研究1	演習	2	必修	4	
		先端機械工学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）							55単位以上

産業情報学科（建築学コース）【令和7年度以降の入学者対象】

専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	建築計画基礎	講義	2	必修	2	専門基礎教育科目 11 単位以上 ・必修科目 11単位
		環境工学基礎	講義	2	必修	2	
		建築基礎製図	演習	3	必修	2	
		一般構造・構法	講義	2	必修	2	
		建築CAD演習	演習	2	必修	2	
卒業に必要な修得単位数（専門基礎教育科目）							11単位

専門教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	住居・住生活論	講義	2	必修	2	専門教育科目59単位以上 ・必修科目 32単位 ・選択必修 3単位 ・選択科目 24単位以上
		都市・地域計画論	講義	2	必修	2	
		建築構造基礎	講義	2	必修	2	
		環境工学	講義	2	必修	2	
		環境工学演習	演習	1	必修	2	
		住宅設計演習	演習	3	必修	2	
		建築人間工学論・演習	講義・演習	3	選択	2	
		建築デザイン論	講義	1	選択	2	
		産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトC	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトD	演習	1	選択	2・3	
		構造力学1	講義	2	必修	3	
		建築材料学	講義	2	必修	3	
		建築設備	講義	2	必修	3	
		地域施設計画論	講義	2	必修	3	
		建築生産	講義	2	必修	3	
		地域住環境設計演習	演習	3	必修	3	
		建築法規	講義	1	必修	3	
		地域施設設計演習A	演習	3	選択必修	3	
		地域施設設計演習B	演習	3	選択必修	3	
		建築史	講義	2	選択	3	
		福祉住環境デザイン論	講義	2	選択	3	
		建築プレゼンテーション演習	演習	2	選択	3	
		インターンシップ	実習	2	選択	3	
		建築学特別セミナー	演習	1	選択	3	
		構造力学2	講義	2	選択	3	
		環境工学実験	演習	1	選択	3	
		設計論	講義	1	選択	3	
		医療福祉施設計画論	講義	2	選択	3	
		建築設備演習	演習	1	選択	3	
		プロジェクト演習	演習	1	選択	3	
		構造設計論	講義	2	選択	4	
		建築情報・構造CAE	講義・演習	3	選択	4	
		建築環境CAE	講義	2	選択	4	
		エコ環境論	講義	2	選択	4	
		住環境整備論	講義	2	選択	4	
		複合施設設計演習	演習	3	選択	4	
		建築学特別研究1	演習	2	必修	4	
		建築学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）							59単位以上

産業情報学科（支援技術学コース　情報保障工学領域）【令和7年度以降の入学者対象】

専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	情報科学概論	講義	2	必修	2	専門基礎教育科目11単位以上 ・必修科目　9単位 ・選択科目　2単位以上
		データサイエンス概論	講義	2	必修	2	
		プログラミング演習1	演習	2	必修	2	
		電気回路学・演習1	講義・演習	3	必修	2	
		統計確率C	講義	2	選択	2	
		線形代数学2	講義	2	選択	2	
		幾何学1	講義	2	選択	2	
		応用数学A	講義	2	選択	2	
		幾何学2	講義	2	選択	2	
		情報数理C	講義	2	選択	3	
		応用数学B	講義	2	選択	2	
卒業に必要な修得単位数（専門基礎教育科目）							11単位以上

専門教育科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	領域横断教育科目	支援技術学論・演習A	講義・演習	3	必修	2	専門教育科目59単位以上 ・必修科目　26単位 ・選択科目　33単位以上 （うち情報系21単位以上）
			支援技術学論・演習B	講義・演習	3	必修	2	
			支援技術学特別講義	講義	2	必修	3	
			障害の特性と理解	講義	2	選択	2	
			障害社会学	講義	2	選択	2	
			ダイバーシティの理解	講義	2	選択	3	
			教育とダイバーシティ	講義	2	選択	3	
			社会福祉学	講義	2	選択	4	
			情報アクセシビリティ演習	演習	1	選択	3	
			情報保障技術学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	必修	2	
			情報保障システム工学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	必修	3	
			情報保障評価法・演習＜情報系＞	講義・演習	3	必修	3	
			福祉機器設計学＜機械系＞	講義	2	選択	3	
			福祉機器材料学＜機械系＞	講義	2	選択	4	
			住居・住生活論＜建築系＞	講義	2	選択	2	
			福祉住環境デザイン論＜建築系＞	講義	2	選択	4	
			医療福祉施設計画論＜建築系＞	講義	2	選択	4	
			ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	講義	2	選択	3	
			アクセシブルデザイン演習＜デザイン系＞	演習	1	選択	3	
			映像論・演習＜デザイン系＞	講義・演習	3	選択	2	
		情報系専門教育科目	電磁気学・演習	講義・演習	3	選択	2	
			産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトC	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトD	演習	1	選択	2・3	
			情報保障工学研究プロジェクトA	演習	1	選択	2	
			ソフトウェア工学・演習1	講義・演習	3	選択	2	
			プログラミング演習2	演習	2	選択	2	
			データベース論・演習	講義・演習	1.5	選択	2	
			データベース設計論・演習	講義・演習	1.5	選択	2	
			情報社会と情報倫理	講義	2	選択	2	
			会話情報学・基礎	講義	2	選択	2	
			アルゴリズムとデータ構造1	講義	2	選択	2	
			電気回路学・演習2	講義・演習	3	選択	2	
			フィジカルコンピューティング論・演習	講義・演習	3	選択	2	
			日本語テクニカルライティング	演習	1	選択	2	
			情報保障工学研究プロジェクトB	演習	1	選択	2	
			ネットワーク・セキュリティ論	講義	2	必修	3	
			ネットワークシステム実験	実験	1	必修	3	
			アルゴリズムとデータ構造2	講義	2	選択	3	
			情報保障工学特別講義	講義	2	選択	3	
			ヒューマンインタフェース論	講義	2	選択	3	
			会話情報学・応用	演習	1	選択	3	
			インターンシップ	実習	2	選択	3	
			実践データサイエンス	講義・演習	3	選択	3	
			ソフトウェア工学・演習2	講義・演習	3	選択	3	
			電子回路学・演習	講義・演習	3	選択	3	
			インテリジェント制御工学	講義	2	選択	3	
			情報保障工学研究プロジェクトC	演習	1	選択	3	
			信号とシステム・演習	講義・演習	3	選択	3	
			管理システム論	講義	2	選択	3	
			プログラミング応用演習	演習	2	選択	3	
			情報システムセキュリティ演習	演習	2	選択	3	
			ビッグデータ処理・演習	講義・演習	3	選択	3	
			画像工学・演習	講義・演習	3	選択	3	
			情報保障工学研究プロジェクトD	演習	1	選択	3	
			機械学習・演習	講義・演習	3	選択	3	
			感性デザイン論・演習	講義・演習	3	選択	3	
			コンピュータグラフィックス論	講義	2	選択	3	
			情報科学セミナー	演習	1	選択	3	
			音声・音響工学	講義	2	選択	4	
			LLMと生成AI	講義	2	選択	4	
			情報保障工学特別研究1	演習	2	必修	4	
			情報保障工学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）								59単位以上

産業情報学科（支援技術学コース 福祉機器工学領域）【令和7年度以降の入学者対象】
専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	図学基礎論	講義	2	必修	2	専門基礎教育科目13単位以上 ・必修科目13単位
		CAD基礎演習	演習	1	必修	2	
		力学1	講義	2	必修	2	
		機械設計製図演習1	演習	2	必修	2	
		機械設計製図演習2	演習	2	必修	2	
		基礎工学実験	実験	2	必修	2	
		プログラミング基礎演習	演習	2	必修	3	
							13単位以上

専門教育科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	領域横断教育科目	支援技術学論・演習A	講義・演習	3	必修	2	専門教育科目　57単位以上 ・必修科目37単位 ・選択科目20単位以上
			支援技術学論・演習B	講義・演習	3	必修	2	
			支援技術学特別講義	講義	2	必修	3	
			障害の特性と理解	講義	2	選択	2	
			障害社会学	講義	2	選択	2	
			ダイバーシティの理解	講義	2	選択	3	
			教育とダイバーシティ	講義	2	選択	3	
			社会福祉学	講義	2	選択	4	
			情報アクセシビリティ演習	演習	1	選択	3	
			情報保障技術学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	2	
			情報保障システム工学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			情報保障評価法・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			福祉機器設計学＜機械系＞	講義	2	必修	3	
			福祉機器材料学＜機械系＞	講義	2	必修	4	
			住居・住生活論＜建築系＞	講義	2	選択	2	
			福祉住環境デザイン論＜建築系＞	講義	2	選択	4	
			医療福祉施設計画論＜建築系＞	講義	2	選択	4	
			ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	講義	2	選択	3	
			アクセシブルデザイン演習〈デザイン系＞	演習	1	選択	3	
			映像論・演習〈デザイン系〉	講義・演習	3	選択	2	
		機械系専門教育科目	機械加工法実習A	演習	2	必修	2	
			産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトC	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトD	演習	1	選択	2・3	
			機械加工法	講義	2	必修	2	
			幾何学1	講義	2	選択	2	
			幾何学2	講義	2	選択	2	
			力学2	講義	2	選択	2	
			力学演習1	演習	1	選択	2	
			力学演習2	演習	1	選択	2	
			機械加工法実習B	演習	2	必修	2	
			機械要素	講義	2	必修	3	
			機械工学実験A	実験	2	必修	3	
			材料力学1	講義	2	選択	3	
			流れ学1	講義	2	選択	3	
			基礎動力学1	講義	2	選択	3	
			熱工学1	講義	2	選択	3	
			CAD/CAM演習1	演習	2	必修	3	
			CAD/CAM/CAE概説	講義・演習	2	選択	3	
			インターンシップ	演習	2	選択	3	
			金属材料学	講義	2	選択	3	
			福祉ボランティア	演習	1	必修	3	
			機械工学特別講義	講義	2	選択	3	
			プログラミング演習	演習	2	必修	3	
			バイオメカニクスA	講義	2	選択	3	
			技術英語1	講義	2	必修	3	
			機械工学実験B	実験	2	必修	3	
			CAD/CAM演習2	演習	2	選択	3	
			バイオメカニクスB	講義	2	選択	4	
			計算流体力学	講義	2	選択	4	
			技術英語2	講義	2	選択	4	
			福祉機器工学特別研究1	演習	2	必修	4	
			福祉機器工学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）								57単位以上

産業情報学科（支援技術学コース　福祉住環境学領域）【令和7年度以降の入学者対象】

専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	建築計画基礎	講義	2	必修	2	専門基礎教育科目 11 単位以上 ・必修科目　11単位
		環境工学基礎	講義	2	必修	2	
		建築基礎製図	演習	3	必修	2	
		一般構造・構法	講義	2	必修	2	
		建築CAD演習	演習	2	必修	2	
							11単位

専門教育科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	領域横断教育科目	支援技術学論・演習A	講義・演習	3	必修	2	専門教育科目　59単位以上 ・必修科目　26単位 ・選択必修科目　3単位 ・選択科目　30単位以上
			支援技術学論・演習B	講義・演習	3	必修	2	
			支援技術学特別講義	講義	2	必修	3	
			障害の特性と理解	講義	2	選択	2	
			障害社会学	講義	2	選択	2	
			ダイバーシティの理解	講義	2	選択	3	
			教育とダイバーシティ	講義	2	選択	3	
			社会福祉学	講義	2	選択	4	
			情報アクセシビリティ演習	演習	1	選択	3	
			情報保障技術学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	2	
			情報保障システム工学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			情報保障評価法・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			福祉機器設計学＜機械系＞	講義	2	選択	3	
			福祉機器材料学＜機械系＞	講義	2	選択	4	
			住居・住生活論＜建築系＞	講義	2	必修	2	
			福祉住環境デザイン論＜建築系＞	講義	2	必修	3	
			医療福祉施設計画論＜建築系＞	講義	2	選択	3	
			ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	講義	2	選択	2	
			アクセシブルデザイン演習〈デザイン系＞	演習	1	選択	3	
			映像論・演習〈デザイン系〉	講義・演習	3	選択	2	
		建築系専門教育科目	産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトC	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトD	演習	1	選択	2・3	
			都市・地域計画論	講義	2	必修	2	
			住宅設計演習	演習	3	必修	2	
			建築デザイン論	講義	1	選択	2	
			建築構造基礎	講義	2	選択	2	
			環境工学	講義	2	選択	2	
			環境工学演習	演習	1	選択	2	
			建築人間工学論・演習	講義・演習	3	選択	2	
			社会シミュレーション論	講義	2	選択	2	
			地域住環境設計演習	演習	3	必修	3	
			地域施設設計演習A	演習	3	選択必修	3	
			地域施設設計演習B	演習	3	選択必修	3	
			地域施設計画論	講義	2	選択	3	
			建築材料学	講義	2	選択	3	
			建築史	講義	2	選択	3	
			建築法規	講義	1	選択	3	
			建築プレゼンテーション演習	演習	2	選択	3	
			管理システム論	講義	2	選択	3	
			建築生産	講義	2	選択	3	
			建築設備	講義	2	選択	3	
			建築設備演習	演習	1	選択	3	
			設計論	講義	1	選択	3	
			インターンシップ	実習	2	選択	3	
			建築学特別セミナー	演習	1	選択	3	
			プロジェクト演習	演習	1	選択	3	
			デザインサーベイ演習	演習	1	選択	4	
			エコ環境論	講義	2	選択	4	
			住環境整備論	講義	2	選択	4	
			複合施設設計演習	演習	3	選択	4	
			福祉住環境学特別研究1	演習	2	必修	4	
			福祉住環境学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）								59単位以上

産業技術学部産業情報学科 【令和6年度以前の入学者対象】
【学科共通】教養教育系科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
教養教育系科目	教養系教育科目		哲学	講義	2	選択	1	選択科目 8単位以上
			歴史学	講義	2	選択	1	
			心理学	講義	2	選択	1	
			法律学	講義	2	選択	1	
			経済学	講義	2	選択	1	
			社会学	講義	2	選択	1	
			日本国憲法	講義	2	選択	1	
			現代的自然観	講義	2	選択	1	
			宇宙地球科学	講義	2	選択	1	
			特別支援教育	講義	2	選択	2	
	語学教育科目	外国語	英語A	演習	2	必修	1	・必修科目 16単位 ・選択必修科目 語学教育科目 2単位 健康・スポーツ科目1単位 ・選択科目 7単位以上
			英語B	演習	2	必修	1	
			英語C	演習	2	必修	2	
			英語D	演習	2	選択	2	
			ドイツ語1	演習	1	選択	2	
			ドイツ語2	演習	1	選択	2	
			フランス語1	演習	1	選択	2	
			フランス語2	演習	1	選択	2	
		手話言語	アメリカ手話言語1	演習	1	選択	1	
			アメリカ手話言語2	演習	1	選択	1	
			手話コミュニケーション入門	講義	2	選択必修	1	
			日本手話言語基礎	講義	2	選択必修	1	
			手話コミュニケーション演習	演習	1	選択	1	
		日本語	日本語表現法A	演習	1	必修	1	
			日本語表現法B	演習	1	必修	1	
	健康・スポーツ教育科目		健康・スポーツA	講義・実技	1	必修	1	
			健康・スポーツB	講義・実技	1	必修	1	
			健康・スポーツC	講義・実技	1	必修	2	
			健康・スポーツD	講義・実技	1	選択必修	2	
			アウトドアスポーツ	講義・実技	1	選択必修	2	
			スノースポーツ	講義・実技	1	選択必修	2	
	キャリア教育科目		修学基礎	演習	1	必修	1	
			情報保障概論	講義	2	必修	1	
			ろう・難聴者の社会参加	講義	2	必修	2	
			コミュニケーションと社会環境	講義	2	選択	1	
			聴覚障害教育と心理	講義	2	選択	2	
			日本語社会とコミュニケーション	講義	2	選択	2	
			企業と社会	講義	2	選択	1	
			きこえない人の生活文化	講義	2	選択	2	
			自分史	講義	2	選択	3	
			就職活動支援	講義	2	選択	3	
			ライフキャリア	講義	2	選択	4	
			教養A(放送大学)	講義	2	選択	1	
			教養B(放送大学)	講義	2	選択	1	
卒業に必要な修得単位数(教養教育系科目)								34単位以上

(注)卒業年次に「スノースポーツ」を履修することはできない。

専門教育系科目
【学科共通】産業情報学基礎教育科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	産業情報学基礎教育科目	技術基礎科目	産業情報基礎・演習A	講義・演習	3	必修	1	産業情報学基礎教育科目 22単位以上 ・必修科目 16単位 ・選択科目 6単位以上 ※「基礎数学演習」は卒業に必要な修得単位に含まれない
			産業情報基礎・演習B	講義・演習	3	必修	1	
			基礎数学演習※	講義	1	選択	1	
		データサイエンス科目	情報リテラシー	講義	2	必修	1	
			コンピュータシステム概論	講義	2	必修	1	
			数学1	講義	2	必修	1	
			数学2	講義	2	必修	1	
			統計確率A	講義	2	必修	1	
			統計確率B	講義	2	選択	1	
			情報数理A	講義	2	選択	1	
			情報数理B	講義	2	選択	1	
		工学基礎科目	解析学1	講義	2	選択	1	
			解析学2	講義	2	選択	1	
			基礎力学A	講義	2	選択	1	
			基礎力学B	講義	2	選択	1	
			物理数学A	講義	2	選択	1	
			物理数学B	講義	2	選択	1	
			基礎電磁気学	講義	2	選択	2	
卒業に必要な修得単位数(産業情報学基礎教育科目)								22単位以上

産業情報学科（情報科学コース）【令和6年度以前の入学者対象】
専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	情報科学概論	講義	2	必修	2	専門基礎教育科目 9単位以上 ・必修科目 7単位 ・選択科目 2単位以上
		プログラミング演習1	演習	2	必修	2	
		電気回路学・演習1	講義・演習	3	必修	2	
		統計・確率論C	講義	2	選択	2	
		線形代数学1	講義	2	選択	2	
		幾何学1	講義	2	選択	2	
		応用数学A	講義	2	選択	2	
		幾何学2	講義	2	選択	2	
		情報数理C	講義	2	選択	2	
		応用数学B	講義	2	選択	2	
卒業に必要な修得単位数（専門基礎教育科目）							9単位以上

専門教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	電磁気学・演習	講義・演習	3	選択必修	2	専門教育科目 60単位以上 ・必修科目12単位 ・選択必修科目 12単位以上
		論理回路設計論・応用演習	講義・演習	3	選択必修	2	
		産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトC	演習	1	選択	2・3	
		情報科学研究プロジェクトA	演習	1	選択	2	
		ソフトウェア工学・演習1	講義・演習	3	必修	2	
		プログラミング演習2	演習	2	選択必修	2	
		電気回路学・演習2	講義・演習	3	選択必修	2	
		フィジカルコンピューティング論・演習	講義・演習	3	選択必修	2	
		データベース論・演習	講義・演習	3	選択必修	2	
		アルゴリズムとデータ構造	講義	2	選択	2	
		日本語テクニカルライティング	演習	1	選択	2	
		統計・確率論D	講義	2	選択	2	
		線形代数学2	講義	2	選択	2	
		情報保障技術学・演習	講義・演習	3	選択	2	
		産業技術プロジェクトD	演習	1	選択	2・3	
		情報科学研究プロジェクトB	演習	1	選択	2	
		ネットワーク・セキュリティ論・演習	講義・演習	3	必修	3	
		ソフトウェア工学・演習2	講義・演習	3	選択必修	3	
		電子回路実験	実験	2	選択必修	3	
		電子回路学・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		計測・制御工学	講義	2	選択必修	3	
		多変量データ解析法・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		データベース設計論・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		マーケティング論・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		情報科学特別講義	講義	2	選択	3	
		情報デザイン論・演習	講義・演習	3	選択	3	
		ヒューマンインタフェース論	講義	2	選択	3	
		コンピュータ・アーキテクチャ	講義	2	選択	3	
		オペレーティングシステム論	講義	2	選択	3	
		情報数理D	講義	2	選択	3	
		情報保障システム工学・演習	講義・演習	3	選択	3	
		情報科学セミナーA	演習	1	選択	3	
		インターンシップ	実習	2	選択	3	
		情報科学研究プロジェクトC	演習	1	選択	3	
		画像工学・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		プログラミング応用演習	演習	2	選択必修	3	
		情報システムセキュリティ演習	演習	2	選択必修	3	
		ビッグデータ処理・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		情報探索法・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		信号処理・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		電子CAD／CAE演習	演習	2	選択必修	3	
		コンピュータグラフィックス論	講義	2	選択	3	
		感性科学	講義	2	選択	3	
		管理システム論	講義	2	選択	3	
		情報保障評価法・演習	講義・演習	3	選択	3	
		人工知能論	講義	2	選択	3	
		情報科学セミナーB	演習	1	選択	3	
		情報科学研究プロジェクトD	演習	1	選択	3	
		ビジネスデータ処理論・演習	講義・演習	3	選択必修	4	
		機械学習・演習	講義・演習	3	選択必修	4	
		技術英語	講義	2	選択	4	
		人間情報工学	講義	2	選択	4	
		教育工学・演習	講義・演習	3	選択	4	
		プログラムパラダイム論	講義	2	選択	4	
		知能ロボット工学	講義	2	選択	4	
		音声・音響工学	講義	2	選択	4	
		情報科学特別研究1	演習	2	必修	4	
		情報科学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）							60単位以上

産業情報学科（先端機械工学コース）【令和6年度以前の入学者対象】

専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	基礎工学実験	実験	2	必修	2	専門基礎教育科目 15単位以上 ・必修科目　15単位
		図学基礎論	講義	2	必修	2	
		CAD基礎演習	演習	1	必修	2	
		力学1	講義	2	必修	2	
		機械設計製図演習1	演習	2	必修	2	
		力学2	講義	2	必修	2	
		機械設計製図演習2	演習	2	必修	2	
		プログラミング基礎演習	演習	2	必修	3	
卒業に必要な修得単位数（専門基礎教育科目）							15単位以上

専門教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	機械加工法実習A	演習	2	必修	2	専門教育科目54単位以上 ・必修科目　34単位 ・選択科目　20単位以上
		産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
		機械加工法実習B	演習	2	必修	2	
		機械加工法	講義	2	必修	2	
		力学演習	演習	1	選択	2	
		機械要素	講義	2	必修	3	
		機械工学実験A	演習	2	必修	3	
		基礎動力学1	講義	2	必修	3	
		材料力学1	講義	2	必修	3	
		流れ学1	講義	2	必修	3	
		熱工学1	講義	2	必修	3	
		CAD/CAM/CAE概説	講義	2	必修	3	
		金属材料学	講義	2	選択	3	
		機械工学特別講義	講義	2	選択	3	
		インターンシップ	演習	2	選択	3	
		CAD/CAM演習1	演習	2	必修	3	
		技術英語1	講義	2	必修	3	
		機械工学実験B	実験	2	必修	3	
		福祉機器設計学	講義	2	選択	3	
		基礎動力学2	講義	2	選択	3	
		材料力学2	講義	2	選択	3	
		流れ学2	講義	2	選択	3	
		熱工学2	講義	2	選択	3	
		CAD/CAM演習2	演習	2	選択	3	
		機械CAD/CAE演習	演習	2	必修	4	
		計測・制御工学	講義	2	選択	4	
		材料強度学	講義	2	選択	4	
		計算流体力学	講義	2	選択	4	
		技術英語2	講義	2	選択	4	
		流体力学	講義	2	選択	4	
		先端機械工学特別研究1	演習	2	必修	4	
		先端機械工学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）							54単位以上

産業情報学科（建築学コース）【令和6年度以前の入学者対象】
専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	建築計画基礎	講義	2	必修	2	専門基礎教育科目 13単位以上 ・必修科目　13単位
		環境工学基礎	講義	2	必修	2	
		建築基礎製図	演習	3	必修	2	
		建築図学	講義	2	必修	2	
		一般構造・構法	講義	2	必修	2	
		建築CAD演習	演習	2	必修	2	
卒業に必要な修得単位数（専門基礎教育科目）							13単位

専門教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	住居・住生活論	講義	2	必修	2	専門教育科目56単位以上 ・必修科目　26単位 ・選択科目　30単位以上
		産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
		建築人間工学論・演習	講義・演習	3	選択	2	
		都市・地域計画論	講義	2	必修	2	
		建築デザイン論	講義	2	選択	2	
		建築構造基礎	講義	2	必修	2	
		熱・空気環境工学1	講義	2	必修	2	
		建築情報学	講義	2	選択	2	
		住宅設計演習	演習	3	必修	2	
		構造力学1	講義	2	選択	3	
		建築材料学	講義	2	必修	3	
		音・光環境工学1	講義	2	必修	3	
		建築設備1	講義	2	選択	3	
		熱・空気環境工学2	講義	2	選択	3	
		環境工学演習	演習	1	選択	3	
		建築史	講義	2	選択	3	
		福祉住環境デザイン論・演習	講義・演習	3	選択	3	
		地域施設計画論	講義	2	必修	3	
		建築法規	講義	1	必修	3	
		地域施設設計演習A	演習	3	選択	3	
		建築プレゼンテーション演習A	演習	2	選択	3	
		インターンシップ	実習	2	選択	3	
		建築学特別セミナー	演習	1	選択	3	
		構造力学2	講義	2	選択	3	
		構造力学演習	演習	1	選択	3	
		建築生産	講義	2	必修	3	
		音・光環境工学2	講義	2	選択	3	
		建築設備2	講義	2	選択	3	
		建築実験	演習	2	選択	3	
		設計論	講義	2	選択	3	
		造園計画論	講義	2	選択	3	
		医療福祉施設計画論	講義	2	選択	3	
		地域施設設計演習B	演習	3	選択	3	
		プロジェクト演習	演習	1	選択	3	
		地域住環境設計演習	演習	3	選択	3	
		建築レジリエンス論	講義	2	選択	4	
		構造設計論	講義	2	選択	4	
		建築情報・構造CAE	講義・演習	3	選択	4	
		建築環境CAE	講義・演習	3	選択	4	
		エコ環境論	講義	2	選択	4	
		住環境システム論	講義	2	選択	4	
		複合施設設計演習	演習	3	選択	4	
		建築プレゼンテーション演習B	演習	1	選択	4	
		建築学特別研究1	演習	2	必修	4	
		建築学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）							56単位以上

産業情報学科（支援技術学コース　情報保障工学領域）【令和6年度以前の入学者対象】
専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	情報科学概論	講義	2	必修	2	専門基礎教育科目9単位以上 ・必修科目　7単位 ・選択科目　2単位以上
		プログラミング演習1	演習	2	必修	2	
		電気回路学・演習1	講義・演習	3	必修	2	
		統計・確率論C	講義	2	選択	2	
		線形代数学1	講義	2	選択	2	
		幾何学1	講義	2	選択	2	
		応用数学A	講義	2	選択	2	
		幾何学2	講義	2	選択	2	
		情報数理C	講義	2	選択	2	
		応用数学B	講義	2	選択	2	
卒業に必要な修得単位数（専門基礎教育科目）							9単位以上

専門教育科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	支援技術学共通教育科目	聴覚科学	講義	2	選択	2	専門教育科目　60単位以上 ・必修科目　24単位 （うち情報系 9単位） ・選択科目　36単位以上 （うち情報系 25単位）
			情報保障技術と活用	講義	2	必修	3	
			社会資源の実際	講義	2	選択	3	
			障害者スポーツ	講義・演習	1	選択	3	
			手話言語工学	講義	2	選択	3	
		領域横断教育科目	支援技術学論	講義	2	必修	2	
			支援技術学演習A	演習	1	必修	2	
			支援技術学演習B	演習	1	必修	3	
			情報保障技術学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	必修	2	
			情報保障システム工学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	必修	3	
			情報保障評価法・演習＜情報系＞	講義・演習	3	必修	3	
			福祉機器設計学＜機械系＞	講義	2	選択	3	
			福祉機器材料学＜機械系＞	講義	2	選択	4	
			住居・住生活論＜建築系＞	講義	2	選択	2	
			福祉住環境デザイン論・演習＜建築系＞	講義・演習	3	選択	4	
			医療福祉施設計画論＜建築系＞	講義	2	選択	4	
			ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	講義	2	選択	3	
			ヒューマンインターフェース論＜デザイン系＞	講義	2	選択	3	
		情報系専門教育科目	電磁気学・演習	講義・演習	3	選択	2	
			産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトC	演習	1	選択	2・3	
			情報保障工学研究プロジェクトA	演習	1	選択	2	
			統計・確率論D	講義	2	選択	2	
			線形代数学2	講義	2	選択	2	
			ソフトウェア工学・演習1	講義・演習	3	選択	2	
			プログラミング演習2	演習	2	選択	2	
			データベース論・演習	講義・演習	3	選択	2	
			アルゴリズムとデータ構造	講義	2	選択	2	
			電気回路学・演習2	講義・演習	3	選択	2	
			フィジカルコンピューティング論・演習	講義・演習	3	選択	2	
			日本語テクニカルライティング	演習	1	選択	2	
			産業技術プロジェクトD	演習	1	選択	2・3	
			情報保障工学研究プロジェクトB	演習	1	選択	2	
			ネットワーク・セキュリティ論・演習	講義・演習	3	必修	3	
			情報数理D	講義	2	選択	3	
			情報保障工学特別講義	講義	2	選択	3	
			インターンシップ	実習	2	選択	3	
			多変量データ解析法・演習	講義・演習	3	選択	3	
			ソフトウェア工学・演習2	講義・演習	3	選択	3	
			電子回路学・演習	講義・演習	3	選択	3	
			計測・制御工学	講義	2	選択	3	
			情報科学セミナーA	演習	1	選択	3	
			情報保障工学研究プロジェクトC	演習	1	選択	3	
			信号処理・演習	講義・演習	3	選択	3	
			管理システム論	講義	2	選択	3	
			プログラミング応用演習	演習	2	選択	3	
			情報システムセキュリティ演習	演習	2	選択	3	
			感性科学	講義	2	選択	3	
			コンピュータグラフィックス論	講義	2	選択	3	
			画像工学・演習	講義・演習	3	選択	3	
			人工知能論	講義	2	選択	3	
			情報科学セミナーB	演習	1	選択	3	
			情報保障工学研究プロジェクトD	演習	1	選択	3	
			技術英語	講義	2	選択	4	
			機械学習・演習	講義・演習	3	選択	4	
			人間情報工学	講義	2	選択	4	
			教育工学・演習	講義・演習	3	選択	4	
			音声・音響工学	講義	2	選択	4	
			情報保障工学特別研究1	演習	2	必修	4	
			情報保障工学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）								60単位以上

産業情報学科（支援技術学コース 福祉機器工学領域）【令和6年度以前の入学者対象】

専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	基礎工学実験	実験	2	必修	2	専門基礎教育科目13単位以上 ・必修科目　13単位
		図学基礎論	講義	2	必修	2	
		CAD基礎演習	演習	1	必修	2	
		力学1	講義	2	必修	2	
		機械設計製図演習1	演習	2	必修	2	
		機械設計製図演習2	演習	2	必修	2	
		プログラミング基礎演習	演習	2	必修	3	
卒業に必要な修得単位数（専門基礎教育科目）							13単位以上

専門教育科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	支援技術学共通教育科目	聴覚科学	講義	2	選択	2	専門教育科目　56単位以上 ・必修科目　35単位 ・選択科目　21単位以上
			情報保障技術と活用	講義	2	必修	3	
			社会資源の実際	講義	2	選択	3	
			障害者スポーツ	講義・演習	1	選択	3	
			手話言語工学	講義	2	選択	3	
		領域横断教育科目	支援技術学論	講義	2	必修	2	
			支援技術学演習A	演習	1	必修	2	
			支援技術学演習B	演習	1	必修	3	
			情報保障技術学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	2	
			情報保障システム工学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			情報保障評価法・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			福祉機器設計学＜機械系＞	講義	2	必修	3	
			福祉機器材料学＜機械系＞	講義	2	必修	4	
			住居・住生活論＜建築系＞	講義	2	選択	2	
			福祉住環境デザイン論・演習＜建築系＞	講義・演習	3	選択	4	
			医療福祉施設計画論＜建築系＞	講義	2	選択	4	
			ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	講義	2	選択	3	
			ヒューマンインターフェース論＜デザイン系＞	講義	2	選択	3	
		機械系専門教育科目	機械加工法実習A	演習	2	必修	2	
			産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
			幾何学1	講義	2	選択	2	
			幾何学2	講義	2	選択	2	
			力学2	講義	2	選択	2	
			力学演習	演習	1	選択	2	
			機械加工法実習B	演習	2	必修	2	
			機械加工法	講義	2	必修	2	
			プログラミング演習	演習	2	必修	3	
			機械要素	講義	2	必修	3	
			機械工学実験A	演習	2	必修	3	
			材料力学1	講義	2	選択	3	
			流れ学1	講義	2	選択	3	
			基礎動力学1	講義	2	選択	3	
			熱工学1	講義	2	選択	3	
			CAD/CAM/CAE概説	演習	2	選択	3	
			金属材料学	講義	2	選択	3	
			インターンシップ	演習	2	選択	3	
			機械工学特別講義	講義	2	選択	3	
			バイオメカニクスA	講義	2	選択	3	
			CAD/CAM演習1	演習	2	必修	3	
			技術英語1	講義	2	必修	3	
			機械工学実験B	実験	2	必修	3	
			CAD/CAM演習2	演習	2	選択	3	
			福祉ボランティア活動	演習	1	必修	3	
			バイオメカニクスB	講義	2	選択	4	
			計算流体力学	講義	2	選択	4	
			技術英語2	講義	2	選択	4	
			福祉機器工学特別研究1	演習	2	必修	4	
			福祉機器工学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）								56単位以上

産業情報学科（支援技術学コース　福祉住環境学領域）【令和6年度以前の入学者対象】
専門教育系科目

専門基礎教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門基礎教育科目	建築計画基礎	講義	2	必修	2	専門基礎教育科目13単位以上 ・必修科目　13単位
		環境工学基礎	講義	2	必修	2	
		建築基礎製図	演習	3	必修	2	
		建築図学	講義	2	必修	2	
		一般構造・構法	講義	2	必修	2	
		建築CAD演習	演習	2	必修	2	
卒業に必要な修得単位数（専門基礎教育科目）							13単位

専門教育科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	支援技術学共通教育科目	聴覚科学	講義	2	選択	2	専門教育科目　56単位以上 ・必修科目　22単位 ・選択科目　34単位以上
			情報保障技術と活用	講義	2	必修	3	
			社会資源の実際	講義	2	選択	3	
			障害者スポーツ	講義・演習	1	選択	3	
			手話言語工学	講義	2	選択	3	
		領域横断教育科目	支援技術学論	講義	2	必修	2	
			支援技術学演習A	演習	1	必修	2	
			支援技術学演習B	演習	1	必修	3	
			情報保障技術学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	2	
			情報保障システム工学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			情報保障評価法・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			福祉機器設計学＜機械系＞	講義	2	選択	3	
			福祉機器材料学＜機械系＞	講義	2	選択	4	
			住居・住生活論＜建築系＞	講義	2	必修	2	
			福祉住環境デザイン論・演習＜建築系＞	講義・演習	3	必修	3	
			医療福祉施設計画論＜建築系＞	講義	2	選択	3	
			ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	講義	2	選択	2	
			ヒューマンインターフェース論＜デザイン系＞	講義	2	選択	3	
		建築系専門教育科目	産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
			産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
			建築人間工学論・演習	講義・演習	3	選択	2	
			都市・地域計画論	講義	2	必修	2	
			建築デザイン論	講義	2	選択	2	
			建築構造基礎	講義	2	選択	2	
			熱・空気環境工学1	講義	2	選択	2	
			住宅設計演習	演習	3	必修	2	
			社会シミュレーション論	講義	2	選択	2	
			建築材料学	講義	2	選択	3	
			音・光環境工学1	講義	2	選択	3	
			建築史	講義	2	選択	3	
			地域施設計画論	講義	2	選択	3	
			建築法規	講義	1	選択	3	
			地域施設設計演習A	演習	3	選択	3	
			建築プレゼンテーション演習A	演習	2	選択	3	
			管理システム論	講義	2	選択	3	
			建築生産	講義	2	選択	3	
			設計論	講義	2	選択	3	
			造園計画論	講義	2	選択	3	
			地域住環境設計演習	演習	3	選択	3	
			インターンシップ	実習	2	選択	3	
			建築学特別セミナー	演習	1	選択	3	
			プロジェクト演習	演習	1	選択	3	
			デザインサーベイ演習	演習	1	選択	4	
			エコ環境論	講義	2	選択	4	
			住環境システム論	講義	2	選択	4	
			複合施設設計演習	演習	3	選択	4	
			建築プレゼンテーション演習B	演習	1	選択	4	
			福祉住環境学特別研究1	演習	2	必修	4	
			福祉住環境学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）								56単位以上

産業情報学科

各科目の開講学期・曜時限，担当教員及び授業概要

令和７年度以降の入学者（１～２年次）対象科目

１　教養教育科目（産業情報学科）

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
教養教育系科目	SA011	哲学	2	1	選択	1	木2 507	（上田徹）	哲学的人間学の観点から、人間を全体像として理解するよう試みる。生物学的・社会学的・経済学的立場から見られたこの世界における人間の位置づけを検討し、特に技術と人間の間に生ずる現代の病を考える。	
	SA021	歴史学	2	1	選択	1	木2 プレゼンテーションルーム	（髙野友理香）	「歴史学」は、過去を知ることによって現在をいかに生きるかを学ぶ学問である。高校までの「覚える歴史」ではなく「考える歴史」を身につけ、現代社会を生きる時代感覚を養うとともに、豊かな発想力や表現力を身につけることを目標とする。 ※講義では中近世日本史を中心に扱う予定。	
	SA031	心理学	2	1	選択	1	月2 プレゼンテーションルーム	長南浩人	本授業では、心理学の各分野の基礎知識を学び、かつ心理学的な思考方法や調査、実験方法に触れることで、日常生活における心理現象の理解と心理学的課題の解決能力の習得を目的とする。	
	SA041	法律学	2	1	選択	1	金5 遠隔	（岡田大助）	「社会あるところに法あり」といわれるとおり、社会が存在すればそこには法も必ず存在する。それゆえ、法律学を学ぶことは、日本社会を構成するすべての人々にとって必要不可欠になる。本講義の目的は、履修者が法の基礎を理解し、法の体系性を意識し、そして具体的な事例を考えられることにより、法律学の場面だけで役立つのではなく、将来的に社会で役立てることができるリーガルマインド（法的思考力）の素養を身に付けることである。	
	SA051	経済学	2	1	選択	2	木2 遠隔	（篠塚友一）	経済学の入門的な内容について講義する。日本および世界の国々が直面する経済的諸問題を理解するのに有用な経済理論の考え方を紹介する。	
	SA061	社会学	2	1	選択	2	木1 214	（庄司俊之）	社会学という学問分野は近代化とともに誕生した。社会の急速な変貌を目の当たりにした人々は、そもそも社会とは何か、我々の社会は今どういう地点に立っているのか、そして一体どこへ向かっているのかと問い掛けたのだ。本講義では、そうした「現代社会論としての社会学」の古典を概説する。これら古典の学びは現在の状況を理解する上でも基礎的な教養となるだろう。	
	SA071	日本国憲法	2	1	選択	2	集中 遠隔	（岡田大助）	憲法は、つくるべき社会の設計図として制定される一国の最高法規であり、国家・社会を維持・発展させていくための見取り図の役割を果たすものである。それゆえ、日本国憲法を学習することは、日本社会を構成するすべての人々にとって必要不可欠になる。本講義の目的は、履修者が日本国憲法に対する輪郭を構築し、基本概念を理解し、そして将来的に社会で役立てることができるリーガルマインド（法的思考力）の素養を身に付けることである。	【教職】日本国憲法〔必修〕
	SA701	言語学概論	2	1	選択	2	火2 214	神村幸蔵	本学学生になじみのある日本語，英語，手話言語の例を中心に，言語の仕組みや言語と社会に関する諸学問を学修し，我々がふだん使っている言語とは何かについて理解し，説明することができるようになることを目的とする。	
	SA711	現代科学	2	1	選択	2	月2 216	新田伸也	20C前半の物理学革命の根幹の一つであり現代文明の基礎でもある相対論の骨子を理解する。相対論のもたらしたパラダイムシフトによって、人類の世界観がどれほど変わったかを体感する。	
	SA111	英語Ａ	2	1	必修	1	火3 214 水2 215 神村幸蔵 田中豊大		基礎的な英語力の養成を目標として、講読と表現の学習を行う。講読では自然科学を含む現代的トピックを扱い、表現では身近なことを英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	①　対象 【教職】外国語コミュニケーション〔必修〕
	SA121	英語Ａ	2	1	必修	1	火1 214 金2 215 神村幸蔵 田中豊大		基礎的な英語力の養成を目標として、講読と表現の学習を行う。講読では自然科学を含む現代的トピックを扱い、表現では身近なことを英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	②　対象 【教職】外国語コミュニケーション〔必修〕
	SA131	英語Ａ	2	1	必修	1	金2 214 火1 215 神村幸蔵 田中豊大		基礎的な英語力の養成を目標として、講読と表現の学習を行う。講読では自然科学を含む現代的トピックを扱い、表現では身近なことを英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	③　対象 【教職】外国語コミュニケーション〔必修〕

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考 (対象専攻、教職免許の教科等)
教養教育系科目	SA141	英語Ａ	2	1	必修	1	水2 214 火3 215	神村幸蔵 田中豊大	基礎的な英語力の養成を目標として、講読と表現の学習を行う。講読では自然科学を含む現代的トピックを扱い、表現では身近なことを英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	④　対象 【教職】外国語コミュニケーション〔必修〕
	SA151	英語Ｂ	2	1	必修	2	火3 214 水2 215	神村幸蔵 田中豊大	英語Aに続き、基本的な英語力の養成を目的とした、講読と表現の学習を行う。講義では異文化理解、人文科学等に関する題材を扱い、表現では、身の回りで起きた出来事についての説明や自分の意見を英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	①　対象
	SA161	英語Ｂ	2	1	必修	2	火1 214 金2 215	神村幸蔵 田中豊大	英語Aに続き、基本的な英語力の養成を目的とした、講読と表現の学習を行う。講義では異文化理解、人文科学等に関する題材を扱い、表現では、身の回りで起きた出来事についての説明や自分の意見を英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	②　対象
	SA171	英語Ｂ	2	1	必修	2	金2 214 火1 215	神村幸蔵 田中豊大	英語Aに続き、基本的な英語力の養成を目的とした、講読と表現の学習を行う。講義では異文化理解、人文科学等に関する題材を扱い、表現では、身の回りで起きた出来事についての説明や自分の意見を英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	③　対象
	SA181	英語Ｂ	2	1	必修	2	水2 214 火3 215	神村幸蔵 田中豊大	英語Aに続き、基本的な英語力の養成を目的とした、講読と表現の学習を行う。講義では異文化理解、人文科学等に関する題材を扱い、表現では、身の回りで起きた出来事についての説明や自分の意見を英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	④　対象
	SA191	英語Ｃ	2	2	選択	1	火2 215 水3 215	田中豊大 （三澤かがり）	目的や英文に応じて速度や読み方を変えるなど、リーディングスキルやストラテジーの習得を目指す。あわせて資料等を読み、身近な事柄を英文で表現する能力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	①　対象
	SA201	英語Ｃ	2	2	選択	1	火2 214 水4 215	神村幸蔵 （三澤かがり）	目的や英文に応じて速度や読み方を変えるなど、リーディングスキルやストラテジーの習得を目指す。あわせて資料等を読み、身近な事柄を英文で表現する能力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	②　対象
	SA211	英語Ｃ	2	2	選択	1	火2 215 水4 215	田中豊大 （三澤かがり）	目的や英文に応じて速度や読み方を変えるなど、リーディングスキルやストラテジーの習得を目指す。あわせて資料等を読み、身近な事柄を英文で表現する能力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	③　対象
	SA221	英語Ｃ	2	2	選択	1	水3 D101 水4 215	神村幸蔵 （三澤かがり）	目的や英文に応じて速度や読み方を変えるなど、リーディングスキルやストラテジーの習得を目指す。あわせて資料等を読み、身近な事柄を英文で表現する能力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	④　対象
	SA691	英語Ｃ	2	2	選択	1	集中	神村幸蔵 田中豊大	目的や英文に応じて速度や読み方を変えるなど、リーディングスキルやストラテジーの習得を目指す。あわせて資料等を読み、身近な事柄を英文で表現する能力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	令和6年度（2024年度）またはそれ以前に入学した学生対象
	SA231	英語Ｄ	2	2	選択	2	水3 215 火2 215	神村幸蔵 田中豊大	身近な事柄に関する英語の資料等を理解する能力を身につける。またTOEICや英検などに対応できる英語力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	
	SA311	アメリカ手話言語１	1	1	選択	1	月2 213 214	小林洋子 大杉豊	異文化コミュニケーションの能力を高めることを大きなねらいとし、米国などで使用されているアメリカ手話言語の基本的な語彙と文法を学ぶ。米国指文字の読取りと表現の練習にも力を入れる。	
	SA321	アメリカ手話言語２	1	1	選択	2	月2 213 214	小林洋子 大杉豊	学んだ基本的な語彙と文法を活かして、アメリカ手話言語による日常会話ができること、そして自分の意見を述べられることを目標とした学習を行う。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
教養教育系科目	SA331	手話コミュニケーション入門	2	1	選択必修	1	月3 213	小林洋子	大学生活に必要な手話コミュニケーション力を身につけることを大きなねらいとし、日本語の指文字、日本手話言語の基本的な語彙と文法を学ぶ。また、プレゼンテーション技術（読取、表現）の基本的な練習にも力を入れる。	１学期初めに手話コミュニケーション力に応じたクラス分けを行い、指定された方を必ず履修する。
	SA341	日本手話言語基礎	2	1		2	①月1 214 ②月3 214	大杉豊	入学時において手話コミュニケーションに支障のない学生を対象とする。日本手話言語を構成する語彙と文法のしくみを学ぶとともに、日本語の影響を含めた日本手話言語の歴史と変異、日本社会における手話言語の位置付けに関する知識を身につける。	
	SA351	手話コミュニケーション演習	1	1	選択	2	月3 213	小林洋子	日本手話言語を使ったプレゼンテーション技術（読取、表現）の応用的な練習を主とする演習を行い、大学生活に必要な手話コミュニケーション力の増強を図る。	「手話コミュニケーション入門」履修学生が対象
	SA361	日本語表現法Ａ	1	1	必修	1	火1 213	（脇中起余子）	話しことばと書きことばは別物である。「日本語表現法Ａ」では、書記日本語を書く力の養成に重点を置く。語彙を拡げ、誤解のない文を作り、目的に応じた適切な表現ができるようになることを主要目的とする。	①　対象
	SA371	日本語表現法Ａ	1	1	必修	1	火3 213	（脇中起余子）	話しことばと書きことばは別物である。「日本語表現法Ａ」では、書記日本語を書く力の養成に重点を置く。語彙を拡げ、誤解のない文を作り、目的に応じた適切な表現ができるようになることを主要目的とする。	②　対象
	SA381	日本語表現法Ａ	1	1	必修	1	水2 213	（脇中起余子）	話しことばと書きことばは別物である。「日本語表現法Ａ」では、書記日本語を書く力の養成に重点を置く。語彙を拡げ、誤解のない文を作り、目的に応じた適切な表現ができるようになることを主要目的とする。	③　対象
	SA391	日本語表現法Ａ	1	1	必修	1	水3 213	（脇中起余子）	話しことばと書きことばは別物である。「日本語表現法Ａ」では、書記日本語を書く力の養成に重点を置く。語彙を拡げ、誤解のない文を作り、目的に応じた適切な表現ができるようになることを主要目的とする。	④　対象
	SA401	日本語表現法Ｂ	1	1	必修	2	火1 213	（脇中起余子）	「日本語表現法Ｂ」では、論文執筆に必要な日本語力の養成に重点をおく。誤解のない客観的・論理的な文章とは何かを理解し、論文執筆に必要な基本スキルを身につけることを主要目的とする。	①　対象
	SA411	日本語表現法Ｂ	1	1	必修	2	火3 213	（脇中起余子）	「日本語表現法Ｂ」では、論文執筆に必要な日本語力の養成に重点をおく。誤解のない客観的・論理的な文章とは何かを理解し、論文執筆に必要な基本スキルを身につけることを主要目的とする。	②　対象
	SA421	日本語表現法Ｂ	1	1	必修	2	水2 213	（脇中起余子）	「日本語表現法Ｂ」では、論文執筆に必要な日本語力の養成に重点をおく。誤解のない客観的・論理的な文章とは何かを理解し、論文執筆に必要な基本スキルを身につけることを主要目的とする。	③　対象
	SA431	日本語表現法Ｂ	1	1	必修	2	金2 213	（脇中起余子）	「日本語表現法Ｂ」では、論文執筆に必要な日本語力の養成に重点をおく。誤解のない客観的・論理的な文章とは何かを理解し、論文執筆に必要な基本スキルを身につけることを主要目的とする。	④　対象
	SA441	健康･スポーツＡ	1	1	必修	1	金3 体育館 215他	中島幸則 向後佑香	まず初めに、自らの運動能力を知るために体力測定を行う。一般的な体力測定に加え、バランステストも行う。また、日頃の栄養・生活活動状況についても調べ、自分の身体に目を向けられるようにする。その後、運動の必要性、運動と栄養、スポーツと怪我等に関する講義を行う。また、人の命を救うために必要な心肺蘇生法やＡＥＤに関する知識・技術も習得する。	【教職】体育〔必修〕
	SA451	健康･スポーツＡ	1	1	必修	1	木3 体育館 215他	中島幸則 向後佑香	まず初めに、自らの運動能力を知るために体力測定を行う。一般的な体力測定に加え、バランステストも行う。また、日頃の栄養・生活活動状況についても調べ、自分の身体に目を向けられるようにする。その後、運動の必要性、運動と栄養、スポーツと怪我等に関する講義を行う。また、人の命を救うために必要な心肺蘇生法やＡＥＤに関する知識・技術も習得する。	【教職】体育〔必修〕
	SA461	健康･スポーツＢ	1	1	必修	2	金3 体育館 215他	中島幸則 向後佑香	各種の運動・スポーツの実戦を通して、楽しさと必要性を実感してもらい、自らの健康の維持・増進に繋げていく。実技のみならず、座学も行い知識を深めていく。また、この授業を通して、仲間とのコミュニケーションを深めることも大きな目的とする。	【教職】体育〔必修〕

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
教養教育系科目	SA471	健康･スポーツＢ	1	1	必修	2	木3 体育館215他	中島幸則 向後佑香	各種の運動・スポーツの実戦を通して、楽しさと必要性を実感してもらい、自らの健康の維持・増進に繋げていく。実技のみならず、座学も行い知識を深めていく。また、この授業を通して、仲間とのコミュニケーションを深めることも大きな目的とする。	【教職】体育〔必修〕
	SA481	健康･スポーツＣ	1	2	必修	1	水２ 体育館 総合研究棟他	中島幸則 向後佑香	様々なスポーツ実技の実践をしながら、個々のレベルにあった技術の向上だけではなく、健康の維持・増進に繋げていき、スポーツを行う上でのマナーについても理解を深める。	＊原則として情報科学コース、情報保障工学領域対象
	SA491	健康･スポーツＣ	1	2	必修	1	金２ 体育館216他	中島幸則 向後佑香	様々なスポーツ実技の実践をしながら、個々のレベルにあった技術の向上だけではなく、健康の維持・増進に繋げていき、スポーツを行う上でのマナーについても理解を深める。	＊原則として先端機械工学コース、建築学コース、福祉機器工学領域、福祉住環境領域対象
	SA501	健康・スポーツＤ	1	2	選択必修	2	金１ 体育館214他	中島幸則 向後佑香 （齊藤まゆみ）	「生涯にわたるスポーツ参加」を目指して、心身ともに健康な体をつくり、生涯を通じて継続的にスポーツに親しむ資質や能力を育む。自らの健康の維持、増進に繋げるとともに、自分の身の回りの人に対しても、スポーツの必要性、楽しさを伝えられるようにする。	
	SA521	アウトドアスポーツ	1	2	選択必修	1	集中	中島幸則 向後佑香 天野和彦 （大友あかね）	自然環境の中でテント泊や野外炊事というキャンプ生活を体験するとともに、縦走登山や沢遊びなどの様々なアウトドアアクティビティに取り組みながら、野外活動に関する基本的な知識や技術を習得する。また、日頃の体力づくりの成果を試すとともに、自然環境や他者との関わりについて様々な観点から考え、課題を発見し解決するための行動ができる態度や技術を養う。	
	SA531	スノースポーツ	1	2	選択必修	2	集中	中島幸則 向後佑香 天野和彦 （木村桂子）	スノースポーツを生涯スポーツとしてとらえ、長期にわたり楽しくかつ安全に活動できるための知識・技能を習得する。また、集団生活における協調性、社会性を養い、冬の大自然を楽しむ。	
	SA541	修学基礎	1	1	必修	1	水4.5 集中 214 体育館他	小林洋子 中島幸則 新井達也 向後佑香 神村幸蔵 田中豊大 難波知希	大学で学ぶ意義、効果的な学習方法、進路選択、相互理解と集団の形成、心身の健康管理、安全な生活の進め方などのテーマを取り上げて、討論、発表、共同作業などの多様な活動を通して、大学生活を円滑に進めるための基盤の形成を図る。	
	SA551	情報保障概論	2	1	必修	1	火2 プレゼンテーションルーム	三好茂樹 白澤麻弓	聴覚障害者のための情報保障のうち、特に手話通訳や文字通訳等を中心とする視覚的な情報保障のあり方や、各種情報保障手段に関する知識や技術について、実習・演習等を交えながら理解を深める。	
	SA721	企業・社会への参加とコミュニケーション	2	1	選択	2	木4 214	河野純大 他	本講義では、コミュニケーション体験などを通して、自分自身のコミュニケーション特性を説明できる能力の習得を目指す。また、社会環境としての企業の歴史や社会的責任、組織で求められる能力や社会ニーズについての理解を深める。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SA731	ろう・難聴者の社会資源と自分史	2	2	必修	1	水1 214 215	大杉豊 小林洋子	(1)ろう・難聴者の個人とコミュニティを人権、情報・コミュニケーション、文化、スポーツなどテーマ毎に、社会参加に必要な知識の習得を図る。(2)過去の経験を振り返ることで、自分の行動パターンや大事にしている価値観を「自分史」にまとめる。	
	SA591	日本語社会とコミュニケーション	2	2	選択	1	木3 214	（脇中起余子）	本講義では、「察する」ことが求められる聴者の日本語社会で生きる力の育成に重点を置く。場面設定やグループ協議を通して、聴者の世界と聴覚障害者の世界の両方をスムーズに行き来できるスキルを身につけることを主要目的とする。	
	SA741	聴覚科学	2	2	選択	2	月1 213	笹目友香 安　啓一	本講義では、聴覚障害に関わる聴覚の科学全般について、聴覚障害の生理病理、音の特徴、聴覚系における情報処理、聴覚障害に関わる聴覚心理を解説する。また、講義のみではなく騒音計、聴覚検査機器等を用いた実際の検証も取り入れる。	
	SA771	異文化コミュニケーション（COIL）	1	2・3・4	選択	1・2	集中	小林洋子 神村幸蔵 田中豊大	本授業では、COIL（Collaborative Online International Learning）を取り入れ、海外のろう・難聴学生とオンラインで協働学習を行う。国や地域による言語・文化・教育環境の違いを踏まえた対話や共同作業を通して、相互理解を深めるとともに、共生社会の実現に向けた視点と実践力を養う。	
	SA781	異文化コミュニケーション（米国）	1	2・3・4	選択	1・2	集中	小林洋子 神村幸蔵 田中豊大	本授業では、諸外国のろう・難聴者が学ぶ大学等での見学や交流を通して、言語・文化・歴史の違いを学び、相互理解を深める。あわせて、受講生同士の協力やリーダーシップを通じて、ろう・難聴者としての社会認識・自己認識を高める。	

２　産業情報学科

産業情報学基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
産業情報学基礎教育科目	SA012	産業情報基礎・演習Ａ	3	1	必修	1	火4.5 214 他	学科全教員	産業情報学科における各専門分野の学習への導入として、各専門分野の概要最新の話題応用範囲、必要となる基礎力等について、演習等による体験学習を含めながら幅広く学習する。これにより、将来の目標設定し、今後の学習の履修モデル作成に役立てる。また、レポート作成、発表、ディスカッションなどを通じて、考え、まとめ、表現する能力を養う。	
	SA022	産業情報基礎・演習Ｂ	3	1	必修	2	火4.5 214 他	学科全教員	産業情報学科における各専門分野の学習への導入として、各専門分野の概要最新の話題応用範囲、必要となる基礎力等について、演習等による体験学習を含めながら幅広く学習する。これにより、将来の目標設定し、今後の学習の履修モデル作成に役立てる。また、レポート作成、発表、ディスカッションなどを通じて、考え、まとめ、表現する能力を養う。	
	SA192	数学演習A	1	1	選択必修	1	水1 R201	河野純大	数学の応用分野や教職課程で必要となる数学などについて、受講生が事前に準備をした内容を発表するゼミ形式の授業を行い、数学の応用的な能力を養う。	初回の授業時に行う試験で数学演習A、数学演習Bの振分を実施 【教職】数学(中･高)
	SA202	数学演習B	1	1	選択必修	1	水1 213	新井達也	初等関数、特に、指数・対数・三角関数の内容を中心に演習を行い、理系科目の学習に必要な基礎的知識の習得を図る。	初回の授業時に行う試験で数学演習A、数学演習Bの振分を実施 【教職】数学(中･高)
	SA222	数学演習B	1	1	選択必修	2	月5 213	新井達也 河野純大	初等関数、特に、指数・対数・三角関数の内容を中心に演習を行い、理系科目の学習に必要な基礎的知識の習得を図る。	再履修者用
	SA032	情報リテラシー	2	1	必修	1	金1 520 614 314	菊地浩平 辻田容希 (米山文雄)	専門学習に必要な、アカデミックライティングの基礎、およびコンピューターを用いたデータ処理やデータ表現の基礎等を学ぶ。	【教職】情報機器の操作〔必修〕
	SA042	コンピュータシステム概論	2	1	必修	2	金1 614 617 409 410	大塚和彦 若月大輔	数値・文字データの内部表現と演算、機械命令の表現と実行の仕組みを学ぶとともに、自分が作成したプログラムが実行されるまでの仕組みを学んでコンピューターの動きを理解する。	【教職】情報（高）〔必修〕
	SA212	線形代数学１	2	1	必修	2	①水1 213 ②水3 213 どちらか１つ	新井達也	専門科目の学習に必要な数学の基礎的事項を習得する。特に、ベクトル、行列、行列式等の線形代数学の入門的内容に関する理解を深める。	【教職】数学(中･高)〔必修〕
	SA072	統計確率Ａ	2	1	必修	1	木4 617 614 他	大塚和彦	専門分野での実験研究のために必要とされる確率統計の基本的知識を身に付けその知識を活用する能力を養う。講義内容としては、基本統計量や相関などを中心に学び、具体的な事例等の説明も加えながら、基礎的な概念の習得を図る。	【教職】数学（中・高）〔必修〕
	SA082	統計確率Ｂ	2	1	選択	2	木5 214	菊地浩平	専門分野での実験研究のために必要とされる確率統計の基本的知識を身に付け、その知識を活用する能力を養う。講義内容としては、正規分布や信頼区間、検定の基礎などを中心に学び、具体的な事例等の説明も加えながら、基礎的な概念の習得を図る。	【教職】数学（中・高）〔必修〕
	SA092	情報数理Ａ	2	1	選択	1	木5 214	西岡知之 大川学	情報科学の概念に必要な情報とコンピューター、集合の概念、命題と真偽を学習し、専門教育に備える。プログラミングの基礎となる論理的思考力を身に付ける。	【教職】数学（中・高）〔必修〕
	SA102	情報数理Ｂ	2	1	選択	2	金4 507	西岡知之 大川学	情報科学の学習に必要な数学的な考え方、再帰的プログラミングの考え方を学習し、専門教育に備える。	【教職】数学（中・高）
	SA112	解析学１	2	1	必修	1	①木3 213 ②金3 213 どちらか１つ	新井達也	専門科目の学習に必要な解析学の基礎的事項を習得する。微分積分法における公式の意味や導出過程を理解した上で、具体的な計算方法を学び、応用力を身につける。	【教職】数学（中・高）〔必修〕

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
産業情報学基礎教育科目	SA122	解析学２	2	1	選択	2	金5 214	田中晃	解析学1で習得された知識を踏まえて、応用的な計算方法、さらに、物理学や身近な生活等に見られる現象と微分積分との関わりを学び、2年次以降の工学知識としての微分積分への理解を深める。	【教職】数学（中・高）〔必修〕
	SA132	基礎力学Ａ	2	1	選択	1	月4 216	新田伸也	質点の運動について、Newtonの運動の法則に基づく扱いを学ぶ。積分量(運動量、角運動量、エネルギー)の概念と応用について学ぶ。	
	SA142	基礎力学Ｂ	2	1	選択	2	月4 216	新田伸也	質点系、剛体の運動について、Newtonの運動の法則に基づく扱いを学ぶ。振動現象について学ぶ。非慣性系での運動の記述と慣性力について学ぶ。	
	SA152	物理数学Ａ	2	1	選択	1	月6 216	新田伸也	理系学問の基礎としての応用数学を学ぶ。常微分方程式、級数展開、フーリエ解析の基礎を学ぶ。	
	SA162	物理数学Ｂ	2	1	選択	2	月6 216	新田伸也	理系学問の基礎としての応用数学を学ぶ。ベクトル解析、偏微分方程式、複素解析の基礎を学ぶ。	
	SA172	基礎電磁気学	2	2	選択	1	月2 216	新田伸也	実用電磁気学の基礎としてのMaxwell理論を学ぶ。電磁気量の定義、Maxwell方程式、静電磁場、動電磁場、電磁波について学ぶ。	

３　産業情報学科　情報科学コース

専門教育系科目

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SB012	情報科学概論	2	2	必修	1	月1 617	情報科学コース全教員	情報科学専攻における各専門分野の学習への導入として、各専門分野の概要、最新の話題、応用範囲、必要となる基礎力などについて幅広く学習する。これにより、将来の目標を設定し、今後の学習の履修モデル作成に役立てる。	
	SB112	データサイエンス概論	2	2	必修	1	月2 617	大川学 渡辺知恵美 菊地浩平 鍾 穎	数理・データサイエンス・AIの専門基礎科目として、データ処理の全体像と基礎的概念を理解し、データの収集・管理・分析法を学びながら、実社会でのデータ利活用の方法を身につける。	
	SB022	プログラミング演習１	2	2	必修	1	木4.5 409 410	若月大輔 安啓一 鍾 穎 田中陽土	Ｌｉｎｕｘ環境でＣ言語によるプログラミングの基礎から応用までを習得する。プログラムの作成に必要な論理的な考え方からデバック法に至るまでの幅広い領域において実習を行う。また、関連するＯＳ（Ｌｉｎｕｘ）機能の操作についても多方面にわたり実習を行う。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SB032	電気回路学・演習１	3	2	必修	1	金4.5 617	黒木速人 安啓一	工学系の基礎および電子工学系の基礎理論を身に付けるために、電気工学における基本法則である、オームの法則、キルヒホッフの法則を用いた回路解析に関して概説する。演習では、それらの理解力や応用力を身に付けるための演習問題を行う。	
	SB122	統計確率C	2	2	選択	1	月3 614	大塚和彦	専門分野での実験・研究のために必要とされる確率・統計の応用的な知識・能力を身につける。講義内容としては、分散分析、実験計画法や重回帰分析などについて具体的な事例データを用いて、実際的な処理・分析の手法について学修する。	【教職】数学(中・高)
	SB132	線形代数学２	2	2	選択	1	金3 520	加藤伸子 鍾 穎	線形代数学１に続いて、ベクトルの一次独立性、線形空間、固有値と固有ベクトル、ベクトルの分解と合成とその発展形態などについて学修する。	【教職】数学(中・高)〔必修〕
	SB062	幾何学１	2	2	選択	1	金1 213	新井達也	三角形に関する様々な定理の証明方法と応用について学習する。具体的には、パップスの中線定理とその応用、三角形の五心に関するいくつかの定理等について学ぶ。	【教職】数学(中・高)〔必修〕
	SB072	応用数学Ａ	2	2	選択	2	火1 507	大川学	情報科学分野における信号解析・処理の基礎となる数学を体系的に学ぶ。前半では複素数の基礎を整理し、後半ではフーリエ解析の基礎を扱う。演習を通して数学的理解と応用力を高め、上位科目への橋渡しを行う。	【教職】数学(中・高)
	SB082	幾何学２	2	2	選択	2	金2 213	新井達也	前半は、円に内接する四角形の特徴付けを考える。具体的には、トレミーの定理、シムソンの定理、方べきの定理等に関連した内容を学ぶ。後半は、メネラウスの定理、デザルグの定理等とそれらの応用について学習する。	【教職】数学(中・高)〔必修〕
	SB102	応用数学Ｂ	2	2	選択	2	月2 507	鍾　穎	数表現（Ｎ進数）、比較方法、演算手法、再帰的思考などを必要とする数理的テーマを取り上げる。そのテーマを取り上げる意味や背景を押さえながら、授業中の学生自身の試行錯誤を活かすための質疑応答を適宜おこない、課題を解決していく。	【教職】数学(中・高)〔必修〕

４　産業情報学科　情報科学コース

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SB013	電磁気学・演習	3	2	選択必修	1	木1.2 614	稲葉　基	技術系学生がこれからの専門領域を学ぶ上で、電気的現象、磁気的現象をどのように法則化できるのか、現象論として取り扱うかその基本的な考え方、体系化について学修する。内容としては、電荷と電界、電流と磁界、電磁誘導、電磁波について解説し、演習によって理解を深める。また、電場、磁場という場の考え方を理解させるため、ベクトル解析の電磁気学への適用についても基本的な内容について学ぶ。	
	SB023	論理回路設計論・応用演習	3	2	選択必修	1	火3.4 616	稲葉　基	ディジタルシステムの論理設計に関する話題を扱う。特に、ブール代数と論理回路の簡単化、順序回路の表現法と設計、ハードウェア記述言語を用いたハードウェアの設計などについて、実例を交えながら学修する。	
	SB033	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SB043	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SB053	産業技術プロジェクトＣ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトCでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題に対して専門知識を生かして問題解決する取り組みを行う。	
	SB163	産業技術プロジェクトＤ	1	2・3	選択	2	集中 509他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトDでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題を専門知識を生かしてチームで解決し、その過程と成果をまとめ発表する。	
	SB063	情報科学研究プロジェクトＡ	1	2	選択	1	集中 509 他	情報科学コース全教員	学生自身の興味に基づいて決めたテーマについて、教員の指導の下で研究を行うことで、実験や結果の評価方法、成果報告などの研究活動について実践的に学び、情報科学特別研究の導入とする。	
	SB073	ソフトウェア工学・演習１	3	2	必修	2	木2.3 409 410	加藤伸子 安啓一 鍾 穎 田中 陽土	ソフトウェアの開発に必要な基礎知識を習得する。オブジェクト指向の概念、オブジェクト指向を用いた設計、プログラミング、デバッグの実習を統合開発環境を用いて行い、知識を確実なものとしていく。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SB083	プログラミング演習２	2	2	選択必修	2	水1.2 409 410	若月大輔 安啓一 田中陽土	プログラミング演習１で身につけた知識と技術を活用して、より高度なC言語プログラミングについて学ぶ。与えられた課題に対してアルゴリズムを考え、実際にプログラムを組み上げる力を伸ばすための演習を行う。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SB093	電気回路学・演習２	3	2	選択必修	2	木4.5 614	黒木速人 安啓一	電気回路学・演習１に引き続き、工学系の基礎および電子工学系の基礎理論を身に付けるために、電気工学における基本法則の中で、特に交流理論を中心に概説する。演習では、それらの理解力や応用力を身に付けるための演習問題を行う。	
	SB103	フィジカルコンピューティング論・演習	3	2	選択必修	2	金4.5 616 617	白石優旗 （米山文雄）	我々が生活している「現実空間」とコンピュータやインターネットからなる「仮想空間」を接続する知識と技術を身につけることを目標とする。具体的には、コンピュータのコアとなるCPUアーキテクチャを抑えた上で、それら2つの空間を繋ぐ「入出力インターフェイス」や「アナログ・ディジタル変換」等について学習する。更に、組込みボードを用いたプログラミング実験を通して、ハードウェアとソフトウェアの関係を理解するとともに、「組込みシステム」を構築するための基礎的な力を養う。	
	SB593	データベース論・演習	1.5	2	選択必修	2	木4.5 213 他	渡辺知恵美 鍾 穎	データベースを理解し、その背後にある理論とともに、特に広く実用に供されている関係データベースをとりあげ、データベースの作成、操作方法を学ぶ。また、データベースの実現技術を学ぶ。	【教職】情報(高) 2学期の1週目(10月上旬)から7週開講

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SB603	データベース設計論・演習	1.5	2	選択必修	2	集中507	渡辺知恵美鍾 穎	関係データベースの設計モデルについて理解し、データ化したい対象世界をモデル化し、リレーションスキーマを定義する方法を実践的に学ぶ。	【教職】情報(高)2学期の後半(12月上旬)から木曜4・5限に開講
	SB613	アルゴリズムとデータ構造1	2	2	選択	2	月3614	渡辺知恵美	アルゴリズムとデータ構造の基礎を体系的に学ぶ。計算量を通して処理効率の考え方を理解し、探索・ソート・分割統治法などの代表的な設計技法を扱う。あわせて、配列、連結リスト、木構造などの基本的データ構造を学び、問題に応じた適切な手法を選択する基礎力を養う。	【教職】情報(高)
	SB133	日本語テクニカルライティング	1	2	選択	1	金2617	加藤伸子菊地浩平	専門科目でのレポートや卒業論文を作成するために、簡潔で誤解のない文章を書く技術の習得を目指す。短い文章で正確に伝えるための情報伝達型の文章の書き方について演習を行う。	
	SB623	情報社会と情報倫理	2	2	選択	2	月4520	西岡知之	コンピュータネットワークの仕組みについて理解したうえで、著作権や個人情報・プライバシーの概念を学び、情報社会で実際に発生している問題の社会的な影響や技術的な対策について理解する。	
	SB633	会話情報学・基礎	2	2	選択	2	金3520	菊地浩平	私たち人間にとって基本的な社会的活動のひとつである会話では，発話だけでなくうなずきや視線，体の向きなど多種多様な要素が会話を構成する要素として用いられている．これらの要素を，情報学的視点で研究するための基礎を学ぶ．	
	SB553	情報保障技術学・演習	3	2	選択	2	火2.3617他	若月大輔加藤伸子菊地浩平白石優旗安啓一	聴覚障害を中心とした基礎的な情報保障技術について学習する。情報保障が必要とされる場面や個々の障害の特性の配慮も視野に入れる。演習では社会に普及している情報保障技術を題材として、情報保障を適切に評価し活用できる力を身につけることを目標とする。	
	SB173	情報科学研究プロジェクトＢ	1	2	選択	2	集中509他	情報科学コース全教員	学生自身の興味に基づいて決めたテーマについて、教員の指導の下で研究を行うことで、実験や結果の評価方法、成果報告などの研究活動について実践的に学び、情報科学特別研究の導入とする。	
	SB643	アジャイル開発演習	2	2	選択	1,2	集中617	渡辺知恵美	本授業は、アジャイル開発の考え方をプロジェクト型学習（PBL）を通して実践的に学ぶことを目的とする。学生はチームを組み、身近な課題や社会的ニーズをテーマに、計画・実装・レビュー・振り返りを繰り返しながら開発を進める。短い反復による開発や対話を重視し、変化に柔軟に対応する姿勢を身につける。	

５　産業情報学科　先端機械工学コース

専門教育系科目

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SC022	図学基礎論	2	2	必修	1	月1 315	丹野格	機械製図の基礎となる第三角法を理解するとともに、製図の基礎技術を習得する。 正投影図法、副投影図法（立体、相貫体、切断、陰影）、斜投影図法、等角投影図法、透視図法について解説し、演習を通じて理解を深める。	【教職】工業(高)〔必修〕
	SC032	CAD基礎演習	1	2	必修	1	月3 316	下笠賢二	コンピュータを用いて図面を作成するCADシステムを実際に操作することにより、システムの基本的な操作法を学ぶ。また、この演習を通じて図学演習で学ぶ設計製図の図面作成方法を基礎に、実際の物作りを念頭に置いた図面作成のセンスを養う。	【教職】工業(高)〔必修〕
	SC042	力学1	2	2	必修	1	月4 315	辻田容希	機械工学の基礎である力学に関し、数式を使った考え方を学習する。力の合成と分解、力のつり合い、重心、様々な運動、運動と力の関係について詳しく解説する。	【教職】工業(高)
	SC052	機械設計製図演習1	2	2	必修	1	金4.5 316	後藤啓光 辻田容希	製図の基礎、機械要素について設計製図の演習を行う。産業界ではドラフターによる手書き製図からCAD製図に移行しているが、あえて従来通りの製図手法を行うことで、製図のルール（JIS、ISO)の理解を深めることに重点をおく。	【教職】工業(高)
	SC082	機械設計製図演習2	2	2	必修	2	月4.5 316	辻田容希 後藤啓光	産業界ではドラフターによる手書き製図からCAD製図に移行している。ここでは、２次元CADを用いて、各種機械要素の設計製図の演習を行う。	【教職】工業(高)
	SC072	力学2	2	2	必修	2	水1 314	辻田容希	機械工学の基礎である力学に関し、数式を使った考え方を学習する。剛体の運動、衝突、仕事・エネルギー・動力、摩擦について詳しく解説する。	【教職】工業(高)
	SC012	基礎工学実験	2	2	必修	2	木1.2 304	後藤啓光 谷　貴幸	物理学で学ぶ代表的な事象を対象とした実験を通じて、工学の実験方法の体得、現象の的確な把握および解析能力の養成を目的としており、小グループに分けて実験を行う。また同時に、機器の使用方法、実験の手順、書き方、観察のポイント、考察を含めた報告書の書き方を習得する。実験テーマは、主に誤差、圧力、振動、光の波長に関する内容とする。各回、２時限続きの授業として実施する。	【教職】工業(高)〔必修〕

６　産業情報学科　先端機械工学コース

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SC013	機械加工法実習A	2	2	必修	1	木4.5 工場	下笠賢二 後藤啓光 辻田容希	切削加工（旋盤）、手仕上げ、仕上げ組立など、機械工作に関する基礎知識および技能と技術を学び、各種加工のプロセスを実践を通じて安全作業を行うための基本と工作機械の特性などを習得する。	【教職】工業(高)
	SC023	産業技術プロジェクトA	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SC033	産業技術プロジェクトB	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SC323	産業技術プロジェクトC	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトCでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題に対して専門知識を生かして問題解決する取り組みを行う。	
	SC333	産業技術プロジェクトD	1	2・3	選択	2	集中 509他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトDでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題を専門知識を生かしてチームで解決し、その過程と成果をまとめ発表する。	
	SC053	機械加工法	2	2	必修	1	木3 315	下笠賢二	高精度、高品質の製品を効率的に設計・製造するためには、素材から製品に至る製作工程の最適化が課題である。この工程における各種加工技術の基本特性について、総合的に考察し、理解させる。	【教職】工業(高)
	SC043	機械加工法実習B	2	2	必修	2	木3.4 工場	下笠賢二 後藤啓光 辻田容希	切削加工（フライス盤、マシニングセンタ）、溶接（アーク）、精密測定（寸法、表面粗さ）など、機械工作に関する基礎知識および技能と技術を学び、各種加工のプロセスを実践を通じて安全作業を行うための基本と工作機械の特性などを習得する。	【教職】工業(高)
	SC343	力学演習1	1	2	選択	1	月5 315	辻田容希	力学1で学習した内容の演習問題を解き、授業内容の理解を深め、その定着を図る。	
	SC353	力学演習2	1	2	選択	2	水2 314	辻田容希	力学2で学習した内容の演習問題を解き、授業内容の理解を深め、その定着を図る。	【教職】工業(高)

７　産業情報学科　建築学コース

専門教育系科目

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担 当 教 員	授　　業　　概　　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SD012	建築計画基礎	2	2	必修	1	月3 423	山脇博紀	施設の平面構成を決定・評価する際の客観的な根拠となる建築計画について、人間の身体や活動と空間の規模との関連性、人間社会に対しての施設の役割、そして建設プロセスにおける位置づけなどから、その基本的な考え方を学ぶ。	
	SD022	環境工学基礎	2	2	必修	1	月4 422	今井計	人が安全で快適・健康に暮らすことのできる建築空間を実現するために、どのような設計をすれば良いのか知る必要がある。環境工学（音・光・空気・熱）で学ぶ基礎的な理論と設計の考え方について概説する。	
	SD032	建築基礎製図	3	2	必修	1	金 3.4.5 424	櫻庭晶子 山脇博紀	建築学・福祉住環境学では、考える時や意図を相手に伝える時に、いわば一種の言語として図面を用いている。本科目では、建築学・福祉住環境学の製図法および表現技術の基本の理解・習得を目的とする。線の描き方から始まって平面図・断面図・立面図のコピーを実習し、習得した図面表現方法を用いてプレゼンテーションの課題をおこなう。	【教職】工業(高)
	SD052	一般構造・構法	2	2	必修	1	月5 422	田中晃	鉄筋コンクリート構造や鉄骨構造、木構造を中心に取り上げ、構成材料や構法の違いに応じた各種架構の特徴の違いを理解する．さらに、建築骨組の材料・力学・施工といったトータルな視点で、架構原理・各種構法・安全性の基本的な事項を学習する.	
	SD062	建築ＣＡＤ演習	2	2	必修	2	金4.5 429	（杉山祐一郎）	BIM（Building Information Modeling）アプリケーションによる3D建築モデリング、図面作成やプレゼンテーション手法の基本を学習します。	

８　産業情報学科　建築学コース

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考 (対象専攻、教職免許の教科等)
専門教育科目	SD013	住居・住生活論	2	2	必修	1	水2 423	梅本舞子	人間の生活の基盤である住居について、歴史的な変遷、地域的な多様性、現代における住居の位置付けを概括する。その上で、住居の計画、並びに設計についての基礎知識を解説する。	
	SD053	都市・地域計画論	2	2	必修	2	水2 423	梅本舞子	日本の都市計画制度の概要を講述した上で、国内外で実践された都市計画の歴史、考え方、手法等を、理念の読み解き、実例の分析、その現代的課題を通して学ぶ。授業は自らが地域住民、計画者、為政者となった場合を想定し、考えながら話し合いながら進めることによって、基礎的な知識を習得すると共に、それを基にした理論的思考を身につける。	
	SD073	建築構造基礎	2	2	必修	2	月4 423	倉田成人	台風や地震にも耐えられる建築の構造の基礎について学ぶ。建築物にかかる力の流れや変形についての力学的な考え方を解説する。	
	SD473	環境工学	2	2	必修	2	金2 422	今井計	建築環境工学の4分野である音・光・空気・熱の基礎を学び、照度計・騒音計・データロガーなどを実際に操作してその評価方法や設計法の概要を習得する。	
	SD483	環境工学演習	1	2	必修	2	金3 422	今井計	環境工学を基礎として触れることの出来なかった発展的な内容を各分野から選んで演習、解説する。	
	SD103	住宅設計演習	3	2	必修	2	木3.4.5 424	梅本舞子	一連の設計演習の第一段階として、あらゆる建築の基礎となる住宅を題材とする。第一課題では建築家による住宅作品の分析を通して、住宅設計に必要な構造、寸法、部材名などの基礎知識、および表現方法を習得する。第二課題では戸建住宅の設計を題材に、家族の生活行動を踏まえた空間の構成法、これを表現するための図面、模型等のプレゼンテーション法を習得する。	
	SD043	建築人間工学論・演習	3	2	選択	2	月2･3 422 他	櫻庭晶子	人間と空間との最適関係である「使いやすさ」と「分かりやすさ」について、具体的事例に基づいて解説し、生活における基本的な動作や姿勢に関わる空間などを人間の体の特性や行動から考え、演習を通して建築空間の理解を深める。	
	SD493	建築デザイン論	1	2	選択	2	木2 423	北橋主税	あるテーマに対して、現状における課題の抽出、コンセプトの確立と課題解決案を学習する。サイトプランニング等グループによる設計活動を通しより質の高いデザインをおこなう思考と作業の方法を学習する。また、建築の社会的背景を捉えつつ必要な知識を習得する。	
	SD023	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SD033	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SD453	産業技術プロジェクトＣ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトCでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題に対して専門知識を生かして問題解決する取り組みを行う。	
	SD463	産業技術プロジェクトＤ	1	2・3	選択	2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトDでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題を専門知識を生かしてチームで解決し、その過程と成果をまとめ発表する。	

９　産業情報学科　支援技術学コース：情報保障工学領域

専門教育系科目

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SE012	情報科学概論	2	2	必修	1	月1 617	情報科学コース全教員	情報科学専攻における各専門分野の学習への導入として、各専門分野の概要、最新の話題、応用範囲、必要となる基礎力などについて幅広く学習する。これにより、将来の目標を設定し、今後の学習の履修モデル作成に役立てる。	
	SE112	データサイエンス概論	2	2	必修	1	月2 617	大川学 渡辺知恵美 菊地浩平 鍾 穎	数理・データサイエンス・AIの専門基礎科目として、データ処理の全体像と基礎的概念を理解し、データの収集・管理・分析法を学びながら、実社会でのデータ利活用の方法を身につける。	
	SE022	プログラミング演習１	2	2	必修	1	木4.5 409 410	若月大輔 安啓一 鍾 穎 田中陽土	Ｌｉｎｕｘ環境でＣ言語によるプログラミングの基礎から応用までを習得する。プログラムの作成に必要な論理的な考え方からデバック法に至るまでの幅広い領域において実習を行う。また、関連するＯＳ（Ｌｉｎｕｘ）機能の操作についても多方面にわたり実習を行う。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SE032	電気回路学・演習１	3	2	必修	1	金4.5 617	黒木速人 安啓一	工学系の基礎および電子工学系の基礎理論を身に付けるために、電気工学における基本法則である、オームの法則、キルヒホッフの法則を用いた回路解析に関して概説する。演習では、それらの理解力や応用力を身に付けるための演習問題を行う。	
	SE122	統計確率Ｃ	2	2	選択	1	月3 614	大塚和彦	専門分野での実験・研究のために必要とされる確率・統計の応用的な知識・能力を身につける。講義内容としては、分散分析、実験計画法や重回帰分析などについて具体的な事例データを用いて、実際的な処理・分析の手法について学修する。	【教職】数学(中・高)
	SE132	線形代数学２	2	2	選択	1	金3 520	加藤伸子 鍾 穎	線形代数学１に続いて、ベクトルの一次独立性、線形空間、固有値と固有ベクトル、ベクトルの分解と合成とその発展形態などについて学修する。	【教職】数学(中・高)〔必修〕
	SE062	幾何学１	2	2	選択	1	金1 213	新井達也	三角形に関する様々な定理の証明方法と応用について学習する。具体的には、パップスの中線定理とその応用、三角形の五心に関するいくつかの定理等について学ぶ。	【教職】数学(中・高)〔必修〕
	SE072	応用数学Ａ	2	2	選択	2	火1 507	大川学	情報科学分野における信号解析・処理の基礎となる数学を体系的に学ぶ。前半では複素数の基礎を整理し、後半ではフーリエ解析の基礎を扱う。演習を通して数学的理解と応用力を高め、上位科目への橋渡しを行う。	【教職】数学(中・高)
	SE082	幾何学２	2	2	選択	2	金2 213	新井達也	前半は、円に内接する四角形の特徴付けを考える。具体的には、トレミーの定理、シムソンの定理、方べきの定理等に関連した内容を学ぶ。後半は、メネラウスの定理、デザルグの定理等とそれらの応用について学習する。	【教職】数学(中・高)〔必修〕
	SE102	応用数学Ｂ	2	2	選択	2	月2 507	鍾 穎	数表現（Ｎ進数）、比較方法、演算手法、再帰的思考などを必要とする数理的テーマを取り上げる。そのテーマを取り上げる意味や背景を押さえながら、授業中の学生自身の試行錯誤を活かすための質疑応答を適宜おこない、課題を解決していく。	【教職】数学(中・高)〔必修〕

１０　産業情報学科　支援技術学コース：情報保障工学領域

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SE603	支援技術学論・演習Ａ	3	2	必修	1	火3,4 507他	支援技術学コース教員	支援や支援技術に関して、さまざまな事例や法制度などについて学習する。加えて、情報保障工学、福祉機器、福祉住環境、アクセシブルデザインの各支援技術学コースの領域に関する基本的な知識を講義・演習形式で習得する。	
	SE613	支援技術学論・演習Ｂ	3	2	必修	1・2	1学期 集中 2学期 火4,5 R201他	菊地浩平 白澤麻弓 三好茂樹 大杉豊 （高山亨太）	本授業では、ろう・難聴者を取り巻くさまざまな社会資源のうち、手話通訳や文字通訳といった情報保障制度や音声認識・手話認識といった工学的技術を用いた支援、さらには、社会福祉の理論と現場における実践等について、講義と演習の両面から学習を深めていくことで、ろう・難聴者支援における多面的なアプローチについて理解を深めることを目的とする。	1学期(集中)と2学期(火4・5)の時間割の違いに注意されたい
	SE633	障害の特性と理解	2	2	選択	2	金3 春日 316	白澤麻弓 青木千帆子 （山森一希） （吉川かおり） （末吉彩香） （上岡陽江）	多様な人々の社会的活躍を支えていくためには、そうした人々の持つ障害について、正しい理解を持つことが重要である。この授業では、自身の持つ障害以外のさまざまな障害（聴覚障害、視覚障害、知的障害、肢体不自由、発達障害、精神障害など）について、病理学、生理学、教育学、心理学、リハビリテーション学の観点から学ぶことで、障害の特性についての基礎的な知識を獲得するとともに、多様な障害がある人の「活動」や「参加」の状態を向上させるための指導や援助の内容について学習する。 これらを通じて、さまざまな障害を持つ人々の社会参加を支え、彼／彼女らの活躍を支援するための基礎的な技術と知識の習得を目指す。	共生社会創成学部開講科目
	SE643	障害社会学	2	2	選択	2	金2 春日 316	青木千帆子	この授業では、国連障害者の権利に関する条約において示されている「社会モデル」を軸に、「障害」や「社会的障壁」に対する幅広い見方・捉え方について学習する。 講義はまず、障害学と呼ばれる分野で蓄積されてきた議論の歴史を学ぶ。続けて、今日における障害者の育児を事例に、過去の議論が現在においてどのような意味をもつのかを学ぶ。続けて、多くが非正規労働者である支援者や、日本社会におけるテクノロジーの位置づけをめぐる社会学の議論を学び、社会モデルの観点をより幅広い対象を包含する「ダイバーシティ」の概念に結び付けていく。このような学習を通し、共生社会に関する社会学的な理解を深める。 なお、この科目は視覚・聴覚系共同実施科目である。講義内容を理解することはもちろんであるが、同時に受講生相互のニーズや学び方の異なりを直接経験することを通し、共生社会の在り方について構想する姿勢が求められる。	共生社会創成学部開講科目
	SE093	情報保障技術学・演習＜情報系＞	3	2	必修	2	火2.3 617 他	若月大輔 加藤伸子 菊地浩平 白石優旗 安啓一	聴覚障害を中心とした基礎的な情報保障技術について学習する。情報保障が必要とされる場面や個々の障害の特性の配慮も視野に入れる。演習では社会に普及している情報保障技術を題材として、情報保障を適切に評価し活用できる力を身につけることを目標とする。	
	SE143	住居・住生活論＜建築系＞	2	2	選択	1	水2 423	梅本舞子	人間の生活の基盤である住居について、歴史的な変遷、地域的な多様性、現代における住居の位置付けを概括する。その上で、住居の計画、並びに設計についての基礎知識を解説する。	
	SE713	映像論・演習〈デザイン系〉	3	2	選択	2	金4・5 115	（永盛祐介） 西岡仁也 横井聖宏	モーショングラフィックス、アニメーション、撮影と編集など、グラフィックデザインにおける映像表現の知識と技術を学び、メディアに合わせた定着に取り組む。課題を通してコンセプトの立案から、絵コンテの作成、レイアウトによる伝達効果など、時間軸の設計と視覚表現を統合的に理解する。	
	SE193	電磁気学・演習	3	2	選択	1	木1.2 614	稲葉基	技術系学生がこれからの専門領域を学ぶ上で、電気的現象、磁気的現象をどのように法則化できるのか、現象論として取り扱うかその基本的な考え方、体系化について学修する。内容としては、電荷と電界、電流と磁界、電磁誘導、電磁波について解説し、演習によって理解を深める。また、電場、磁場という場の考え方を理解させるため、ベクトル解析の電磁気学への適用についても基本的な内容について学ぶ。	
	SE203	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SE213	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SE223	産業技術プロジェクトＣ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトCでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題に対して専門知識を生かして問題解決する取り組みを行う。	
	SE333	産業技術プロジェクトＤ	1	2・3	選択	2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトDでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題を専門知識を生かしてチームで解決し、その過程と成果をまとめ発表する。	
	SE233	情報保障工学研究プロジェクトＡ	1	2	選択	1	集中 509 他	支援技術学コース情報系担当教員全員	学生自身の興味に基づいて決めたテーマについて、教員の指導の下で研究を行うことで、実験や結果の評価方法、成果報告などの研究活動について実践的に学び、情報保障工学特別研究の導入とする。	
	SE263	ソフトウェア工学・演習１	3	2	選択	2	木2.3 409 410	加藤伸子 安啓一 鍾 穎 田中 陽土	ソフトウェアの開発に必要な基礎知識を習得する。オブジェクト指向の概念、オブジェクト指向を用いた設計、プログラミング、デバッグの実習を統合開発環境を用いて行い、知識を確実なものとしていく。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SE273	プログラミング演習２	2	2	選択	2	水1.2 409 410	若月大輔 安啓一 田中陽土	プログラミング演習１で身につけた知識と技術を活用して、より高度なC言語プログラミングについて学ぶ。与えられた課題に対してアルゴリズムを考え、実際にプログラムを組み上げる力を伸ばすための演習を行う。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SE723	データベース論・演習	1.5	2	選択	2	木4.5 213 他	渡辺知恵美 鍾 穎	データベースを理解し、その背後にある理論とともに、特に広く実用に供されている関係データベースをとりあげ、データベースの作成、操作方法を学ぶ。また、データベースの実現技術を学ぶ。	【教職】情報(高) 2学期の1週目(10月上旬)から7週開講
	SE733	データベース設計論・演習	1.5	2	選択	2	集中 507	渡辺知恵美 鍾 穎	関係データベースの設計モデルについて理解し、データ化したい対象世界をモデル化し、リレーションスキーマを定義する方法を実践的に学ぶ。	【教職】情報(高) 2学期の後半(12月上旬)から木曜4・5限に開講
	SE743	情報社会と情報倫理	2	2	選択	2	月4 520	西岡知之	コンピュータネットワークの仕組みについて理解したうえで、著作権や個人情報・プライバシーの概念を学び、情報社会で実際に発生している問題の社会的な影響や技術的な対策について理解する。	
	SE753	会話情報学・基礎	2	2	選択	2	金3 520	菊地浩平	私たち人間にとって基本的な社会的活動のひとつである会話では，発話だけでなくうなずきや視線，体の向きなど多種多様な要素が会話を構成する要素として用いられている．これらの要素を，情報学的視点で研究するための基礎を学ぶ.	
	SE763	アルゴリズムとデータ構造1	2	2	選択	2	月3 614	渡辺知恵美	アルゴリズムとデータ構造は、情報処理技術に必須な知識である。その中でも基本となる二分木と各種のソートアルゴリズム、計算量について学習する。	【教職】情報(高)
	SE303	電気回路学・演習２	3	2	選択	2	木4.5 614	黒木速人 安啓一	電気回路学・演習１に引き続き、工学系の基礎および電子工学系の基礎理論を身に付けるために、電気工学における基本法則の中で、特に交流理論を中心に概説する。演習では、それらの理解力や応用力を身に付けるための演習問題を行う。	
	SE313	フィジカルコンピューティング論・演習	3	2	選択	2	金4.5 616 617	白石優旗 (米山文雄)	我々が生活している「現実空間」とコンピュータやインターネットからなる「仮想空間」を接続する知識と技術を身につけることを目標とする。具体的には、コンピュータのコアとなるCPUアーキテクチャを抑えた上で、それら2つの空間を繋ぐ「入出力インターフェイス」や「アナログ・ディジタル変換」等について学習する。更に、組込みボードを用いたプログラミング実験を通して、ハードウェアとソフトウェアの関係を理解するとともに、「組込みシステム」を構築するための基礎的な力を養う。	
	SE323	日本語テクニカルライティング	1	2	選択	1	金2 617	加藤伸子 菊地浩平	専門科目でのレポートや卒業論文を作成するために、簡潔で誤解のない文章を書く技術の習得を目指す。短い文章で正確に伝えるための情報伝達型の文章の書き方について演習を行う。	
	SE343	情報保障工学研究プロジェクトＢ	1	2	選択	2	集中 509 他	支援技術学コース情報系担当教員全員	学生自身の興味に基づいて決めたテーマについて、教員の指導の下で研究を行うことで、実験や結果の評価方法、成果報告などの研究活動について実践的に学び、情報保障工学特別研究の導入とする。	

１１　産業情報学科　支援技術学コース：福祉機器工学領域

専門教育系科目

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SF022	図学基礎論	2	2	必修	1	月1 315	丹野格	機械製図の基礎となる第三角法を理解するとともに、製図の基礎技術を習得する。正投影図法、副投影図法(立体、相貫体、切断、陰影)、斜投影図法、等角投影図法、透視図法について解説し、演習を通じて理解を深める。	【教職】工業(高)〔必修〕
	SF032	CAD基礎演習	1	2	必修	1	月3 316	下笠賢二	コンピュータを用いて図面を作成するCADシステムを実際に操作することにより、システムの基本的な操作法を学ぶ。また、この演習を通じて図学演習で学ぶ設計製図の図面作成方法を基礎に、実際の物作りを念頭に置いた図面作成のセンスを養う。	【教職】工業(高)〔必修〕
	SF042	力学1	2	2	必修	1	月4 315	辻田容希	機械工学の基礎である力学に関し、数式を使った考え方を学習する。力の合成と分解、力のつり合い、重心、様々な運動、運動と力の関係について詳しく解説する。	【教職】工業(高)
	SF052	機械設計製図演習1	2	2	必修	1	金4.5 316	後藤啓光 辻田容希	製図の基礎、機械要素について設計製図の演習を行う。産業界ではドラフターによる手書き製図からCAD製図に移行しているが、あえて従来通りの製図手法を行うことで、製図のルール（JIS、ISO)の理解を深めることに重点をおく。	【教職】工業(高)
	SF072	機械設計製図演習2	2	2	必修	2	月4.5 316	辻田容希 後藤啓光	産業界ではドラフターによる手書き製図からCAD製図に移行している。ここでは、２次元CADを用いて、各種機械要素の設計製図の演習を行う。	【教職】工業(高)
	SF012	基礎工学実験	2	2	必修	2	木1.2 304	後藤啓光 谷　貴幸	物理学で学ぶ代表的な事象を対象とした実験を通じて、工学の実験方法の体得、現象の的確な把握および解析能力の養成を目的としており、小グループに分けて実験を行う。また同時に、機器の使用方法、実験の手順、書き方、観察のポイント、考察を含めた報告書の書き方を習得する。実験テーマは、主に誤差、圧力、振動、光の波長に関する内容とする。各回、２時限続きの授業として実施する。	【教職】工業(高)〔必修〕

１２　産業情報学科　支援技術学コース：福祉機器工学領域

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SF493	支援技術学論・演習Ａ	3	2	必修	1	火3,4 507 他	支援技術学コース教員	支援や支援技術に関して、さまざまな事例や法制度などについて学習する。加えて、情報保障工学、福祉機器、福祉住環境、アクセシブルデザインの各支援技術学コースの領域に関する基本的な知識を講義・演習形式で習得する。	
	SF503	支援技術学論・演習Ｂ	3	2	必修	1・2	1学期 集中 2学期 火4,5 R201他	菊地浩平 白澤麻弓 三好茂樹 大杉豊 （高山亨太）	本授業では、ろう・難聴者を取り巻くさまざまな社会資源のうち、手話通訳や文字通訳といった情報保障制度や音声認識・手話認識といった工学的技術を用いた支援、さらには、社会福祉の理論と現場における実践等について、講義と演習の両面から学習を深めていくことで、ろう・難聴者支援における多面的なアプローチについて理解を深めることを目的とする。	1学期(集中)と2学期(火4・5)の時間割の違いに注意されたい
	SF523	障害の特性と理解	2	2	選択	2	金3 春日 316	白澤麻弓 青木千帆子 （山森一希） （吉川かおり） （末吉彩香） （上岡陽江）	多様な人々の社会的活躍を支えていくためには、そうした人々の持つ障害について、正しい理解を持つことが重要である。この授業では、自身の持つ障害以外のさまざまな障害（聴覚障害、視覚障害、知的障害、肢体不自由、発達障害、精神障害など）について、病理学、生理学、教育学、心理学、リハビリテーション学の観点から学ぶことで、障害の特性についての基礎的な知識を獲得するとともに、多様な障害がある人の「活動」や「参加」の状態を向上させるための指導や援助の内容について学習する。 これらを通じて、さまざまな障害を持つ人々の社会参加を支え、彼／彼女らの活躍を支援するための基礎的な技術と知識の習得を目指す。	共生社会創成学部開講科目
	SF533	障害社会学	2	2	選択	2	金2 春日 316	青木千帆子	この授業では、国連障害者の権利に関する条約において示されている「社会モデル」を軸に、「障害」や「社会的障壁」に対する幅広い見方・捉え方について学習する。 講義はまず、障害学と呼ばれる分野で蓄積されてきた議論の歴史を学ぶ。続けて、今日における障害者の育児を事例に、過去の議論が現在においてどのような意味をもつのかを学ぶ。続けて、多くが非正規労働者である支援者や、日本社会におけるテクノロジーの位置づけをめぐる社会学の議論を学び、社会モデルの観点をより幅広い対象を包含する「ダイバーシティ」の概念に結び付けていく。このような学習を通し、共生社会に関する社会学的な理解を深める。 なお、この科目は視覚・聴覚系共同実施科目である。講義内容を理解することはもちろんであるが、同時に受講生相互のニーズや学び方の異なりを直接経験することを通し、共生社会の在り方について構想する姿勢が求められる。	共生社会創成学部開講科目
	SF093	情報保障技術学・演習＜情報系＞	3	2	選択	2	火2.3 617 他	若月大輔 加藤伸子 菊地浩平 白石優旗 安啓一	聴覚障害を中心とした基礎的な情報保障技術について学習する。情報保障が必要とされる場面や個々の障害の特性の配慮も視野に入れる。演習では社会に普及している情報保障技術を題材として、情報保障を適切に評価し活用できる力を身につけることを目標とする。	
	SF143	住居・住生活論＜建築系＞	2	2	選択	1	水2 423	梅本舞子	人間の生活の基盤である住居について、歴史的な変遷、地域的な多様性、現代における住居の位置付けを概括する。その上で、住居の計画、並びに設計についての基礎知識を解説する。	
	SF603	映像論・演習〈デザイン系〉	3	2	選択	2	金4・5 115	（永盛祐介） 西岡仁也 横井聖宏	モーショングラフィックス、アニメーション、撮影と編集など、グラフィックデザインにおける映像表現の知識と技術を学び、メディアに合わせた定着に取り組む。課題を通してコンセプトの立案から、絵コンテの作成、レイアウトによる伝達効果など、時間軸の設計と視覚表現を統合的に理解する。	
	SF193	機械加工法実習Ａ	2	2	必修	1	木4.5 工場	下笠賢二 後藤啓光 辻田容希	切削加工（旋盤）、手仕上げ、仕上げ組立など、機械工作に関する基礎知識および技能と技術を学び、各種加工のプロセスを実践を通じて安全作業を行うための基本と工作機械の特性などを習得する。	【教職】工業(高)
	SF203	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SF213	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考 (対象専攻、教職免許の教科等)
専門教育科目	SF613	産業技術プロジェクトC	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトCでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題に対して専門知識を生かして問題解決する取り組みを行う。	
	SF623	産業技術プロジェクトD	1	2・3	選択	2	集中 509他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトDでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題を専門知識を生かしてチームで解決し、その過程と成果をまとめ発表する。	
	SF273	機械加工法	2	2	必修	1	木3 315	下笠賢二	高精度、高品質の製品を効率的に設計・製造するためには、素材から製品に至る製作工程の最適化が課題である。この工程における各種加工技術の基本特性について、総合的に考察し、理解させる。	【教職】工業(高)
	SF223	幾何学１	2	2	選択	1	金1 213	新井達也	三角形に関する様々な定理の証明方法と応用について学習する。具体的には、パップスの中線定理とその応用、三角形の五心に関するいくつかの定理等について学ぶ。	【教職】数学(中・高)〔必修〕
	SF233	幾何学２	2	2	選択	2	金2 213	新井達也	前半は、円に内接する四角形の特徴付けを中心に考える。具体的には、トレミーの定理、シムソンの定理、方べきの定理等に関連する内容を学ぶ。後半は、メネラウスの定理、デザルグの定理等とそれらの応用について学習する。	【教職】数学(中・高)〔必修〕
	SF243	力学２	2	2	選択	2	水1 314	辻田容希	機械工学の基礎である力学に関し、数式を使った考え方を学習する。剛体の運動、衝突、仕事・エネルギー・動力、摩擦について詳しく解説する。	【教職】工業(高)
	SF633	力学演習1	1	2	選択	1	月5 315	辻田容希	力学1で学習した内容の演習問題を解き、授業内容の理解を深め、その定着を図る。	
	SF643	力学演習2	1	2	選択	2	水2 314	辻田容希	力学2で学習した内容の演習問題を解き、授業内容の理解を深め、その定着を図る。	【教職】工業(高)
	SF263	機械加工法実習Ｂ	2	2	必修	2	木3.4 工場	下笠賢二 後藤啓光 辻田容希	切削加工（フライス盤、旋盤）、溶接（アーク）、精密測定（寸法、表面粗さ）など、機械工作に関する基礎知識および技能と技術を学び、各種加工のプロセスを実践を通じて安全作業を行うための基本と工作機械の特性などを習得する。	【教職】工業(高)

１３　産業情報学科　支援技術学コース：福祉住環境学領域

専門教育系科目

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SG012	建築計画基礎	2	2	必修	1	月3 423	山脇博紀	施設の平面構成を決定・評価する際の客観的な根拠となる建築計画について、人間の身体や活動と空間の規模との関連性、人間社会に対しての施設の役割、そして建設プロセスにおける位置づけなどから、その基本的な考え方を学ぶ。	
	SG022	環境工学基礎	2	2	必修	1	月4 422	今井計	人が安全で快適・健康に暮らすことのできる建築空間を実現するために、どのような設計をすれば良いのか知る必要がある。環境工学（音・光・空気・熱）で学ぶ基礎的な理論と設計の考え方について概説する。	
	SG032	建築基礎製図	3	2	必修	1	金 3.4.5 424	櫻庭晶子 山脇博紀	建築学・福祉住環境学では、考える時や意図を相手に伝える時に、いわば一種の言語として図面を用いている。本科目では、建築学・福祉住環境学の製図法および表現技術の基本の理解・習得を目的とする。線の描き方から始まって平面図・断面図・立面図のコピーを実習し、習得した図面表現方法を用いてプレゼンテーションの課題をおこなう。	【教職】工業（高）
	SG052	一般構造・構法	2	2	必修	1	月5 422	田中晃	鉄筋コンクリート構造や鉄骨構造、木構造を中心に取り上げ、構成材料や構法の違いに応じた各種架構の特徴の違いを理解する．さらに、建築骨組の材料・力学・施工といったトータルな視点で、架構原理・各種構法・安全性の基本的な事項を学習する．	
	SG062	建築ＣＡＤ演習	2	2	必修	2	金4.5 429	（杉山祐一郎）	BIM（Building Information Modeling）アプリケーションによる3D建築モデリング、図面作成やプレゼンテーション手法の基本を学習します。	

１４　産業情報学科　支援技術学コース：福祉住環境学領域

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SG483	支援技術学論・演習Ａ	3	2	必修	1	火3,4 507他	支援技術学コース教員	支援や支援技術に関して、さまざまな事例や法制度などについて学習する。加えて、情報保障工学、福祉機器、福祉住環境、アクセシブルデザインの各支援技術学コースの領域に関する基本的な知識を講義・演習形式で習得する。	
	SG493	支援技術学論・演習Ｂ	3	2	必修	1・2	1学期 集中 2学期 火4,5 R201他	菊地浩平 白澤麻弓 三好茂樹 大杉豊 （高山亨太）	本授業では、ろう・難聴者を取り巻くさまざまな社会資源のうち、手話通訳や文字通訳といった情報保障制度や音声認識・手話認識といった工学的技術を用いた支援、さらには、社会福祉の理論と現場における実践等について、講義と演習の両面から学習を深めていくことで、ろう・難聴者支援における多面的なアプローチについて理解を深めることを目的とする。	1学期(集中)と2学期(火4・5)の時間割の違いに注意されたい
	SG513	障害の特性と理解	2	2	選択	2	金3 春日 316	白澤麻弓 青木千帆子 （山森一希） （吉川かおり） （末吉彩香） （上岡陽江）	多様な人々の社会的活躍を支えていくためには、そうした人々の持つ障害について、正しい理解を持つことが重要である。この授業では、自身の持つ障害以外のさまざまな障害（聴覚障害、視覚障害、知的障害、肢体不自由、発達障害、精神障害など）について、病理学、生理学、教育学、心理学、リハビリテーション学の観点から学ぶことで、障害の特性についての基礎的な知識を獲得するとともに、多様な障害がある人の「活動」や「参加」の状態を向上させるための指導や援助の内容について学習する。 これらを通じて、さまざまな障害を持つ人々の社会参加を支え、彼／彼女らの活躍を支援するための基礎的な技術と知識の習得を目指す。	共生社会創成学部開講科目
	SG523	障害社会学	2	2	選択	2	金2 春日 316	青木千帆子	この授業では、国連障害者の権利に関する条約において示されている「社会モデル」を軸に、「障害」や「社会的障壁」に対する幅広い見方・捉え方について学習する。 講義はまず、障害学と呼ばれる分野で蓄積されてきた議論の歴史を学ぶ。続けて、今日における障害者の育児を事例に、過去の議論が現在においてどのような意味をもつのかを学ぶ。続けて、多くが非正規労働者である支援者や、日本社会におけるテクノロジーの位置づけをめぐる社会学の議論を学び、社会モデルの観点をより幅広い対象を包含する「ダイバーシティ」の概念に結び付けていく。このような学習を通し、共生社会に関する社会学的な理解を深める。 なお、この科目は視覚・聴覚系共同実施科目である。講義内容を理解することはもちろんであるが、同時に受講生相互のニーズや学び方の異なりを直接経験することを通し、共生社会の在り方について構想する姿勢が求められる。	共生社会創成学部開講科目
	SG093	情報保障技術学・演習＜情報系＞	3	2	選択	2	火2.3 617 他	若月大輔 加藤伸子 菊地浩平 白石優旗 安啓一	聴覚障害を中心とした基礎的な情報保障技術について学習する。情報保障が必要とされる場面や個々の障害の特性の配慮も視野に入れる。演習では社会に普及している情報保障技術を題材として、情報保障を適切に評価し活用できる力を身につけることを目標とする。	
	SG143	住居・住生活論＜建築系＞	2	2	必修	1	水2 423	梅本舞子	人間の生活の基盤である住居について、歴史的な変遷、地域的な多様性、現代における住居の位置付けを概括する。その上で、住居の計画、並びに設計についての基礎知識を解説する。	
	SG173	ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	2	2	選択	1	月1 201 202	総合デザイン学科教員/福祉住環境学教員	ノーマライゼーション意識の普及による現代社会では、デザインのユニバーサル化が当然の課題となっている。ユニバーサルデザインの今日的意義、良いデザインとは何か、人間・モノ・情報・空間との関係など、ユニバーサルデザイン要素を理解し、幅広くモノ創りとしてユニバーサルデザインの対応力を高める。	
	SG593	映像論・演習〈デザイン系〉	3	2	選択	2	金4・5 115	（永盛祐介） 西岡仁也 横井聖宏	モーショングラフィックス、アニメーション、撮影と編集など、グラフィックデザインにおける映像表現の知識と技術を学び、メディアに合わせた定着に取り組む。課題を通してコンセプトの立案から、絵コンテの作成、レイアウトによる伝達効果など、時間軸の設計と視覚表現を統合的に理解する。	
	SG193	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SG203	産業技術プロジェクトB	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SG603	産業技術プロジェクトC	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトCでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題に対して専門知識を生かして問題解決する取り組みを行う。	
	SG613	産業技術プロジェクトD	1	2・3	選択	2	集中 509他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトDでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題を専門知識を生かしてチームで解決し、その過程と成果をまとめ発表する。	
	SG223	都市・地域計画論	2	2	必修	2	水2 423	梅本舞子	日本の都市計画制度の概要を講述した上で、国内外で実践された都市計画の歴史、考え方、手法等を、理念の読み解き、実例の分析、その現代的課題を通して学ぶ。授業は自らが地域住民、計画者、為政者となった場合を想定し、考えながら話し合いながら進めることによって、基礎的な知識を習得すると共に、それを基にした理論的思考を身につける。	
	SG263	住宅設計演習	3	2	必修	2	木3.4.5 424	梅本舞子	一連の設計演習の第一段階として、あらゆる建築の基礎となる住宅を題材とする。第一課題では建築家による住宅作品の分析を通して、住宅設計に必要な構造、寸法、部材名などの基礎知識、および表現方法を習得する。第二課題では戸建住宅の設計を題材に、家族の生活行動を踏まえた空間の構成法、これを表現するための図面、模型等のプレゼンテーション法を習得する。	
	SG623	建築デザイン論	1	2	選択	2	木2 423	北橋主税	あるテーマに対して、現状における課題の抽出、コンセプトの確立と課題解決案を学習する。サイトプランニング等グループによる設計活動を通しより質の高いデザインをおこなう思考と作業の方法を学習する。また、建築の社会的背景を捉えつつ必要な知識を習得する。	
	SG243	建築構造基礎	2	2	選択	2	月4 423	倉田成人	台風や地震にも耐えられる建築の構造の基礎について学ぶ。建築物にかかる力の流れや変形についての力学的な考え方を解説する。	
	SG633	環境工学	2	2	選択	2	金2 422	今井計	建築環境工学の4分野である音・光・空気・熱の基礎を学び、照度計・騒音計・データロガーなどを実際に操作してその評価方法や設計法の概要を習得する。	
	SG643	環境工学演習	1	2	選択	2	金3 422	今井計	環境工学を基礎として触れることの出来なかった発展的な内容を各分野から選んで演習、解説する。	
	SG213	建築人間工学論・演習	3	2	選択	2	月2.3 422他	櫻庭晶子	人間と空間との最適関係である「使いやすさ」と「分かりやすさ」について、具体的事例に基づいて解説し、生活における基本的な動作や姿勢に関わる空間などを人間の体の特性や行動から考え、演習を通して建築空間の理解を深める。	
	SG273	社会シミュレーション論	2	2	選択	1	火5 117	皆川洋喜	レジでの順番待ち、道路の渋滞、工場の生産ライン等、社会のあらゆる場面で発生する「待ち行列」について、コンピュータを用いてシミュレーションする方法について学習する。	

産業情報学科

各科目の開講学期・曜時限，担当教員及び授業概要

令和６年度以前の入学者（３～４年次）対象科目

1　教養教育科目（産業情報学科）

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
教養教育科目	SA621	自分史	2	3	選択	1	木2 213	大杉豊	就職活動の軸となる「自分史」を作る。自分の過去の経験を振り返ることで、自分の行動パターンや自分が大事にしている価値観を言葉にする。そして面接やエントリーシートで自分の価値観や行動パターンを説明できるスキルを身につけることを主要目的とする。	
	SA631	就職活動支援	2	3	選択	2	月2 プレゼンルーム	加藤伸子	自己分析および社会的状況の客観的理解を基盤とした進路選択、意思決定について解説する。また聴覚障害者の就職活動における手順や、履歴書・エントリーシートの作成、面接対策等のポイントを教授する。さらに聴覚障害者の就労場面で生起する活動参加制限について、卒業生等が直面している事例を紹介し、あわせて就労に際して知っておくべき制度、法律、支援体制について教授する。	
	SA641	ライフキャリア	2	4	選択	1	水3 216	小林洋子	本授業では、仕事に限らず、結婚・出産・育児・介護など生涯のあらゆる経験を「キャリア」と捉えるライフキャリアの考え方を学ぶ。人生100年時代における多様な生き方・働き方を踏まえ、キャリア発達の理論と実践を通して課題を検討し、講義・ワーク・ディスカッションを通じて自分らしいキャリアの在り方を考える。	

４　産業情報学科　情報科学コース

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SB033	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SB043	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SB053	産業技術プロジェクトＣ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトCでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題に対して専門知識を生かして問題解決する取り組みを行う。	
	SB163	産業技術プロジェクトＤ	1	2・3	選択	2	集中 509他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトDでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題を専門知識を生かしてチームで解決し、その過程と成果をまとめ発表する。	
	SB563	ネットワーク・セキュリティ論・演習	3	3	必修	1	水1.2 614 617	西岡知之 大塚和彦	ネットワークシステムについての概要を説明する。さらに情報管理・情報処理におけるネットワークシステムを、インターネット、ＬＡＮ、セキュリティー等の具体的事例を示しながら説明することに加えて，システムの動作を実体験することで、その理解を深める。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SB183	ソフトウェア工学・演習2	3	3	選択必修	1	金3.4 409 410	加藤伸子 田中 陽土	大規模ソフトウェア開発のための様々な構造的要求分析方法とUML、仕様書の書き方を学習する。大規模ソフトウェアに執拗なテストの方法と記録、分割コンパイル、連結テストについても実習を通じて身につける。	【教職】情報(高)
	SB193	電子回路実験	2	3	選択必修	1	木4.5 603	稲葉基 黒木速人 白石優旗 安啓一	電源や測定機器の使い方と12テーマの電子回路の実験を通して、電子回路学の学修内容の理解を深め、実験遂行能力、報告書作成能力、プレゼンテーション力の向上を目指す。	
	SB203	電子回路学・演習	3	3	選択必修	1	火1.2 614	黒木速人 稲葉基	半導体電子デバイスの動作原理、および、それらデバイスを用いた各種の電子回路の設計技術と知識を学び、演習を行ってその理解を深める。	
	SB213	計測・制御工学	2	3	選択必修	1	火3 614	白石優旗	最初にラプラス変換(LT)を導入する。そして、LTによるシステムの伝達関数表現、ブロック線図によるシステム同士の結合、逆LTによるインパルス応答やステップ応答の計算、ネガティブフィードバック、PID制御などの学習を通じて、制御に関する基本事項の理解を深める。	【教職】情報(高)
	SB223	多変量データ解析法・演習	3	3	選択必修	1	水4.5 409 410	（井上正之）	多項目のデータ（計測値やアンケート等）を数量的に記述し、それらの数値に潜む要因間の関係を統計学の手法を用いて分析する方法を学習する。統計学の基礎を踏まえた上で、実際の問題（数値化されたデータ）への多変量解析方法の適応手法などを習得する。	【教職】情報(高)
	SB233	データベース設計論・演習	3	3	選択必修	1	火4.5 507	渡辺知恵美 鍾 穎	リレーショナルデータベースを対象とし、ER図を用いたリレーションスキーマやデータベースと連携したアプリケーションの設計と実装法、検索最適化やデーター貫性を踏まえたデータベースの設計法について学修する。	【教職】情報(高)

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SB243	マーケティング論・演習	3	3	選択必修	1	月1.2 507	河野純大	講義では、人の嗜好や意思決定の仕組みを知るための基礎的理論と、対象となる人や競合となるモノなどをリサーチする方法論について学習する。演習では、マーケティング戦略立案、商品開発、広告宣伝活動など、総合企画力を実践的に習得する。	
	SB253	情報科学特別講義	2	3	選択	1	月3.4 隔週 507 プレゼンテーションルーム	（浅見太一）	情報工学に関する最新情報として、情報ネットワーク、情報共有、ISO、CMM等のビジネス現場における動向を説明する。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SB263	情報デザイン論・演習	3	3	選択	1	火1.2 507	皆川洋喜（内藤一郎）河野純大	情報デザインに関する応用的な思考力と技能を身につけるために、実社会における課題をデザイン思考により解決する。現場の観察、課題の抽出、アイディア出し、プロトタイプ制作、テストの各ステップについて実践的に取り組み、イノベーション創出につなげる力を身につける。	
	SB273	ヒューマンインタフェース論	2	3	選択	1	木1 617	加藤伸子 河野純大 西岡知之 皆川洋喜	人間の感覚器・運動器・認知機構と、これらを補償・拡大するシステムやデザイン設計について学習する。人とコンピュータとのインタフェース技術やデザイン設計について基礎から応用まで幅広く学習し自分達の身の回りの実際の問題に適応できる力を身に付ける。ケーススタディを通じて人間とモノ・コト・情報等の関係性について理解を深める。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SB283	コンピュータ・アーキテクチャ	2	3	選択	1		大塚和彦	コンピュータシステムのハードウェアコンポーネントを知ることで、プログラミングにどのような影響があるのかを理解する。アーキテクチャの三つの要のうちの二つであるプロセッサとメモリについて、命令セットと合わせ理解を深める。入出力装置とプロセッサとの関係を理解する。広くアーキテクチャの基礎知識を身につける。	［隔年開講］R8年度は開講しない【教職】情報(高)
	SB293	オペレーティングシステム論	2	3	選択	1	水3 617	大塚和彦	コンピュータシステムにおける基本ソフトウエアについて、応用ソフトウエアとの関係を理解しながら学修する。ＯＳの役割や応用ソフトウェアがコンピュータシステムにおいて実行されるまでの仕組みについて習得する。	［隔年開講］【教職】情報(高)
	SB303	情報数理Ｄ	2	3	選択	1	木2 617	大塚和彦	情報・通信を数学的に捉え，定量的に扱う情報理論の中心となる情報量，情報エントロピー，符号化理論について学ぶ。情報量，情報エントロピーでは数学的な考え方，符号化では通信における効率化誤り訂正の基本的な手法に関する基礎知識を身につけることを目標とする。	【教職】数学(中・高)
	SB573	情報保障システム工学・演習	3	3	選択	1	金1.2 507 他	若月大輔 河野純大 白石優旗 西岡知之 安啓一	情報保障システムを構築する上で必要な工学について学ぶ。情報保障システムを実現するためのハードウェアやソフトウェアをはじめとして、構築されたシステムの運用に関することも対象とする。システムの試作や評価を通して、情報保障システムを工学的に理解し、構築するための基礎的な力を身につけることを目標とする。	
	SB313	情報科学セミナーA	1	3	選択	1	木3 509	西岡知之 大塚和彦	技術的な知識・情報を自ら取得・整理し、自分の考え方、判断を他者に伝達する力を身に付けるため、主として情報科学に関するトピックスを取り上げ、セミナー形式で発表・議論を行う。	
	SB323	インターンシップ	2	3	選択	1・2	集中	黒木速人 加藤伸子 渡辺知恵美	学生個々が将来就くであろう職場において、実社会での作業の実際・環境・人間関係およびコミュニケーションなどの体験的実習を行い、卒業後に備える。	【教職】情報(高)
	SB333	情報科学研究プロジェクトC	1	3	選択	1	集中 509 他	情報科学コース全教員	学生自身の興味に基づいて決めたテーマについて、教員の指導の下で研究を行うことで、実験や結果の評価方法、成果報告などの研究活動について実践的に学び、情報科学特別研究の導入とする。	
	SB343	画像工学・演習	3	3	選択必修	2	木2.3 507 508	若月大輔	ディジタル画像の保存形式、階調処理、ディザ、空間フィルタ、画像解析、画像入力・表示機器などについて学習する。また、３次元グラフィックスの原理と応用分野について学び、演習を通して理解を深める。	［隔年開講］【教職】情報(高)〔必修〕

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SB353	プログラミング応用演習	2	3	選択必修	2	金2.3 409 410	若月大輔 鍾 穎 (米山文雄)	プログラミングの最終演習として、要求された課題をプログラムで表現する技術や考え方を学ぶ。課題解決のためのアルゴリズムを考案し、これまで学んだ知識やプログラミング技術を駆使する演習を通して、実践的なアプリケーション開発の基本を身につける。	【教職】情報(高)
	SB363	情報システムセキュリティ演習	2	3	選択必修	2	火4.5 522	西岡知之 菊地浩平	Webによる情報発信サーバの構築の実務作業を通して、通信プロトコルの設定、スクリプトプログラムの作成、ファイヤウォールの設定など、セキュリティを考慮したシステム構築について演習を行なう。	【教職】情報(高)
	SB373	ビッグデータ処理・演習	3	3	選択必修	2	水1・2 507	渡辺知恵美	膨大データを管理・保存し、高速に検索したり、データ分析を行うためのデータ処理法について学修する。	
	SB383	情報探索法・演習	3	3	選択必修	2	木4.5 617	大塚和彦	情報検索の概念や技術的な基本知識（論理演算、検索結果に対する評価指標など）について学ぶ。簡易的な情報検索プログラムを通してデータ構造や検索手法を理解するとともに、実際に利用されるデータ構造などについても学習する。また、文字情報だけでなく音や画像などのマルチメディアデータベースに対して必要となる検索・分類方法に対しても学習を実際の例を使って理解する。	【教職】情報(高)
	SB393	信号処理・演習	3	3	選択必修	2	金2.3 617 616	白石優旗 安啓一	信号とシステムの概念（連続時間信号と離散時間信号、線形性、時不変性、因果性、畳み込み積分など）について理解したのち、フーリエ解析を中心に学習する。その後、離散時間の信号とシステムの解析手段である離散時間フーリエ変換（DTFT）及び離散フーリエ変換（DFT）について理解する。更に、z変換を導入し、ディジタルフィルタなどの信号処理システムの設計手法を学び、演習を通して理解を深める。	【教職】情報(高)
	SB403	電子CAD／CAE演習	2	3	選択必修	2	木2・3 616	稲葉基	電子CAD／CAEによる電子システムの設計・解析・評価の演習を通して、回路図作図・ネットリスト作成・アナログ・ディジタル混在回路シミュレーション、プリント基板設計をおこなうための実践的技術および知識の習得を目指す。	
	SB413	コンピュータグラフィックス論	2	3	選択	2		若月大輔	コンピュータグラフィックス（CG）は、コンピュータ上で仮想的なものや光、カメラを想定し、その光景を作成することができる。本講義では、CG作成のしくみに触れ、その要素技術について説明する。	［隔年開講］ R8年度は開講しない
	SB423	感性科学	2	3	選択	2		横井聖宏	心地よさ、使いやすさ、楽しさなど、計測での評価が難しい事象について、客観的な評価法ならびに主観的な評価法（官能評価法）について学ぶ。主観的な評価法に際しては、統計的な検定を可能にするアンケートの作成法についても学ぶ。	【教職】情報(高) R8年度は開講しない
	SB433	管理システム論	2	3	選択	2	月3.4 隔週 507	（浅見太一）	企業における情報処理の概要を解説し、管理情報システムの考え方、及びビジネス上で果たしている役割について概説する。	【教職】情報(高) 〔必修〕
	SB583	情報保障評価法・演習	3	3	選択	2	金4.5 409 410 617他	渡辺知恵美 大川学	情報保障の効果を検証する上で必要な実験デザインや実施方法、得られた結果の分析方法について学ぶ。情報保障を評価した実例を題材として、情報保障を適切に評価する力を身につけることを目標とする。	
	SB443	人工知能論	2	3	選択	2	火3 614	大塚和彦	人工知能に関する概要を学ぶ。また、実用的な面からエキスパートシステムについて解説し、知能科学あるいはソフトコンピューティングとして、ニューラルネットワークやファジィ理論についてその内容を細かく解説する。また、基本的な知識ばかりではなく自己組織化マップや遺伝的アルゴリズムやマルチエージェントシステムなど関連する知識処理についても学ぶ。	【教職】情報(高)
	SB453	情報科学セミナーB	1	3	選択	2	火1 617	加藤伸子	就職や進学等に向けて、専門的な知識・情報を自ら取得・整理し、自分の考え方、判断を他者に伝達する力を身に付けるため、主として情報科学に関するトピックスを取り上げ、セミナー形式で発表・議論を行う。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SB463	情報科学研究プロジェクトD	1	3	選択	2	集中 509 他	情報科学コース全教員	学生自身の興味に基づいて決めたテーマについて、教員の指導の下で研究を行うことで、実験や結果の評価方法、成果報告などの研究活動について実践的に学び、情報科学特別研究の導入とする。	
	SB473	ビジネスデータ処理論・演習	3	4	選択必修	1	水1.2 409 410	（井上正之）	ビジネスデータの処理の流れについて、その概略を学修する。具体的には、ビジネスデータの実際とその解析手法について学修する。さらに、演習によって実際的な理解を深める。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SB483	機械学習・演習	3	4	選択必修	1	金3.4 616	白石優旗	機械学習の中でも、特にディープラーニングと自然言語処理（NLP）に焦点を当て、Pythonを活用した実践的な学習を行う。具体的には、外部フレームワークに頼ることなく、NLPシステムを自分の手で一から構築するプロセスを通じて、技術の理論的背景と実践的な応用を結びつけ、深い理解と実用的な問題解決能力を養うことを目指す。	
	SB493	技術英語	2	4	選択	1	火3 617	西岡知之 黒木速人 菊地浩平	情報技術分野の英語文献を用いて英語表現を学び 英文に親しみながら情報を的確に把握する英文読解力を身につけることを目標とする。まとまった内容を持つ英文を読むことを中心に、基礎語彙、基礎構文、読解力を身につけさせる。この学習の中で日本語表現についても指導する。	
	SB503	人間情報工学	2	4	選択	1	火1 509 510	加藤 伸子 皆川 洋喜 安 啓一	人間の感覚や行動についての情報処理に着目し、人間の思考や行動をモデル化し客観的に表現する手法、様々な環境における人間の思考や行動を分析する手法、人の感覚器について理解し感覚代行技術を検討する手法など、多岐に渡る応用分野について広く学習する。	【教職】情報(高)
	SB513	教育工学・演習	3	4	選択	1	月2.3 409 410	菊地浩平	本授業では，プログラミングやエンジニアリングを通して効果的な教材を設計・開発・評価する方法について学ぶ．具体的には，教育方法論の基礎を踏まえた授業設計，授業設計に基づく教材開発，開発した教材を用いた模擬授業の実施と評価までの一連の流れを追いかけながら，教育現場の改善や，効果的な学習に資する技術を習得することを目指す．	
	SB523	プログラムパラダイム論	2	4	選択	1	金3 614	西岡知之	計算モデルを共有するプログラミングの枠組みをプログラム（またはプログラミング）パラダイムと呼ぶ。プログラミング言語が異なれば対応できるパラダイムも異なり、プログラミング言語はそのパラダイムに基づいて「手続き型言語（例えばC）」、「オブジェクト指向言語（例えばC++やJava）」、「関数型言語（例えばHaskell）」などに分類される。ここでは、パラダイムの考え方や特徴などを実例を交えて学修する。	【教職】情報(高)
	SB533	知能ロボット工学	2	4	選択	1	火4.5 隔週 520	（中本秀一）	知能ロボットとは、周囲環境やその時々の状況を認識し、自らを適応させる能力を備えたロボットである。知能ロボットを構成する、センシング、作業・動作計画、制御・アクチュエーションの各要素技術についての知識を習得するとともに、それらの統合により実現される知能ロボットシステムについて、多くの具体例に触れながら理解を深めていく。	【教職】情報(高)
	SB543	音声・音響工学	2	4	選択	1	木2 520	黒木速人 安啓一	音の大きさ・周波数などの音に関する物理的性質、音声の発声メカニズム、聴覚器官の構造と機能、音声知覚に関する特徴、音声特徴量の分析方法など、音声に関する物理的・生理的・心理的性質を学ぶとともに、音声認識技術などの音声の工学的活用に関する基礎と応用など、音声・音響工学の諸問題を概説し、音声・音響工学に対する理解を深める。	
	SB014	情報科学特別研究1	2	4	必修	1	教員の指導による指示	各指導教員	情報科学における学修の集約として、個々の専門分野に関する研究テーマや創造性のあるテーマを設定し、教員の指導の下で研究を行う。研究の成果を論文としてまとめ、発表する。	
	SB024	情報科学特別研究2	4	4	必修	2	教員の指導による指示	各指導教員	情報科学における学修の集約として、個々の専門分野に関する研究テーマや創造性のあるテーマを設定し、教員の指導の下で研究を行う。研究の成果を論文としてまとめ、発表する。	

５　産業情報学科　先端機械工学コース

専門教育系科目

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SC062	プログラミング基礎演習	2	3	必修	1	金2.3 316	谷貴幸 丹野格 他	プログラミングの基礎として仕事の処理手順を構築する学習に重点を置き、プログラミング言語への変換ならびに作成したプログラムの実行・確認に関して繰り返し演習を行う。同時にエディタやコンパイラなどの道具の使い方も習熟させる。	

６　産業情報学科　先端機械工学コース

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SC023	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SC033	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大（松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SC073	機械要素	2	3	必修	1	火3 314	後藤啓光	機械類を構成する機械要素（ねじ、軸、歯車、リベット、ピン等）について、その種類及び機能を述べ、各要素の規格、寸法、材料、使用法などを理解させる。	【教職】工業(高)
	SC083	機械工学実験A	2	3	必修	1	金4.5 304	先端機械工学教員	機械工学の諸分野およびメカトロニクス分野を対象とした実験を通じて、実験手法の体得、現象の的確な把握および解析能力の養成を目的としており、小グループに分けて実施する。	【教職】工業(高)
	SC093	基礎動力学1	2	3	必修	1	水1 314	下笠賢二	振動の問題は多くの機械類で課題になっている。本講義では1自由度振動（減衰、強制、過渡）の基礎理論、特に運動方程式の導き方を理解させる。	【教職】工業(高)
	SC103	材料力学1	2	3	必修	1	木3 314	明松圭昭	機械および構造物の設計において必須である、外力作用を受ける部材や構造要素の適切な強度設計を行うための専門知識と計算手法を学ぶ。 講義では、 引張･圧縮･ねじり･曲げに関する弾性理論を学修する。	
	SC113	流れ学1	2	3	必修	1	金1 315	丹野格	流体の基本的な諸性質や流体における質量保存則，エネルギー保存則，運動量・角運動量保存則を，すでに学んだ力学１，２の内容と対応付けながら説明する.	【教職】工業(高)
	SC123	熱工学1	2	3	必修	1	月1 314	（澁澤健二）	工業上重要な熱現象や熱機械の基本的な考え方、熱エネルギーの有効利用や地球環境問題などの基礎となる熱工学の基本を理解する。	【教職】工業(高)
	SC133	CAD/CAM/CAE概説	2	3	必修	1	水2 520	（佐久間宣光）	産業界は、競争力のある製品を生み出すために、研究開発から製造販売までの一貫したコンピュータシステムの構築に励んでいる。この中核をなすＣＡＤ／ＣＡＭ／ＣＡＥの内容及び技術動向を理解せせる。	
	SC143	金属材料学	2	3	選択	1	月4 314	谷貴幸	機械の設計・製造技術者に必要な機械材料（鉄鋼、非鉄金属）の基礎を結晶構造、結晶方位、状態図などを通じて理解させる。特に後半には新素材などのトピックスを含める。	
	SC153	機械工学特別講義	2	3	選択	1	水3 314	（伊藤 博樹） （近都 州彦） （渡邊 直也） （福山 慶介） （鈴木 崇） （面田 雄一）	企業におけるシステム工学に関連した生産活動、技術動向や製品開発、生産技術の解説に企業・工場見学を加え、大学での学習内容と企業の生産活動の関連性を理解させる。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SC163	インターンシップ	2	3	選択	1・2	集中	明松圭昭	機械工学の設計･加工の知識･技術を主に利用する企業の職場において、体験的実習を行う。実習職場より与えられた課題を、企業に出向き２～３週間の期間で仕上げる。 実習は、課題成果や勤務態度の企業側の評価により、就職に直結する重要な機会である。	
	SC173	CAD/CAM演習1	2	3	必修	1	火1.2 316	下笠賢二 辻田容希	3DCADを用いて部品の作成（パーツモデリング）、組立て（パーツアセンブリ）、製図（ドラフティング）の一連の作業を行う中で設計技術を習得する。	
	SC183	技術英語1	2	3	必修	2	木4 314	明松圭昭	機械工学の諸分野に必要な英語の専門用語や文章表現法を学習し、英文に親しみながら、情報を的確に把握する英文読解力をつけることを目標とする。種々の技術英文を教材として用い、技術者として必要な英語力の基礎を養う。	【教職】工業(高)
	SC193	機械工学実験B	2	3	必修	2	金4.5 304	先端機械工学教員	機械工学の諸分野およびメカトロニクス分野を対象とした実験を通じて、実験手法の体得、現象の的確な把握および解析能力の養成を目的としており、小グループに分けて実施する。	【教職】工業(高)
	SC203	福祉機器設計学	2	3	選択	2	火1 314	後藤啓光	福祉機器を構成する機械システム（軸接手、クラッチ、軸受け等）について、その種類および機能を述べ、それらの設計法を理解させる。	
	SC213	基礎動力学2	2	3	選択	2	月3 314	下笠賢二	振動の問題は多くの機械類で課題になっている。本講義では2自由度振動（自由，強制）、多自由度の基礎理論、特に運動方程式の導き方を詳述し、さらに種々の振動系の理論、特性、防振法を理解させる。	【教職】工業(高)
	SC223	材料力学2	2	3	選択	2	木3 314	明松圭昭	機械および構造物の設計において必須である、外力作用を受ける部材や構造要素の適切な強度設計を行うための専門知識と計算手法を学ぶ。 講義では、 (1)曲げに関する弾性理論と、(2)組合わせ応力、 弾性ひずみエネルギー、材料の破壊の条件などのより高度な解析手法を習得する。	
	SC233	流れ学2	2	3	選択	2	水1 315	丹野格	管内流れの摩擦抵抗と乱流についての基礎的内容や，ポアズイユ流れなどの初歩的な理論的解析を理解させる.	【教職】工業(高)
	SC243	熱工学2	2	3	選択	2	金3 314	丹野格	熱力学の第１法則、第２法則、理想気体や蒸気の性質、エネルギー変換、熱力学系としての機械における熱・仕事の流出入の基礎を学習する。	【教職】工業(高)
	SC263	CAD/CAM演習2	2	3	選択	2	火3,4 316	（梅木一信） 下笠賢二 後藤啓光	３ＤＣＡＤを用いてモデリングした部品の一部をマシニングセンタで切削加工を行うためのＮＣデータをＣＡＤ／ＣＡＭシステムを使用し作成する。また、高品位高速加工を実現するための切削理論および、ＮＣ工作機械の制御理論を理解し、ＮＣデータを最適化するための技術を習得する。	
	SC253	機械CAD/CAE演習	2	4	必修	1	月4.5 316	（梅木一信）	ＣＡＤ／ＣＡＥ分野で代表的な構造解析手法の一つである有限要素法について学び、２次元および３次元の梁構造の応力解析プログラムを作成し、その基本構成要素である剛性マトリックスの作成方法と連立方程式の解法について学ぶ。また、産業界における最新の商用プログラムの状況について紹介する。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SC273	計測・制御工学	2	4	選択	1	月1 314	辻田容希	計測および制御の基礎的な内容の学習を中心として，様々なセンサ・アクチュエータおよびその制御方法について学習する．制御システムの事例の学習を通して，センサ・アクチュエータなどを組み合わせた制御システムを設計できる力を養う．	
	SC283	材料強度学	2	4	選択	1	木2 314	明松圭昭	機械や構造物は外力による破損(部材の大変形)および破壊(部材の分断)を防止する必要がある。破壊形態として、 疲労破壊、 脆性破壊、 応力腐食割れ破壊を取り上げ、 破壊の現象論と線形破壊力学を基にした破壊評価手順を修得する。 これらの理解に必要な材料力学の基礎と数学(偏微分)も併せて学ぶ。	
	SC293	計算流体力学	2	4	選択	1	火3 315	丹野格	従来の理論や実験だけでなく，最近では計算流体力学による流れの解析も一般的になっている．本講義では，計算流体力学の基礎とその実装について学ぶ．	
	SC303	技術英語2	2	4	選択	1	木1 314	丹野格	技術者の現場で実用されている英文に触れ、技術英語へ慣れることを目指す。工学分野において頻出する単語や表現を身に付けることで、技術英語を読解するための基礎力を養う。	
	SC313	流体力学	2	4	選択	1	金4 315	丹野格	粘性流体流れおよびその数式的取り扱いを理解するため、はじめに流れの基礎、理想流体の流れについて簡単に学習する。次に、ナビエ・ストークス方程式およびその厳密解の例を学んだ後、境界層流れについて学習する。	
	SC014	先端機械工学特別研究1	2	4	必修	1	集中	各指導教員	各教員の専門分野に関連したテーマを学生個別に設定し、各自のテーマで研究を行う。また、その研究内容を各自が発表する研究発表会を実施する。	
	SC024	先端機械工学特別研究2	4	4	必修	2	集中	各指導教員	各教員の専門分野に関連したテーマを学生個別に設定し、各自のテーマで研究を行う。先端機械工学特別研究１で行った内容と合わせて最終的に卒業論文としてまとめ提出する。また、その研究内容を各自が発表する研究発表会を実施する。	

８　産業情報学科　建築学コース

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SD023	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SD033	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SD113	構造力学1	2	3	必修	1	月3 422	田中晃	建築構造基礎を踏まえて、静定ラーメン構造の基礎理論と、変位量の解析方法と定量的性質について解説する。	【教職】工業(高)
	SD123	建築材料学	2	3	必修	1	月1 422	田中晃	建築を構成する材料を構造材料と仕上げ材料とに分けて、構造材料では構造物の種類別、仕上材料では部位別に取り上げる。このような材料ごとに、原料・製造過程・性質・製品・規格寸法・用途ならびに要求される諸性能を解説する。	【教職】工業(高)
	SD133	音・光環境工学１	2	3	必修	1	木3 422	今井計	建築環境工学のうち、光環境（昼光、日影、照明）及び音環境（騒音、遮音、吸音）の基礎を学び、照度計、騒音計を実際に操作して、その評価方法と設計法の概要を習得する。	【教職】工業(高)
	SD143	建築設備１	2	3	選択	1	火2 423	堀池　瞬	建築計画の中の設備計画について学習する。建築設備の共通技術を具定例を示しながら学習する。普段見ることの出来ない機械室を実際に見学して、設備とはどういうものか理解を深める。	【教職】工業(高)
	SD153	熱・空気環境工学２	2	3	選択	1	金2 422	今井計	熱・空気環境工学1で学んだ内容を発展させて、熱・空気に関する原理と人体の快適要素への理解を深める。快適性と省エネルギーを両立させた建築の計画法の基礎を習得する。	【教職】工業(高)
	SD163	環境工学演習	1	3	選択	1	金3 422	今井計	環境工学を基礎として触れることの出来なかった発展的な内容を各分野から選んで演習、解説する。	
	SD173	建築史	2	3	選択	1	木2 423	北橋主税	古代から現代にいたるまでの西洋諸国と日本の建築・都市の歴史に沿って、各時代の技術・文化の中で築かれてきた建築・都市の特質、様式等を習得する。西洋建築史と日本建築史の具体的な事例を通して学習することにより、時代と地域特性による建築の変遷を把握し、建築の審美眼を養う。	
	SD183	福祉住環境デザイン論・演習	3	3	選択	1	月4.5 423 428	櫻庭晶子	人間の諸活動の場として特化された住環境を対象に、福祉の視点から住空間の機能分析及び現代的課題、デザイン手法等を，講義と演習を一体として学習する。	
	SD193	地域施設計画論	2	3	必修	1	水2 422	山脇博紀	社会施設を支える各種施設について、それを規定する制度とサービス、そして利用の様態等と空間との関係を論じ、施設を機能させる諸空間とその空間の連携について理解を深める。ここでは、コミュニティセンター、幼稚園・保育園、小学校・中学校、図書館、博物館・美術館、事務所・庁舎、オフィスビル、商店・百貨店について、利用者の目的行動における要求と、サービスの提供、運営、管理上の要求とを空間に構成するための計画手法について習得する。	
	SD203	建築法規	1	3	必修	1	月2 423	山脇博紀	建築設計において知っておくべき関連諸法規の関係性を知ると共に、中心となる建築基準法と都市計画法の構成及び規定する内容について学習する。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SD223	建築プレゼンテーション演習A	2	3	選択	1	金4･5 102	(杉山祐一郎)	BIM(Building Information Modeling/Management)アプリケーション等によるデジタルデザインや建築情報管理に触れると共に、これらを活用したプレゼンテーション手法を学習します。	
	SD353	地域住環境設計演習	3	3	選択	1	火3.4.5 425	堀池　瞬	既成市街地に立つ集合住宅を題材とする。“集まって住む”ことを生活者の視点、および地域環境の視点から問い直した上で、機能性や構造的合理性を備えた具体的な建築空間として提案できる総合力を習得する。	
	SD213	地域施設設計演習A	3	3	選択	2	木3.4.5 425	山脇博紀	小規模展示空間（第１課題）とコミュニティセンター（第２課題）のふたつの設計課題を通して、建築設計のプロセスと思考法、空間の構成法とプレゼンテーション手法を学ぶ。特に、第１課題では敷地の地理的文脈からコンセプトを導き、そのコンセプトの空間化を検討していく中で空間デザインのボキャブラリの獲得に努める。第２課題では、地域の社会的文脈からコミュニティセンターの機能を検討し、機能に即した空間を検討していく中で施設プログラムと空間の提案力の向上に努める。	
	SD333	地域施設設計演習B	3	3	選択	2	木3･4･5 425	北橋主税	地域社会に密着した施設設計演習（集合住宅、幼稚園、教育施設など）を通し、地域社会に必要不可欠な施設の理解を深め、それにふさわしい空間を創造する設計力を養う。地域社会に求められる機能とその利用者の特性を踏まえた空間構成の作り方及びそれら設計内容を伝えるためのプレゼンテーション技法を習得する。	
	SD243	構造力学2	2	3	選択	2	金4 422	田中晃	構造力学１の知識や計算方法を踏まえて、仮想仕事の原理（力と変形）、不静定構造物の変形と仮想仕事法、たわみ角法、固定法等について解説する。	【教職】工業(高)
	SD253	構造力学演習	1	3	選択	2	金1 422	田中晃	構造力学全般の理論への理解を深め、かつ十分な応用力を習得する。	【教職】工業(高)
	SD263	建築生産	2	3	必修	2	月3 423	倉田成人	企画、設計、施工、保全等からなる建築生産活動のプロセスについて、基礎的事項を解説する。また、建築生産をめぐる諸課題に関する課題と議論を通じて、建築生産の実状を理解する。	
	SD273	音・光環境工学２	2	3	選択	2	火3 422	今井計	音・光環境工学1で学んだ内容を発展させて、音・光の原理と人体への快適要素への理解を深める。快適性（音）と省エネルギー（光）性を建築の計画法の応用を習得する。	【教職】工業(高)
	SD283	建築設備2	2	3	選択	2	金3 423	堀池　瞬	建築設備1で学んだ内容を発展させて、ダクトや配管の理論から空調設備、給排水設備、電気設備、消火設備などの図面を描くことで、設備とはどういう物かの理解を深める。	【教職】工業(高)
	SD293	建築実験	2	3	選択	1	木4･5 101 411	今井計 (尼子満男)	建築工学に関する各種の実験、測定、実習など体験を通して、建築工学の基礎的事項に関する知識を理解する。	【教職】工業(高)
	SD303	設計論	2	3	選択	2	金2 423	堀池　瞬	建築設計には、様々な分野の知見を総合的に関連付け、一つの新しい全体像として提示する建築的想像力が求められる。本講義では、実際の設計事例の法規、設計手法等の基礎知識を習得する。講義全体を通し、建築単体や都市計画設計についてレクチャーし、幅広い分野での設計の知識を習得する。	
	SD313	造園計画論	2	3	選択	2	木2 422	櫻庭晶子	造園は人間の生活や活動すべてにかかわる空間が対象であり、個人の庭から自然公園等の多様なスケールの空間において、人間と自然とが共生できる環境を創造・保全するものである。本講義では、造園計画の基礎知識や技術を習得する。	
	SD323	医療福祉施設計画論	2	3	選択	2	火2 423	山脇博紀	医療施設と福祉施設を規定する制度と体系、そして計画手法を習得する．各施設のサービス、そして利用の様態等と空間との関係を論じ、施設を機能させる諸空間とその空間の連携について理解を深める。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考 (対象専攻、教職免許の教科等)
専門教育科目	SD233	インターンシップ	2	3	選択	1・2	集中	今井計 他	建築学に関連する内容の企業実習により、実社会の理解および大学での学修内容と企業の生産活動の関連性を理解させる。	
	SD343	プロジェクト演習	1	3	選択	1・2	集中 422他	山脇博紀	設定されたテーマに対して、現状における課題の抽出、コンセプトの確立と課題解決案の起案、試行と評価、リデザインの一連の作業を通し、より質の高いデザインをおこなうための思考と作業の方法を習得する。	
	SD443	建築学特別セミナー	1	3	選択	1・2	水4 423	山脇博紀 今井計 梅本舞子 櫻庭晶子 田中晃 倉田成人 堀池　瞬 北橋主税	建築実例の見学、建築関連企業の実務者による講演、および卒業生の講話などを通し、建築学に係る幅広い知識を獲得させる。	
	SD363	建築レジリエンス論	2	4	選択	1	金4 423	倉田成人	自然災害に対する建築物の被害について概観し、構造安全性の考え方、減災・防災の方策、建築のレジリエンスについて論じる。	
	SD373	構造設計論	2	4	選択	1	月2 422	田中晃	鉄筋コンクリート構造および鋼構造といった普遍的に使われる構造や接合方法等を取り上げ，これらの力学的な性状とこれを踏まえた計算方法を習得する。	
	SD383	建築情報・構造CAE	3	4	選択	1	月3.4.5 424	倉田成人	コンピュータによる情報・構造関係のシミュレーションを演習によって修得させる。	
	SD393	建築環境CAE	3	4	選択	1	火3.4 102	（三浦寿幸）	コンピューターによる環境の設計方法を演習によって修得させる。建築環境シミュレーションの技術を修得させる。	
	SD403	エコ環境論	2	4	選択	1	水4 422	（前田幸輝）	持続可能な社会を構築するために、自然環境に調和した環境システムが必要である。本講義ではまず日本の気候条件を解説し、外界気候条件と都市・建築システムの関係について理解させる。また、風土に合った都市環境の形成および自然エネルギー利用による快適な室内環境の形成方法や建築の省エネルギー技術を解説する。	
	SD413	住環境システム論	2	4	選択	1	金2 423	梅本舞子	住環境を成立させている建築産業、住宅政策、社会情勢、緑地計画、景観計画、住宅金融などの要素を多角的に学んだ上で、住民主体の住環境づくり、福祉との融合について、多くの事例を通して具体的に学ぶ。後半、提示課題に対する解決策を思考し、その是非のディスカッションを通して、理解を深める。	
	SD423	複合施設設計演習	3	4	選択	1	木3.4.5 429	北橋主税 堀池　瞬	地域に適合した複合施設設計を行う。現状の課題解決に向けた新たな提案に踏まえてバリアフリーデザイン等の施設利用者とその利用特性を踏まえた総合的な設計法をエスキスチェック、プレゼンテーションチェックを通して習得する。	
	SD433	建築プレゼンテーション演習B	1	4	選択	1	集中	山脇博紀	建築的思考やイメージの表現方法を学び、共同作業者や顧客といった他者に対する建築的コミュニケーション力を磨く.	
	SD014	建築学特別研究１	2	4	必修	1	指導教員の指示による	各指導教員	各教員に学生を配置し、専門分野の課題となる研究テーマ、創造性あるテーマを設定し、論文又は作品としてまとめることを目指し研究・制作を行う。本科目では、中間発表会を実施する。	
	SD024	建築学特別研究２	4	4	必修	2	指導教員の指示による	各指導教員	各教員に学生を配置し、専門分野の課題となる研究テーマ、創造性あるテーマを設定して研究・制作を行い、論文または作品としてまとめる。本科目では、最終成果物の発表会を実施する。	

１０　産業情報学科　支援技術学コース：情報保障工学領域

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SE023	情報保障技術と活用	2	3	必修	1	木4 214他	三好茂樹 白澤麻弓	情報保障手段の組み合わせや配置、システムの構築や工夫、体験など、実際の場面での活用に繋がる実践的な内容を中心に進める。	
	SE033	社会資源の実際	2	3	選択	1	集中	大杉豊（高山亨太）	社会福祉制度の概論を学ぶ講義と、きこえない人のための施設の見学及び実習で授業を構成し、自身の専門技術を現場でどのように活かせるのかを具体的に検討することを主要目的とする。	
	SE043	障害者スポーツ	1	3	選択	2	木1 216他	中島幸則 向後佑香	障がいのある人が取り組むスポーツについて理解を深めるために、各種障がいの特性について学ぶとともに、スポーツ指導者に必要な知識や技能を、体験を通して身に着けることを目標とする。さらに、本学で開催される「障がい者スポーツイベント」において、企画、運営に関わり実践力を養う。	「初級パラスポーツ指導員」資格取得希望学生は必修
	SE053	手話言語工学	2	3	選択	2	水3 520	大杉豊 菊地浩平	音声認識や機械翻訳と同様にコンピューターが手話表現を認識し、音声言語へ翻訳する将来の社会に向けて、研究に必要な基礎知識を身につけることを主要目的とする。具体的には、手話言語の構造の理解、分析・解析のための表記、音声翻訳の原理などを学ぶ。	
	SE083	支援技術学演習B	1	3	必修	1	木5 プレゼンルーム	河野純大 ほか	支援や支援技術に関する幅広い分野について、講師陣が現在取り組んでいる最先端の研究や現場の実践について学び、支援技術に関する理解を深化させる。	
	SE103	情報保障システム工学・演習＜情報系＞	3	3	必修	1	金1.2 507他	若月大輔 河野純大 白石優旗 西岡知之 安啓一	情報保障システムを構築する上で必要な工学について学ぶ。情報保障システムを実現するためのハードウェアやソフトウェアをはじめとして、構築されたシステムの運用に関することも対象とする．システムの試作や評価を通して、情報保障システムを工学的に理解し、構築するための基礎的な力を身につけることを目標とする。	
	SE113	情報保障評価法・演習＜情報系＞	3	3	必修	2	金4.5 409 410 617他	渡辺知恵美 大川学	情報保障の効果を検証する上で必要な実験デザインや実施方法、得られた結果の分析方法について学ぶ。情報保障を評価した実例を題材として、情報保障を適切に評価する力を身につけることを目標とする。	
	SE123	福祉機器設計学＜機械系＞	2	3	選択	2	火1 314	後藤啓光	福祉機器を構成する機械システム（軸接手、クラッチ、軸受け等）について、その種類および機能を述べ、それらの設計法を理解させる。	
	SE133	福祉機器材料学＜機械系＞	2	4	選択	1	金1 304	谷貴幸	産業界で多くの分野で使用されている材料であるプラスチック、半導体、セラミックスの基本的な特性について学習する。さらに、福祉機器分野を含む具体的な用途の適用例、それを実現するための加工方法を学ぶことによって、各種材料に関する知識を深める。	
	SE153	福祉住環境デザイン論・演習＜建築系＞	3	4	選択	1	月4.5 423 428	櫻庭晶子	人間の諸活動の場として特化された住環境を対象に、福祉の視点から住空間の機能分析及び現代的課題、デザイン手法等を，講義と演習を一体として学習する。	
	SE163	医療福祉施設計画論＜建築系＞	2	4	選択	2	火2 423	山脇博紀	医療施設と福祉施設を規定する制度と体系、そして計画手法を習得する．各施設のサービス、そして利用の様態等と空間との関係を論じ、施設を機能させる諸空間とその空間の連携について理解を深める。	
	SE173	ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	2	3	選択	1	月1 201 202	総合デザイン学科教員/福祉住環境学教員	ノーマライゼーション意識の普及による現代社会では、デザインのユニバーサル化が当然の課題となっている。ユニバーサルデザインの今日的意義、良いデザインとは何か、人間・モノ・情報・空間との関係など、ユニバーサルデザイン要素を理解し、幅広くモノ創りとしてユニバーサルデザインの対応力を高める。	
	SE183	ヒューマンインタフェース論＜デザイン系＞	2	3	選択	1	木1 617	加藤伸子 河野純大 西岡知之 皆川洋喜	人間の感覚器・運動器・認知機構と、これらを補償・拡大するシステムやデザイン設計について学習する。人とコンピュータとのインタフェース技術やデザイン設計について基礎から応用まで幅広く学習し自分達の身の回りの実際の問題に適応できる力を身に付ける。ケーススタディを通じて人間とモノ・コト・情報等の関係性について理解を深める。	【教職】情報(高)〔必修〕

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SE203	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SE213	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SE223	産業技術プロジェクトＣ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトCでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題に対して専門知識を生かして問題解決する取り組みを行う。	
	SE333	産業技術プロジェクトＤ	1	2・3	選択	2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトDでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題を専門知識を生かしてチームで解決し、その過程と成果をまとめ発表する。	
	SE353	ネットワーク・セキュリティ論・演習	3	3	必修	1	水1.2 614 617	西岡知之 大塚和彦	ネットワークシステムについての概要を説明する。さらに情報管理・情報処理におけるネットワークシステムを、インターネット、ＬＡＮ、セキュリティー等の具体的事例を示しながら説明することに加えて，システムの動作を実体験することで、その理解を深める。	【教職】情報(高)〔必修〕
	SE363	情報数理D	2	3	選択	1	木2 617	大塚和彦	情報検索の概念や技術的な基本知識（論理演算、検索結果に対する評価指標など）について学ぶ。簡易的な情報検索プログラムを通してデータ構造や検索手法を理解するとともに、実際に利用されるデータ構造などについても学習する。また、文字情報だけでなく音や画像などのマルチメディアデータベースに対して必要となる検索・分類方法に対しても学習を実際の例を使って理解する。	【教職】数学(中・高)
	SE373	情報保障工学特別講義	2	3	選択	1	月3.4 隔週 507 プレゼンテーションルーム	（浅見太一）	情報工学に関する最新情報として、情報ネットワーク、情報共有、ISO、CMM等のビジネス現場における動向を説明する。	
	SE383	インターンシップ	2	3	選択	1・2	集中	黒木速人 加藤伸子 渡辺知恵美	学生個々が将来就くであろう職場において、実社会での作業の実際・環境・人間関係及びコミュニケーションなどの体験的実習を行い、卒業後に備える。	【教職】情報(高)
	SE393	多変量データ解析法・演習	3	3	選択	1	水4.5 409 410	（井上正之）	多項目のデータ（計測値やアンケート等）を数量的に記述し、それらの数値に潜む要因間の関係を統計学の手法を用いて分析する方法を学習する。統計学の基礎を踏まえた上で、実際の問題（数値化されたデータ）への多変量解析方法の適応手法などを習得する。	【教職】情報(高)
	SE403	ソフトウェア工学・演習2	3	3	選択	1	金3・4 409 410	加藤伸子 田中 陽土	大規模ソフトウェア開発のための様々な構造的要求分析方法とUML、仕様書の書き方を学習する。大規模ソフトウェアに執拗なテストの方法と記録、分割コンパイル、連結テストについても実習を通じて身につける。	【教職】情報(高)
	SE413	電子回路学・演習	3	3	選択	1	火1.2 614	黒木速人 稲葉基	半導体電子デバイスの動作原理、および、それらデバイスを用いた各種の電子回路の設計技術と知識を学び、演習を行ってその理解を深める。	
	SE423	計測・制御工学	2	3	選択	1	火3 614	白石優旗	最初にラプラス変換(LT)を導入する。そして、LTによるシステムの伝達関数表現、ブロック線図によるシステム同士の結合、逆LTによるインパルス応答やステップ応答の計算、ネガティブフィードバック、PID制御などの学習を通じて、制御に関する基本事項の理解を深める。	【教職】情報(高)

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SE433	情報科学セミナーA	1	3	選択	1	木3 509	西岡知之 大塚和彦	技術的な知識・情報を自ら取得・整理し、自分の考え方、判断を他者に伝達する力を身に付けるため、主として情報科学に関するトピックスを取り上げ、セミナー形式で発表・議論を行う。	
	SE443	情報保障工学研究プロジェクトC	1	3	選択	1	集中 509 他	支援技術学コース情報系担当教員全員	学生自身の興味に基づいて決めたテーマについて、教員の指導の下で研究を行うことで、実験や結果の評価方法、成果報告などの研究活動について実践的に学び、情報保障工学特別研究の導入とする。	
	SE453	信号処理・演習	3	3	選択	2	金2.3 617 616	白石優旗 安啓一	信号とシステムの概念（連続時間信号と離散時間信号、線形性、時不変性、因果性、畳み込み積分など）について理解したのち、フーリエ解析を中心に学習する。その後、離散時間の信号とシステムの解析手段である離散時間フーリエ変換（DTFT）及び離散フーリエ変換（DFT）について理解する。更に、z変換を導入し、ディジタルフィルタなどの信号処理システムの設計手法を学び、演習を通して理解を深める。	【教職】情報(高)
	SE463	管理システム論	2	3	選択	2	月3.4 隔週 507	（浅見太一）	企業における情報処理の概要を解説し、管理情報システムの考え方、及びビジネス上で果たしている役割について概説する。	【教職】情報(高) 〔必修〕
	SE473	プログラミング応用演習	2	3	選択	2	金2.3 409 410	若月大輔 鍾　穎 （米山文雄）	プログラミングの最終演習として、要求された課題をプログラムで表現する技術や考え方を学ぶ。課題解決のためのアルゴリズムを考案し、これまで学んだ知識やプログラミング技術を駆使する演習を通して、実践的なアプリケーション開発の基本を身につける。	【教職】情報(高)
	SE483	情報システムセキュリティ演習	2	3	選択	2	火4.5 522	西岡知之 菊地浩平	Webによる情報発信サーバの構築の実務作業を通して、通信プロトコルの設定、スクリプトプログラムの作成、ファイヤウォールの設定など、セキュリティを考慮したシステム構築について演習を行なう。	【教職】情報(高)
	SE493	感性科学	2	3	選択	2		横井聖宏	心地よさ、使いやすさ、楽しさなど、計測での評価が難しい事象について、客観的な評価法ならびに主観的な評価法（官能評価法）について学ぶ。主観的な評価法に際しては、統計的な検定を可能にするアンケートの作成法についても学ぶ。	【教職】情報(高) R8年度は開講しない
	SE503	コンピュータグラフィックス論	2	3	選択	2		若月大輔	コンピュータグラフィックス（CG）は、コンピュータ上で仮想的なものや光、カメラを想定し、その光景を作成することができる。本講義では、CG作成のしくみに触れ、その要素技術について説明する。	[隔年開講] R8年度は開講しない
	SE513	画像工学・演習	3	3	選択	2	木2.3 507 508	若月大輔	ディジタル画像の保存形式、階調処理、ディザ、空間フィルタ、画像解析、画像入力・表示機器などについて学習する。また、３次元グラフィックスの原理と応用分野について学び、演習を通して理解を深める。	[隔年開講] 【教職】情報(高) 〔必修〕
	SE523	人工知能論	2	3	選択	2	火3 614	大塚和彦	人工知能に関する概要を学ぶ。また、実用的な面からエキスパートシステムについて解説し、知能科学あるいはソフトコンピューティングとして、ニューラルネットワークやファジィ理論についてその内容を細かく解説する。また、基本的な知識ばかりではなく自己組織化マップや遺伝的アルゴリズムやマルチエージェントシステムなど関連する知識処理についても学ぶ。	【教職】情報(高)
	SE533	情報科学セミナーB	1	3	選択	2	火1 617	加藤伸子	就職や進学等に向けて、専門的な知識・情報を自ら取得・整理し、自分の考え方、判断を他者に伝達する力を身に付けるため、主として情報科学に関するトピックスを取り上げ、セミナー形式で発表・議論を行う。	
	SE543	情報保障工学研究プロジェクトD	1	3	選択	2	集中 509 他	支援技術学コース情報系担当教員全員	学生自身の興味に基づいて決めたテーマについて、教員の指導の下で研究を行うことで、実験や結果の評価方法、成果報告などの研究活動について実践的に学び、情報保障工学特別研究の導入とする。	
	SE553	技術英語	2	4	選択	1	火3 617	西岡知之 黒木速人 菊地浩平	情報技術分野の英語文献を用いて英語表現を学び 英文に親しみながら情報を的確に把握する英文読解力を身につけることを目標とする。まとまった内容を持つ英文を読むことを中心に、基礎語彙、基礎構文、読解力を身につけさせる。この学習の中で日本語表現についても指導する。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SE563	機械学習・演習	3	4	選択	1	金3.4 616	白石優旗	機械学習の中でも、特にディープラーニングと自然言語処理（NLP）に焦点を当て、Pythonを活用した実践的な学習を行う。具体的には、外部フレームワークに頼ることなく、NLPシステムを自分の手で一から構築するプロセスを通じて、技術の理論的背景と実践的な応用を結びつけ、深い理解と実用的な問題解決能力を養うことを目指す。	
	SE573	人間情報工学	2	4	選択	1	火1 509 510	加藤 伸子 皆川 洋喜 安 啓一	人間の感覚や行動についての情報処理に着目し、人間の思考や行動をモデル化し客観的に表現する手法、様々な環境における人間の思考や行動を分析する手法、人の感覚器について理解し感覚代行技術を検討する手法など、多岐に渡る応用分野について広く学習する。	【教職】情報(高)
	SE583	教育工学・演習	3	4	選択	1	月2.3 409 410	菊地浩平	本授業では，プログラミングやエンジニアリングを通して効果的な教材を設計・開発・評価する方法について学ぶ．具体的には，教育方法論の基礎を踏まえた授業設計，授業設計に基づく教材開発，開発した教材を用いた模擬授業の実施と評価までの一連の流れを追いかけながら，教育現場の改善や，効果的な学習に資する技術を習得することを目指す．	
	SE593	音声・音響工学	2	4	選択	1	木2 520	黒木速人 安啓一	音の大きさ・周波数などの音に関する物理的性質、音声の発声メカニズム、聴覚器官の構造と機能、音声知覚に関する特徴、音声特徴量の分析方法など、音声に関する物理的・生理的・心理的性質を学ぶとともに、音声認識技術などの音声の工学的活用に関する基礎と応用など、音声・音響工学の諸問題を概説し、音声・音響工学に対する理解を深める。	
	SE014	情報保障工学特別研究1	2	4	必修	1	指導教員の指示による	各指導教員	情報保障工学における学修の集約として、個々の専門分野に関する研究テーマや創造性のあるテーマを設定し、教員の指導の下で研究を行う。研究の成果を論文としてまとめ、発表する。	
	SE024	情報保障工学特別研究2	4	4	必修	2	指導教員の指示による	各指導教員	情報保障工学における学修の集約として、個々の専門分野に関する研究テーマや創造性のあるテーマを設定し、教員の指導の下で研究を行う。研究の成果を論文としてまとめ、発表する。	

１１　産業情報学科　支援技術学コース：福祉機器工学領域

専門教育系科目

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SF062	プログラミング基礎演習	2	3	必修	1	金2.3 316	谷貴幸 丹野格 他	プログラミングの基礎として仕事の処理手順を構築する学習に重点を置き、プログラミング言語への変換ならびに作成したプログラムの実行・確認に関して繰り返し演習を行う。同時にエディタやコンパイラなどの道具の使い方も習熟させる。	

１２　産業情報学科　支援技術学コース：福祉機器工学領域

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考 (対象専攻、教職免許の教科等)
専門教育科目	SF023	情報保障技術と活用	2	3	必修	1	木4 214他	三好茂樹 白澤麻弓	情報保障手段の組み合わせや配置、システムの構築や工夫、体験など、実際の場面での活用に繋がる実践的な内容を中心に進める。	
	SF033	社会資源の実際	2	3	選択	1	集中	大杉豊 （高山亨太）	社会福祉制度の概論を学ぶ講義と、きこえない人のための施設の見学及び実習で授業を構成し、自身の専門技術を現場でどのように活かせるのかを具体的に検討することを主要目的とする。	
	SF043	障害者スポーツ	1	3	選択	2	木1 216他	中島幸則 向後佑香	障がいのある人が取り組むスポーツについて理解を深めるために、各種障がいの特性について学ぶとともに、スポーツ指導者に必要な知識や技能を、体験を通して身に着けることを目標とする。さらに、本学で開催される「障がい者スポーツイベント」において、企画、運営に関わり実践力を養う。	「初級パラスポーツ指導員」資格取得希望学生は必修
	SF053	手話言語工学	2	3	選択	2	水3 520	大杉豊 菊地浩平	音声認識や機械翻訳と同様にコンピューターが手話表現を認識し、音声言語へ翻訳する将来の社会に向けて、研究に必要な基礎知識を身につけることを主要目的とする。具体的には、手話言語の構造の理解、分析・解析のための表記、音声翻訳の原理などを学ぶ。	
	SF083	支援技術学演習B	1	3	必修	1	木5 プレゼンルーム	河野純大 ほか	支援や支援技術に関する幅広い分野について、講師陣が現在取り組んでいる最先端の研究や現場の実践について学び、支援技術に関する理解を深化させる。	
	SF103	情報保障システム工学・演習＜情報系＞	3	3	選択	1	金1.2 507他	若月大輔 河野純大 白石優旗 西岡知之 安啓一	情報保障システムを構築する上で必要な工学について学ぶ。情報保障システムを実現するためのハードウェアやソフトウェアをはじめとして、構築されたシステムの運用に関することも対象とする．システムの試作や評価を通して、情報保障システムを工学的に理解し、構築するための基礎的な力を身につけることを目標とする。	
	SF113	情報保障評価法・演習＜情報系＞	3	3	選択	2	金4.5 409 410 617他	渡辺知恵美 大川学	情報保障の効果を検証する上で必要な実験デザインや実施方法、得られた結果の分析方法について学ぶ。情報保障を評価した実例を題材として、情報保障を適切に評価する力を身につけることを目標とする。	
	SF123	福祉機器設計学＜機械系＞	2	3	必修	2	火1 314	後藤啓光	福祉機器を構成する機械システム（軸接手、クラッチ、軸受け等）について、その種類および機能を述べ、それらの設計法を理解させる。	
	SF133	福祉機器材料学＜機械系＞	2	4	必修	1	金1 304	谷貴幸	産業界で多くの分野で使用されている材料であるプラスチック、半導体、セラミックスの基本的な特性について学習する。さらに、福祉機器分野を含む具体的な用途の適用例、それを実現するための加工方法を学ぶことによって、各種材料に関する知識を深める。	
	SF153	福祉住環境デザイン論・演習＜建築系＞	3	4	選択	1	月4.5 423 428	櫻庭晶子	人間の諸活動の場として特化された住環境を対象に、福祉の視点から住空間の機能分析及び現代的課題、デザイン手法等を，講義と演習を一体として学習する。	
	SF163	医療福祉施設計画論＜建築系＞	2	4	選択	2	火2 423	山脇博紀	医療施設と福祉施設を規定する制度と体系、そして計画手法を習得する．各施設のサービス、そして利用の様態等と空間との関係を論じ、施設を機能させる諸空間とその空間の連携について理解を深める。	
	SF173	ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	2	3	選択	1	月1 201 202	総合デザイン学科教員/福祉住環境学教員	ノーマライゼーション意識の普及による現代社会では、デザインのユニバーサル化が当然の課題となっている。ユニバーサルデザインの今日的意義、良いデザインとは何か、人間・モノ・情報・空間との関係など、ユニバーサルデザイン要素を理解し、幅広くモノ創りとしてユニバーサルデザインの対応力を高める。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考 (対象専攻、教職免許の教科等)
専門教育科目	SF183	ヒューマンインタフェース論＜デザイン系＞	2	3	選択	1	木1 617	加藤伸子 河野純大 西岡知之 皆川洋喜	人間の感覚器・運動器・認知機構と、これらを補償・拡大するシステムやデザイン設計について学習する。人とコンピュータとのインタフェース技術やデザイン設計について基礎から応用まで幅広く学習し自分達の身の回りの実際の問題に適応できる力を身に付ける。ケーススタディを通じて人間とモノ・コト・情報等の関係性について理解を深める。	
	SF203	産業技術プロジェクトA	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SF213	産業技術プロジェクトB	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SF283	プログラミング演習	2	3	必修	2	金1.2 316	谷貴幸	システムの動力学的解析と制御をコンピュータによるシミュレーションを通じて体得するために必要となる数値解析アルゴリズムのプログラミングなどの演習を行う。数値解析およびシミュレーション技法について学びコンピュータ言語のVisualBASICを使用してシステムの解析・制御のシミュレーションに関する演習を行う。	
	SF293	機械要素	2	3	必修	1	火3 314	後藤啓光	機械類を構成する機械要素（ねじ、軸、歯車、リベット、ピン等）について、その種類及び機能を述べ、各要素の規格、寸法、材料、使用法などを理解させる。	【教職】工業(高)
	SF303	機械工学実験A	2	3	必修	1	金4.5 304	先端機械工学教員	機械工学の諸分野およびメカトロニクス分野を対象とした実験を通じて、実験手法の体得、現象の的確な把握および解析能力の養成を目的としており、小グループに分けて実施する。	【教職】工業(高)
	SF313	材料力学1	2	3	選択	1	木3 314	明松圭昭	機械および構造物の設計において必須である、外力作用を受ける部材や構造要素の適切な強度設計を行うための専門知識と計算手法を学ぶ。 講義では、 引張･圧縮･ねじり･曲げに関する弾性理論を学修する。	
	SF323	流れ学1	2	3	選択	1	金1 315	丹野格	流体の基本的な諸性質や流体における質量保存則，エネルギー保存則，運動量・角運動量保存則を理解させる.	【教職】工業(高)
	SF333	基礎動力学1	2	3	選択	1	水1 314	下笠賢二	振動の問題は多くの機械類で課題になっている。本講義では1自由度振動（減衰、強制、過渡）の基礎理論、特に運動方程式の導き方を理解させる。	【教職】工業(高)
	SF343	熱工学1	2	3	選択	1	月1 314	（澁澤健二）	工業上重要な熱現象や熱機械の基本的な考え方、熱エネルギーの有効利用や地球環境問題などの基礎となる熱工学の基本を理解する。	【教職】工業(高)
	SF353	CAD/CAM/CAE概説	2	3	選択	1	水2 520	（佐久間宣光）	産業界は、競争力のある製品を生み出すために、研究開発から製造販売までの一貫したコンピュータシステムの構築に励んでいる。この中核をなすＣＡＤ／ＣＡＭ／ＣＡＥの内容及び技術動向を理解せせる。	
	SF363	金属材料学	2	3	選択	1	月4 314	谷貴幸	機械の設計・製造技術者に必要な機械材料（鉄鋼、非鉄金属）の基礎を結晶構造、結晶方位、状態図などを通じて理解させる。特に後半には新素材などのトピックスを含める。	
	SF373	インターンシップ	2	3	選択	1・2	集中	明松圭昭	機械工学の設計･加工の知識･技術を主に利用する企業の職場において、体験的実習を行う。実習職場より与えられた課題を、企業に出向き２～３週間の期間で仕上げる。 実習は、課題成果や勤務態度の企業側の評価により、就職に直結する重要な機会である。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SF383	機械工学特別講義	2	3	選択	1	水3 314	(伊藤 博樹) (近都 州彦) (渡邊 直也) (福山 慶介) (鈴木 崇) (面田 雄一)	企業における機械工学に関連した生産活動、技術動向や製品開発、生産技術の解説に企業・工場見学を加え、大学での学習内容と企業の生産活動の関連性を理解させる。	
	SF393	バイオメカニクスA	2	3	選択	2	木5 314	明松圭昭	生体の内外で働く力を明らかにしたうえで，生体材料の強度設計を行うための計算手法を習得する。生体に力が作用して起こる現象をニュートン力学，材料力学を基本に力学理論を学ぶ。組合せ応力，弾性ひずみエネルギーなどのより高度な解析手法を学ぶと同時に異方性材料について検討する。	
	SF403	CAD/CAM演習1	2	3	必修	1	火1.2 316	下笠賢二 辻田容希	3DCADを用いて部品の作成（パーツモデリング）、組立て（パーツアセンブリ）、製図（ドラフティング）の一連の作業を行う中で設計技術を習得する。	
	SF413	技術英語1	2	3	必修	2	木4 314	明松圭昭	機械工学の諸分野に必要な英語の専門用語や文章表現法を学習し、英文に親しみながら、情報を的確に把握する英文読解力をつけることを目標とする。種々の技術英文を教材として用い、技術者として必要な英語力の基礎を養う。	【教職】工業(高)
	SF423	機械工学実験B	2	3	必修	2	金4.5 304	先端機械工学教員	機械工学の諸分野およびメカトロニクス分野を対象とした実験を通じて、実験手法の体得、現象の的確な把握および解析能力の養成を目的としており、小グループに分けて実施する。	【教職】工業(高)
	SF453	ＣＡＤ/ＣＡＭ演習2	2	3	選択	2	火3,4 316	(梅木一信) 下笠賢二 後藤啓光	３ＤＣＡＤを用いてモデリングした部品の一部をマシニングセンタで切削加工を行うためのＮＣデータをＣＡＤ／ＣＡＭシステムを使用し作成する。また、高品位高速加工を実現するための切削理論および、ＮＣ工作機械の制御理論を理解し、ＮＣデータを最適化するための技術を習得する。	
	SF483	福祉ボランティア活動	1	3	必修	1・2	集中	後藤啓光 明松圭昭	福祉機器に関する調査を通じ，社会で求められる課題について学習する。また、福祉機器に関するモノづくりと社会とのかかわり方を理解し、各種ボランティア活動を通じて情報発信力（伝える力）を養う。	
	SF433	バイオメカニクスB	2	4	選択	1	月2 314	下笠賢二	身体中に見られる典型的な現象を、力学的な視点を通じて理解することを目指す。単純化した筋骨格モデルを用いて、運動時や静止時における筋骨格の負荷状態の推定する。	
	SF463	計算流体力学	2	4	選択	1	火3 315	丹野格	従来の理論や実験だけでなく，最近では計算流体力学による流れの解析も一般的になっている．本講義では，計算流体力学の基礎とその実装について学ぶ．	
	SF473	技術英語2	2	4	選択	1	木1 314	丹野格	技術者の現場で実用されている英文に触れ、技術英語へ慣れることを目指す。工学分野において頻出する単語や表現を身に付けることで、技術英語を読解するための基礎力を養う。	
	SF014	福祉機器工学特別研究１	2	4	必修	1	集中	全員	各教員の専門分野に関連した福祉分野のテーマを学生個別に設定し、様々な福祉機器の調査から設計に至るまでの研究を行う。また、その研究内容を各自が発表する研究発表会を実施する。	
	SF024	福祉機器工学特別研究２	4	4	必修	2	集中	全員	各教員の専門分野に関連した福祉分野のテーマを学生個別に設定し、様々な福祉機器の実験などの研究を行う。福祉機器工学特別研究１で行った内容と合わせて最終的に卒業論文としてまとめ提出する。また、その研究内容を各自が発表する研究発表会を実施する。	

１４　産業情報学科　支援技術学コース：福祉住環境学領域

専門教育系科目

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考 （対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SG023	情報保障技術と活用	2	3	必修	1	木4 214他	三好茂樹 白澤麻弓	情報保障手段の組み合わせや配置、システムの構築や工夫、体験など、実際の場面での活用に繋がる実践的な内容を中心に進める。	
	SG033	社会資源の実際	2	3	選択	1	集中	大杉豊 （高山亨太）	社会福祉制度の概論を学ぶ講義と、きこえない人のための施設の見学及び実習で授業を構成し、自身の専門技術を現場でどのように活かせるのかを具体的に検討することを主要目的とする。	
	SG043	障害者スポーツ	1	3	選択	2	木1 216他	中島幸則 向後佑香	障がいのある人が取り組むスポーツについて理解を深めるために、各種障がいの特性について学ぶとともに、スポーツ指導者に必要な知識や技能を、体験を通して身に着けることを目標とする。さらに、本学で開催される「障がい者スポーツイベント」において、企画、運営に関わり実践力を養う。	「初級パラスポーツ指導員」資格取得希望学生は必修
	SG053	手話言語工学	2	3	選択	2	水3 520	大杉豊 菊地浩平	音声認識や機械翻訳と同様にコンピューターが手話表現を認識し、音声言語へ翻訳する将来の社会に向けて、研究に必要な基礎知識を身につけることを主要目的とする。具体的には、手話言語の構造の理解、分析・解析のための表記、音声翻訳の原理などを学ぶ。	
	SG083	支援技術学演習B	1	3	必修	1	木5 プレゼンルーム	河野純大 ほか	支援や支援技術に関する幅広い分野について、講師陣が現在取り組んでいる最先端の研究や現場の実践について学び、支援技術に関する理解を深化させる。	
	SG103	情報保障システム工学・演習＜情報系＞	3	3	選択	1	金1.2 507他	若月大輔 河野純大 白石優旗 西岡知之 安啓一	情報保障システムを構築する上で必要な工学について学ぶ。情報保障システムを実現するためのハードウェアやソフトウェアをはじめとして、構築されたシステムの運用に関することも対象とする．システムの試作や評価を通して、情報保障システムを工学的に理解し、構築するための基礎的な力を身につけることを目標とする。	
	SG113	情報保障評価法・演習＜情報系＞	3	3	選択	2	金4.5 409 410 617他	渡辺知恵美 大川学	情報保障の効果を検証する上で必要な実験デザインや実施方法、得られた結果の分析方法について学ぶ。情報保障を評価した実例を題材として、情報保障を適切に評価する力を身につけることを目標とする。	
	SG123	福祉機器設計学＜機械系＞	2	3	選択	2	火1 314	後藤啓光	福祉機器を構成する機械システム（軸接手、クラッチ、軸受け等）について、その種類および機能を述べ、それらの設計法を理解させる。	
	SG133	福祉機器材料学＜機械系＞	2	4	選択	1	金1 304	谷貴幸	産業界で多くの分野で使用されている材料であるプラスチック、半導体、セラミックスの基本的な特性について学習する。さらに、福祉機器分野を含む具体的な用途の適用例、それを実現するための加工方法を学ぶことによって、各種材料に関する知識を深める。	
	SG153	福祉住環境デザイン論・演習＜建築系＞	3	3	必修	1	月4.5 423 428	櫻庭晶子	人間の諸活動の場として特化された住環境を対象に、福祉の視点から住空間の機能分析及び現代的課題、デザイン手法等を，講義と演習を一体として学習する。	
	SG163	医療福祉施設計画論＜建築系＞	2	3	選択	2	火2 423	山脇博紀	医療施設と福祉施設を規定する制度と体系、そして計画手法を習得する．各施設のサービス、そして利用の様態等と空間との関係を論じ、施設を機能させる諸空間とその空間の連携について理解を深める。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考 (対象専攻、教職免許の教科等)
専門教育科目	SG183	ﾋｭｰﾏﾝｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ論＜デザイン系＞	2	3	選択	1	木1 617	加藤伸子 河野純大 西岡知之 皆川洋喜	人間の感覚器・運動器・認知機構と、これらを補償・拡大するシステムやデザイン設計について学習する。人とコンピュータとのインタフェース技術やデザイン設計について基礎から応用まで幅広く学習し自分達の身の回りの実際の問題に適応できる力を身に付ける。ケーススタディを通じて人間とモノ・コト・情報等の関係性について理解を深める。	
	SG193	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SG203	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SG283	建築材料学	2	3	選択	1	月1 422	田中晃	建築を構成する材料を構造材料と仕上げ材料とに分けて、構造材料では構造物の種類別、仕上材料では部位別に取り上げる。このような材料ごとに、原料・製造過程・性質・製品・規格寸法・用途ならびに要求される諸性能を解説する。	【教職】工業(高)
	SG293	音・光環境工学１	2	3	必修	1	木3 422	今井計	建築環境工学のうち、光環境（昼光、日影、照明）及び音環境（騒音、遮音、吸音）の基礎を学び、照度計、騒音計を実際に操作して、その評価方法と設計法の概要を習得する。	【教職】工業(高)
	SG303	建築史	2	3	選択	1	木2 423	北橋主税	古代から現代にいたるまでの西洋諸国と日本の建築・都市の歴史に沿って、各時代の技術・文化の中で築かれてきた建築・都市の特質、様式等を習得する。西洋建築史と日本建築史の具体的な事例を通して学習することにより、時代と地域特性による建築の変遷を把握し、建築の審美眼を養う。	
	SG313	地域施設計画論	2	3	選択	1	水2 422	山脇博紀	社会施設を支える各種施設について、それを規定する制度とサービス、そして利用の様態等と空間との関係を論じ、施設を機能させる諸空間とその空間の連携について理解を深める。ここでは、コミュニティセンター、幼稚園・保育園、小学校・中学校、図書館、博物館・美術館、事務所・庁舎、オフィスビル、商店・百貨店について、利用者の目的行動における要求と、サービスの提供、運営、管理上の要求とを空間に構成するための計画手法について習得する。	
	SG323	建築法規	1	3	選択	1	月2 423	山脇博紀	建築設計において知っておくべき関連諸法規の関係性を知ると共に、中心となる建築基準法と都市計画法の構成及び規定する内容について学習する。	
	SG343	建築プレゼンテーション演習A	2	3	選択	1	金4.5 102	(杉山祐一郎)	BIM(Building Information Modeling/Management)アプリケーション等によるデジタルデザインや建築情報管理に触れると共に、これらを活用したプレゼンテーション手法を学習します。	
	SG393	地域住環境設計演習	3	3	選択	1	火3.4.5 425	堀池　瞬	既成市街地に立つ集合住宅を題材とする。“集まって住む”ことを生活者の視点、および地域環境の視点から問い直した上で、機能性や構造的合理性を備えた具体的な建築空間として提案できる総合力を習得する。	
	SG333	地域施設設計演習A	3	3	選択	2	木3.4.5 425	山脇博紀	小規模展示空間（第１課題）とコミュニティセンター（第２課題）のふたつの設計課題を通して、建築設計のプロセスと思考法、空間の構成法とプレゼンテーション手法を学ぶ。特に、第１課題では敷地の地理的文脈からコンセプトを導き、そのコンセプトの空間化を検討していく中で空間デザインのボキャブラリの獲得に努める。第２課題では、地域の社会的文脈からコミュニティセンターの機能を検討し、機能に即した空間を検討していく中で施設プログラムと空間の提案力の向上に努める。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考 (対象専攻、教職免許の教科等)
専門教育科目	SG353	管理システム論	2	3	選択	2	月3.4 隔週 507	(浅見太一)	企業における情報処理の概要を解説し、管理情報システムの考え方、及びビジネス上で果たしている役割について概説する。	
	SG363	建築生産	2	3	選択	2	月3 423	倉田成人	企画、設計、施工、保全等からなる建築生産活動のプロセスについて、基礎的事項を解説する。また、建築生産をめぐる諸課題に関する課題と議論を通じて、建築生産の実状を理解する。	
	SG373	設計論	2	3	選択	2	金2 423	堀池　瞬	建築設計には、様々な分野の知見を総合的に関連付け、一つの新しい全体像として提示する建築的想像力が求められる。本講義では、実際の設計事例の法規、設計手法等の基礎知識を習得する。講義全体を通し、建築単体や都市計画設計についてレクチャーし、幅広い分野での設計の知識を習得する。	
	SG383	造園計画論	2	3	選択	2	木2 422	櫻庭晶子	造園は人間の生活や活動すべてにかかわる空間が対象であり、個人の庭から自然公園等の多様なスケールの空間において、人間と自然とが共生できる環境を創造・保全するものである。本講義では、造園計画の基礎知識や技術を習得する。	
	SG403	インターンシップ	2	3	選択	1・2	集中	今井計 櫻庭晶子 その他	建築学に関連する内容の企業実習により、実社会の理解および大学での学修内容と企業の生産活動の関連性を理解させる。	
	SG413	建築学特別セミナー	1	3	選択	1・2	水4 423	山脇博紀 今井計 梅本舞子 櫻庭晶子 田中　晃 倉田成人 北橋主税 堀池　瞬	建築実例の見学、建築関連企業の実務者による講演、および卒業生の講話などを通し、建築学に係る幅広い知識を獲得させる。	
	SG423	プロジェクト演習	1	3	選択	1・2	集中 422他	山脇博紀	設定されたテーマに対して、現状における課題の抽出、コンセプトの確立と課題解決案の起案、試行と評価、リデザインの一連の作業を通し、より質の高いデザインをおこなうための思考と作業の方法を習得する。	
	SG433	デザインサーベイ演習	1	4	選択	1	火3 117	井上征矢 横井聖宏	自らの研究テーマに即した調査課題を通じて、デザインに関わる調査の立案から調査用紙の作成、実施、集計・分析に至るプロセスや方法、考え方について習得する。	
	SG443	エコ環境論	2	4	選択	1	水4 422	(前田幸輝)	持続可能な社会を構築するために、自然環境に調和した環境システムが必要である。本講義ではまず日本の気候条件を解説し、外界気候条件と都市・建築システムの関係について理解させる。また、風土に合った都市環境の形成および自然エネルギー利用による快適な室内環境の形成方法や建築の省エネルギー技術を解説する。	
	SG453	住環境システム論	2	4	選択	1	金2 423	梅本舞子	住環境を成立させている建築産業、住宅政策、社会情勢、緑地計画、景観計画、住宅金融などの要素を多角的に学んだ上で、住民主体の住環境づくり、福祉との融合について、多くの事例を通して具体的に学ぶ。後半、提示課題に対する解決策を思考し、その是非のディスカッションを通して、理解を深める。	
	SG463	複合施設設計演習	3	4	選択	1	木3.4.5 429	北橋主税 堀池　瞬	地域に適合した複合施設設計を行う。現状の課題解決に向けた新たな提案に踏まえてバリアフリーデザイン等の施設利用者とその利用特性を踏まえた総合的な設計法をエスキスチェック、プレゼンテーションチェックを通して習得する。	
	SG473	建築プレゼンテーション演習B	1	4	選択	1	集中	山脇博紀	建築的思考やイメージの表現方法を学び、共同作業者や顧客といった他者に対する建築的コミュニケーション力を磨く.	
	SG014	福祉住環境学特別研究１	2	4	必修	1	指導教員の指示による	各指導教員	福祉住環境学における学修の集約として、個々の専門分野に関する研究テーマや創造性のあるテーマを設定し、教員の指導の下で研究を行う。研究の成果を論文としてまとめ、発表する。	
	SG024	福祉住環境学特別研究２	4	4	必修	2	指導教員の指示による	各指導教員	福祉住環境学における学修の集約として、個々の専門分野に関する研究テーマや創造性のあるテーマを設定し、教員の指導の下で研究を行う。研究の成果を論文としてまとめ、発表する。	

産業情報学科

各科目の開講学期・曜時限，担当教員及び授業概要

令和６年度以前の入学者対象　再開講科目

再開講科目　【令和２年度から令和６年度の入学者対象】

１　産業情報学科（教養教育科目）

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻、教職免許の教科等）
教養教育科目	SA081	現代的自然観	2	1	選択	2		新田伸也	20C前半の物理学革命の根幹の一つであり現代文明の基礎でもある相対論の骨子を理解する。相対論のもたらしたパラダイムシフトによって人類の世界観がどれほど変わったかを体感する。	［隔年開講］ R8年度は開講しない
	SA091	宇宙地球科学	2	1	選択	2	集中	新田伸也	身近な現象から天体現象の理解までが、物理学と言う共通の論理体系でなされる事を実感する。天体物理／地球物理現象を教材にして、基礎的な物理学、数学と自分たちの頭を使って、自然現象を理解する事の楽しさを実感する。	［隔年開講］
	SA271	ドイツ語１	1	2	選択	1	集中	未定	ドイツ語とドイツ語圏文化の学習によって自律的学習者を育成することを目標とする。授業では視覚教材や学習アプリを多用して、語学学習の新しい方向を経験してもらう。学習アプリを使う双方向授業、ネット検索、グループワーク、動画の字幕を読むなど多様な学習を行い、自己表現の意欲や知識探求への積極性を育てたい。	
	SA281	ドイツ語２	1	2	選択	2	集中	未定	ドイツ語とドイツ語圏文化の学習によって自律的学習者を育成することを目標とする。授業では視覚教材や学習アプリを多用して、語学学習の新しい方向を経験してもらう。学習アプリを使う双方向授業、グループワーク、動画に加えて映画の字幕を読むなど多角的な学習を行い、さらなる自己表現や知識探求への積極性を育てたい。	
	SA291	フランス語１	1	2	選択	1	集中	未定	フランス語の基礎を習得する。日常的な語彙と基本的な文法事項を、練習問題を繰り返し行うことによってしっかり身につける。平易なフランス語の文章を辞書を用いながら読めるようになることが目標である。	
	SA301	フランス語２	1	2	選択	2	集中	未定	フランス語の基礎を習得する。日常的な語彙と基本的な文法事項を、練習問題を繰り返し行うことによってしっかり身につける。平易なフランス語の文章を辞書を用いながら読めるようになることが目標である。	
	SA571	コミュニケーションと社会環境	2	1	選択	2	集中 講堂 オンライン	河野純大 加藤伸子 若月大輔 皆川洋喜 渡辺知恵美	私たちは、現代社会の様々なコミュニケーション環境を通して常に情報を受け取り、発信もしている。私たちに馴染みの深いメディアを取り上げ、その仕組みや人間との相互関連について学ぶ。また、様々なメディアからの情報を利用する私たち自身の行動を顧みることを通して、社会環境としての情報メディアのあり方も考える。	【教職】情報（高）
	SA581	聴覚障害教育と心理	2	2	選択	1	集中	長南浩人	本授業では聴覚障害教育を聴覚障害者に関する心理について、言語、認知、コミュニケーション、社会性およびパーソナリティの学問的知見を根拠として科学的に斯界のあり方について検討し、学生が字の育ちを振り返ることを通して、今後の教育の在り方を検討する。	
	SA601	企業と社会	2	1	選択	2	集中 214	黒木速人 倉田成人 山脇博紀 郭龍旻 鈴木拓弥 櫻庭晶子 北橋主税 辻田容希	自立して社会へ巣立ってゆく学生たちは、いずれは企業・組織の一員となるか、何らかの局面で企業・組織との関わりを持つことになる。本講義は、日本の企業の歴史から現代社会における企業の実体に至るまで言及。学生に「企業と社会」に関しての理解を深める。	【教職】情報（高） 〔必修〕
	SA611	きこえない人の生活文化	2	2	選択	2	集中	大杉豊	国内外の社会できこえない人の生活文化がどのような形で芸術作品や文化施設に反映されてきているのかを探究することを目的として、芸術作品の鑑賞や文化施設の視察を通してグループディスカッションと図解レポート作成を主体とした授業を展開する。（学外授業を一日実施する。）	

２　産業情報学科（産業情報学基礎教育科目）

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
産業情報学基礎教育科目	SA052	数学１	2	1	必修	1	集中 213	新井達也	専門科目の学習に必要な数学の基礎的事項を習得する。特に、ベクトル、行列、行列式等の線形代数学の入門的内容についての理解を深める。	【教職】数学（中・高）
	SA062	数学２	2	1	必修	2	集中 213	新井達也	専門科目の学習に必要な数学の基礎的事項を習得する。特に、数学1で学んだ内容を活用し、線形変換や固有値・固有ベクトル等の概念を学び、応用力を身につける。	【教職】数学（中・高）

３　産業情報学科　情報科学コース

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SB042	統計・確率論Ｃ	2	2	選択	1	集中	稲葉基	専門分野での実験・研究のために必要とされる確率・統計の応用的な知識・能力を身につける。講義内容としては、信頼区間や仮説検定について具体的な事例データを用いて、実際的な処理・分析の手法について学修する。	【教職】数学(中･高)
	SB092	情報数理Ｃ	2	2	選択	2	集中	大川学	情報科学の基礎となる離散数学を学ぶ。前半ではグラフ理論の基本概念を扱い、後半では全域木、最短経路、最大流など主要な算法を学ぶ。講義と演習を通して理解と応用力を高め、上位科目への橋渡しを行う。	【教職】数学(中･高)

４　産業情報学科　情報科学コース

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SB143	統計・確率論Ｄ	2	2	選択	2	集中	大塚和彦	専門分野での実験・研究のために必要とされる確率・統計の応用的な知識・能力を身につける。講義内容としては、分散分析、実験計画法や重回帰分析などについて具体的な事例データを用いて、実際的な処理・分析の手法について学修する。	【教職】数学(中･高)

５　産業情報学科　先端機械工学コース

専門基礎教育科目　【再開講科目なし】

６　産業情報学科　先端機械工学コース

専門教育科目　【再開講科目なし】

７　産業情報学科　建築学コース

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SD042	建築図学	2	2	必修	2	集中	山脇博紀	幾何学図形の基礎作図から始まり、立体の表現法として、単面投影の斜投影、軸測投影および透視図法の原理を解説し、多くの作図課題を通して、原理の理解と作図法の習得を目指す。	

８　産業情報学科　建築学コース

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SD063	建築デザイン論	2	2	選択	2	集中	北橋主税	あるテーマに対して、現状における課題の抽出、コンセプトの確立と課題解決案の起案、試行と評価、リデザインの一連の作業を通し、より質の高いデザインをおこなう思考と作業の方法を学習する。サイトプランニング等グループによる設計活動を通し実用化できるスキルを学ぶ。また、構造、材料等あるテーマに沿って実例を示し、建築の社会的背景を捉えつつ必要な知識を習得する。	
	SD083	熱・空気環境工学１	2	2	必修	2	集中	今井計	建築物の熱・空気環境の形成に関わる伝熱機構、湿り空気の基礎を理解すると共に、人体と環境との熱収支に基づく温熱環境評価指標について学ぶ。さらに、建築物に影響を及ぼす外界気象について学び、建築物の快適性と省エネルギーを両立させるための建築環境計画の基礎を修得する。	【教職】工業(高)
	SD093	建築情報学	2	2	選択	2	集中	倉田成人	建築に関する情報化、デジタル化の技術と、それによる建築設計・生産・維持管理のあり方を学ぶ。BIM（Building Information Modeling）の推進、VR（Virtual Reality）、3Dスキャン技術等の建築への応用について解説する。	

９　産業情報学科　支援技術学コース：情報保障工学領域

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SE042	統計・確率論Ｃ	2	2	選択	1	集中	稲葉基	専門分野での実験・研究のために必要とされる確率・統計の応用的な知識・能力を身につける。講義内容としては、信頼区間や仮説検定について具体的な事例データを用いて、実際的な処理・分析の手法について学修する。	【教職】数学(中･高)
	SE092	情報数理Ｃ	2	2	選択	2	集中	大川学	情報科学の基礎となる離散数学を学ぶ。前半ではグラフ理論の基本概念を扱い、後半では全域木、最短経路、最大流など主要な算法を学ぶ。講義と演習を通して理解と応用力を高め、上位科目への橋渡しを行う。	【教職】数学(中･高)

１０　産業情報学科　支援技術学コース：情報保障工学領域

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SE063	支援技術学論	2	2	必修	1	集中	支援技術学コース担当教員全員	情報保障工学、福祉機器、福祉住環境、アクセシブルデザインの各支援技術学コースの領域に関する基本的な知識を習得する。	
	SE073	支援技術学演習Ａ	1	2	必修	1	集中	支援技術学コース担当教員全員	情報保障工学、福祉機器、福祉住環境、アクセシブルデザインの各支援技術学コースの領域に関する基本的な知識を演習形式で習得する。	
	SE243	統計・確率論Ｄ	2	2	選択	2	集中	大塚和彦	専門分野での実験・研究のために必要とされる確率・統計の応用的な知識・能力を身につける。講義内容としては、分散分析、実験計画法や重回帰分析などについて具体的な事例データを用いて、実際的な処理・分析の手法について学修する。	【教職】数学(中･高)

１１　産業情報学科　支援技術学コース：福祉機器工学領域

専門基礎教育科目　【再開講科目なし】

１２　産業情報学科　支援技術学コース：福祉機器工学領域

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SF063	支援技術学論	2	2	必修	1	集中	支援技術学コース担当教員全員	情報保障工学、福祉機器工学、福祉住環境、アクセシブルデザイン学の各支援技術学コースの学問領域に関する基本的な知識を習得する。	
	SF073	支援技術学演習Ａ	1	2	必修	1	集中	支援技術学コース担当教員全員	情報保障工学、福祉機器工学、福祉住環境、アクセシブルデザイン学の各支援技術学コースの学問領域に関する基本的な知識を演習形式で習得する。	

１３　産業情報学科　支援技術学コース：福祉住環境学領域

専門基礎教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門基礎教育科目	SG042	建築図学	2	2	必修	2	集中	山脇博紀	幾何学図形の基礎作図から始まり、立体の表現法として、単面投影の斜投影、軸測投影および透視図法の原理を解説し、多くの作図課題を通して、原理の理解と作図法の習得を目指す。	

１４　産業情報学科　支援技術学コース：福祉住環境学領域

専門教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻、教職免許の教科等）
専門教育科目	SG063	支援技術学論	2	2	必修	1	集中	支援技術学コース担当教員全員	情報保障工学、福祉機器、福祉住環境、アクセシブルデザインの各支援技術学コースの領域に関する基本的な知識を習得する。	
	SG073	支援技術学演習Ａ	1	2	必修	1	集中	支援技術学コース担当教員全員	情報保障工学、福祉機器、福祉住環境、アクセシブルデザインの各支援技術学コースの領域に関する基本的な知識を演習形式で習得する。	
	SG233	建築デザイン論	2	2	選択	2	集中	北橋主税	あるテーマに対して、現状における課題の抽出、コンセプトの確立と課題解決案の起案、試行と評価、リデザインの一連の作業を通し、より質の高いデザインをおこなう思考と作業の方法を学習する。サイトプランニング等グループによる設計活動を通し実用化できるスキルを学ぶ。また、構造、材料等あるテーマに沿って実例を示し、建築の社会的背景を捉えつつ必要な知識を習得する。	
	SG253	熱・空気環境工学１	2	2	選択	2	集中	今井計	建築物の熱・空気環境の形成に関わる伝熱機構、湿り空気の基礎を理解すると共に、人体と環境との熱収支に基づく温熱環境評価指標について学ぶ。さらに、建築物に影響を及ぼす外界気象について学び、建築物の快適性と省エネルギーを両立させるための建築環境計画の基礎を修得する。	【教職】工業(高)

総合デザイン学科　科目一覧

産業技術学部　総合デザイン学科 【令和7年度以降の入学者対象】

【学科共通】教養教育系科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
教養教育系科目	主題別教育科目		哲学	講義	2	選択	1	選択科目　6単位以上
			歴史学	講義	2	選択	1	
			心理学	講義	2	選択	1	
			法律学	講義	2	選択	1	
			経済学	講義	2	選択	1	
			社会学	講義	2	選択	1	
			日本国憲法	講義	2	選択	1	
			言語学概論	講義	2	選択	1	
			現代科学	講義	2	選択	1	
	語学教育科目	外国語	英語A	演習	2	必修	1	・必修科目 14単位 ・選択必修科目 語学教育科目　2単位 健康・スポーツ科目　1単位 ・選択科目 11単位以上
			英語B	演習	2	必修	1	
			英語C	演習	2	選択	2	
			英語D	演習	2	選択	2	
		手話言語	アメリカ手話言語1	演習	1	選択	1	
			アメリカ手話言語2	演習	1	選択	1	
			手話コミュニケーション入門	講義	2	選択必修	1	
			日本手話言語基礎	講義	2	選択必修	1	
			手話コミュニケーション演習	演習	1	選択	1	
		日本語	日本語表現法A	演習	1	必修	1	
			日本語表現法B	演習	1	必修	1	
	健康・スポーツ教育科目		健康・スポーツA	講義・実習	1	必修	1	
			健康・スポーツB	講義・実習	1	必修	1	
			健康・スポーツC	講義・実習	1	必修	2	
			健康・スポーツD	講義・実習	1	選択必修	2	
			アウトドアスポーツ	講義・実習	1	選択必修	2	
			スノースポーツ	講義・実習	1	選択必修	2	
	キャリア教育科目		修学基礎	演習	1	必修	1	
			情報保障概論	講義	2	必修	1	
			企業・社会への参加とコミュニケーション	講義	2	選択	1	
			ろう・難聴者の社会資源と自分史	講義	2	必修	2	
			日本語社会とコミュニケーション	講義	2	選択	2	
			聴覚科学	講義	2	選択	2	
			聴覚障害と就労	講義	2	選択	3	
			障害者スポーツ	演習	1	選択	3	
			ライフキャリア	講義	2	選択	3	
			異文化コミュニケーション（COIL）	演習	1	選択	2・3・4	
			異文化コミュニケーション（米国）	演習	1	選択	2・3・4	
			教養A（放送大学）	講義	2	選択	1	
			教養B（放送大学）	講義	2	選択	1	
	卒業に必要な修得単位数（教養教育科目）							34単位以上

（注）卒業年次に「スノースポーツ」を履修することはできない。

専門教育系科目

【学科共通】デザイン学基礎教育科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	デザイン学基礎教育科目	デザイン基礎科目	デザイン概論	講　義	4	必　修	1	デザイン学基礎教育科目 21単位以上 ・必修科目　14単位 ・選択科目　7単位以上
			色彩論	講　義	2	選　択	1	
			絵画基礎技法	演　習	2	選　択	1	
			デザイン製図論･演習	講義・演習	3	選　択	1	
			デザイン基礎論･演習	講義・演習	3	必　修	1	
			CG基礎論･演習	講義・演習	3	必　修	1	
			造形基礎論	講　義	2	選　択	1	
		データサイエンス科目	情報リテラシー	講　義	2	必　修	1	
			統計基礎	講　義	2	必　修	1	
			基礎数学	講　義	2	選　択	1	
			ウェブテクノロジーとセキュリティ	講　義	2	選　択	1	
卒業に必要な修得単位数（デザイン学基礎教育科目）								21単位以上

総合デザイン学科（クリエイティブデザイン学コース）【令和7年度以降の入学者対象】
専門教育系科目
専門教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	グラフィックデザイン論	講　義	2	必　修	2	
		プロダクトデザイン論	講　義	2	必　修	2	
		情報デザイン論	講　義	2	必　修	2	
		ユニバーサルデザイン論	講　義	2	選　択	2	
		平面造形論・演習	講義・演習	3	選　択	2	
		立体造形論・演習	講義・演習	3	選　択	2	
		CG演習	演　習	1	選　択	2	
		Webデザイン基礎	講　義	2	選　択	2	
		社会シミュレーション論	講　義	2	選　択	2	
		美術技法B(レンダリング、パース)	演　習	2	選　択	2	
		グラフィックデザイン基礎論・演習	講義・演習	3	選択必修	2	
		プロダクトデザイン基礎論･演習	講義・演習	3	選択必修	2	
		情報デザイン基礎論･演習	講義・演習	3	選択必修	2	
		映像論・演習	講義・演習	3	選　択	2	
		エディトリアルデザイン論・演習	講義・演習	3	選　択	2	
		モデリング演習	演　習	2	選　択	2	
		デザインCAD・3D演習	演　習	2	選　択	2	
		クリエイティブプログラミング演習	演　習	2	選　択	2	
		画像処理論	講　義	2	選　択	2	
		写真演習	演　習	1	選　択	2	
		美術技法A(絵画、版画)	演　習	2	選　択	2	
		産業技術プロジェクトA	演　習	1	選　択	2・3	
		産業技術プロジェクトB	演　習	1	選　択	2・3	
		産業技術プロジェクトC	演　習	1	選　択	2・3	
		産業技術プロジェクトD	演　習	1	選　択	2・3	専門教育科目　70単位以上
		デザイン学特別講義	講　義	2	選　択	3	
		グラフィックデザイン論･演習A	講義・演習	3	選択必修	3	・必修科目　12単位
		グラフィックデザイン論･演習B	講義・演習	3	選択必修	3	・選択必修科目　12単位以上
		プロダクトデザイン論･演習A	講義・演習	3	選択必修	3	
		プロダクトデザイン論･演習B	講義・演習	3	選択必修	3	
		情報デザイン論・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		クリエイティブデザイン演習	演　習	2	選　択	3	
		人間工学	講　義	2	選　択	2	
		ビジネスデータ処理論	講　義	2	選　択	3	
		芸術学概論	講　義	2	選　択	3	
		彫塑演習	演　習	2	選　択	3	
		工芸論	講　義	2	選　択	3	
		工芸演習	演　習	2	選　択	3	
		グラフィックデザイン論･演習C	講義・演習	3	選択必修	3	
		クリエイティブデザインプロジェクトA	演　習	1	選択必修	3	
		クリエイティブデザインプロジェクトB	演　習	1	選択必修	3	
		アクセシブルデザイン演習	演習	1	選択	3	
		Webデザイン論・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		デザインプレゼンテーション演習	演　習	2	選　択	3	
		デザイン史	講　義	2	選　択	3	
		感性デザイン論・演習	講義・演習	3	選　択	3	
		管理システム論	講　義	2	選　択	3	
		デザインプロジェクト実習	演　習	1	選　択	3	
		インターンシップ	実　習	2	選　択	3	
		デザインサーベイ演習	演　習	1	選　択	4	
		建築史	講　義	2	選　択	4	
		デザイン学特別研究1	演　習	2	必　修	4	
		デザイン学特別研究2	演　習	4	必　修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）							70単位以上

総合デザイン学科（支援技術学コース　アクセシブルデザイン学領域）【令和7年度以降の入学者対象】
専門教育系科目
　専門教育科目

授業科目				授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
区分			科目名					
専門教育系科目	専門教育科目	領域横断教育科目	支援技術学論・演習A	講義・演習	3	必修	2	
			支援技術学論・演習B	講義・演習	3	必修	2	
			支援技術学特別講義	講義	2	必修	3	
			障害の特性と理解	講義	2	選択	2	
			障害社会学	講義	2	選択	2	
			ダイバーシティの理解	講義	2	選択	3	
			教育とダイバーシティ	講義	2	選択	3	
			社会福祉学	講義	2	選択	4	
			情報アクセシビリティ演習	演習	1	選択	3	
			情報保障技術学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	2	
			情報保障システム工学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			情報保障評価法・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			福祉機器設計学＜機械系＞	講義	2	選択	3	
			福祉機器材料学＜機械系＞	講義	2	選択	4	
			住居・住生活論＜建築系＞	講義	2	選択	2	
			福祉住環境デザイン論＜建築系＞	講義	2	選択	4	
			医療福祉施設計画論＜建築系＞	講義	2	選択	4	
			ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	講義	2	必修	2	
			アクセシブルデザイン演習<デザイン系＞	演習	1	必修	3	
			映像論・演習<デザイン系>	講義・演習	3	選択	2	
		デザイン系専門教育科目	グラフィックデザイン論	講　義	2	選択必修	2	
			プロダクトデザイン論	講　義	2	選択必修	2	
			情報デザイン論	講　義	2	選択必修	2	
			平面造形論・演習	講義・演習	3	選　択	2	
			立体造形論・演習	講義・演習	3	選　択	2	
			CG演習	演　習	1	選　択	2	
			Webデザイン基礎	講　義	2	選　択	2	
			社会シミュレーション論	講　義	2	選　択	2	
			グラフィックデザイン基礎論・演習	講義・演習	3	選択必修	2	
			プロダクトデザイン基礎論・演習	講義・演習	3	選択必修	2	専門教育科目　70単位以上
			情報デザイン基礎論・演習	講義・演習	3	選択必修	2	・必修科目　17単位
			エディトリアルデザイン論・演習	講義・演習	3	選　択	2	・選択必修科目　12単位以上
			モデリング演習	演　習	2	選　択	2	
			デザインCAD・3D演習	演　習	2	選　択	2	
			クリエイティブプログラミング演習	演　習	2	選　択	2	
			画像処理論	講　義	2	選　択	2	
			写真演習	演習	1	選　択	2	
			産業技術プロジェクトA	演　習	1	選　択	2・3	
			産業技術プロジェクトB	演　習	1	選　択	2・3	
			産業技術プロジェクトC	演　習	1	選　択	2・3	
			産業技術プロジェクトD	演　習	1	選　択	2・3	
			デザイン学特別講義	講　義	2	選　択	3	
			グラフィックデザイン論・演習A	講義・演習	3	選択必修	3	
			グラフィックデザイン論・演習B	講義・演習	3	選択必修	3	
			プロダクトデザイン論・演習A	講義・演習	3	選択必修	3	
			プロダクトデザイン論・演習B	講義・演習	3	選択必修	3	
			情報デザイン論・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
			クリエイティブデザイン演習	演　習	2	選　択	3	
			人間工学	講　義	2	選　択	2	
			グラフィックデザイン論・演習C	講義・演習	3	選択必修	3	
			アクセシブルデザインプロジェクトA	演　習	1	選択必修	3	
			アクセシブルデザインプロジェクトB	演　習	1	選択必修	3	
			Webデザイン論・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
			デザインプレゼンテーション演習	演　習	2	選　択	3	
			デザイン史	講　義	2	選　択	3	
			感性デザイン論・演習	講義・演習	3	選　択	3	
			ビジネスデータ処理論	講　義	2	選　択	3	
			管理システム論	講　義	2	選　択	3	
			デザインプロジェクト実習	演　習	1	選　択	3	
			インターンシップ	実　習	2	選　択	3	
			デザインサーベイ演習	演　習	1	選　択	4	
			アクセシブルデザイン学特別研究1	演　習	2	必　修	4	
			アクセシブルデザイン学特別研究2	演　習	4	必　修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）								70単位以上

産業技術学部 総合デザイン学科 【令和6年度以前の入学者対象】

【学科共通】教養教育系科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
教養教育系科目	教養系教育科目		哲学	講義	2	選択	1	選択科目　８単位以上
			歴史学	講義	2	選択	1	
			心理学	講義	2	選択	1	
			法律学	講義	2	選択	1	
			経済学	講義	2	選択	1	
			社会学	講義	2	選択	1	
			日本国憲法	講義	2	選択	1	
			現代的自然観	講義	2	選択	1	
			宇宙地球科学	講義	2	選択	1	
			特別支援教育	講義	2	選択	2	
	語学教育科目	外国語	英語A	演習	2	必修	1	・必修科目　１６単位 ・選択必修科目 語学教育科目　２単位 健康・スポーツ科目１単位 ・選択科目　７単位以上
			英語B	演習	2	必修	1	
			英語C	演習	2	必修	2	
			英語D	演習	2	選択	2	
			ドイツ語１	演習	1	選択	2	
			ドイツ語２	演習	1	選択	2	
			フランス語１	演習	1	選択	2	
			フランス語２	演習	1	選択	2	
		手話言語	アメリカ手話言語１	演習	1	選択	1	
			アメリカ手話言語2	演習	1	選択	1	
			手話コミュニケーション入門	講義	2	選択必修	1	
			日本手話言語基礎	講義	2	選択必修	1	
			手話コミュニケーション演習	演習	1	選択	1	
		日本語	日本語表現法A	演習	1	必修	1	
			日本語表現法B	演習	1	必修	1	
	健康・スポーツ教育科目		健康・スポーツA	講義・実技	1	必修	1	
			健康・スポーツB	講義・実技	1	必修	1	
			健康・スポーツC	講義・実技	1	必修	2	
			健康・スポーツD	講義・実技	1	選択必修	2	
			アウトドアスポーツ	講義・実技	1	選択必修	2	
			スノースポーツ	講義・実技	1	選択必修	2	
	キャリア教育科目		修学基礎	演習	1	必修	1	
			情報保障概論	講義	2	必修	1	
			ろう・難聴者の社会参加	講義	2	必修	2	
			コミュニケーションと社会環境	講義	2	選択	1	
			聴覚障害教育と心理	講義	2	選択	2	
			日本語社会とコミュニケーション	講義	2	選択	2	
			企業と社会	講義	2	選択	1	
			きこえない人の生活文化	講義	2	選択	2	
			自分史	講義	2	選択	3	
			就職活動支援	講義	2	選択	3	
			ライフキャリア	講義	2	選択	4	
			教養A（放送大学）	講義	2	選択	1	
			教養B（放送大学）	講義	2	選択	1	
卒業に必要な修得単位数（教養教育系科目）								３４単位以上

（注）卒業年次に「スノースポーツ」を履修することはできない。

専門教育系科目

【学科共通】デザイン学基礎教育科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	デザイン学基礎教育科目	基礎デザイン科目	デザイン概論	講　義	4	必　修	1	デザイン学基礎教育科目 ２２単位以上 ・必修科目　１４単位 ・選択科目　８単位以上
			色彩論	講　義	2	選　択	1	
			絵画基礎技法	演　習	2	選　択	1	
			芸術と技術	講　義	2	選　択	1	
			デザイン基礎論・演習	講義・演習	3	必　修	1	
			CG基礎論・演習	講義・演習	3	必　修	1	
			図学基礎演習	演　習	2	選　択	1	
			造形基礎論	講　義	2	選　択	1	
		インターサイエンス科目	情報リテラシー	講　義	2	必　修	1	
			統計基礎	講　義	2	必　修	1	
			基礎数学	講　義	2	選　択	1	
			コンピュータシステム概論	講　義	2	選　択	1	
卒業に必要な修得単位数（デザイン学基礎教育科目）								２２単位以上

総合デザイン学科（クリエイティブデザイン学コース）【令和6年度以前の入学者対象】

専門教育系科目

専門教育科目

授業科目 区分		科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	グラフィックデザイン論	講義	2	必修	2	
		プロダクトデザイン論	講義	2	必修	2	
		情報デザイン論	講義	2	必修	2	専門教育科目　６９単位以上
		ユニバーサルデザイン論	講義	2	選択	2	
		平面造形論・演習	講義・演習	3	選択	2	
		立体造形論・演習	講義・演習	3	選択	2	・必修科目　１２単位
		CG演習	演習	1	選択	2	
		タイポグラフィ論･演習	講義・演習	3	選択	2	
		デザイン製図論･演習	講義・演習	3	選択	2	・選択必修科目　１２単位以上
		プログラミング基礎演習	演習	2	選択	2	
		社会シミュレーション論	講義	2	選択	2	２年次科目　６単位以上
		美術技法B(レンダリング、パース)	演習	2	選択	2	
		グラフィックデザイン基礎論・演習	講義・演習	3	選択必修	2	３年次科目　６単位以上
		プロダクトデザイン基礎論･演習	講義・演習	3	選択必修	2	
		情報デザイン基礎論･演習	講義・演習	3	選択必修	2	
		エディトリアルデザイン論・演習	講義・演習	3	選択	2	
		材料学	講義	2	選択	2	
		モデリング演習	演習	2	選択	2	
		デザインCAD・３D演習	演習	2	選択	2	
		クリエイティブプログラミング演習	演習	2	選択	2	
		日本語テクニカルライティング	演習	1	選択	2	
		画像処理論・演習	講義・演習	3	選択	2	
		美術技法A(絵画、版画)	演習	2	選択	2	
		産業技術プロジェクトA	演習	1	選択	2・3	
		産業技術プロジェクトB	演習	1	選択	2・3	
		デザイン学特別講義	講義	2	選択	3	
		グラフィックデザイン論･演習A	講義・演習	3	選択必修	3	
		グラフィックデザイン論･演習B	講義・演習	3	選択必修	3	
		プロダクトデザイン論･演習A	講義・演習	3	選択必修	3	
		プロダクトデザイン論･演習B	講義・演習	3	選択必修	3	
		情報デザイン論・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		クリエイティブデザイン演習	演習	2	選択	3	
		マーケティング論・演習	講義・演習	3	選択	3	
		人間工学	講義	2	選択	3	
		多変量データ解析法・演習	講義・演習	3	選択	3	
		ヒューマンインタフェース論	講義	2	選択	3	
		芸術学概論	講義	2	選択	3	
		彫塑演習	演習	2	選択	3	
		工芸論	講義	2	選択	3	
		工芸演習	演習	2	選択	3	
		グラフィックデザイン論･演習C	講義・演習	3	選択必修	3	
		プロダクトデザイン論･演習C	講義・演習	3	選択必修	3	
		アクセシブルデザイン演習A	演習	1	選択必修	3	
		アクセシブルデザイン演習B	演習	1	選択必修	3	
		アクセシブルデザイン演習C	演習	1	選択必修	3	
		Webデザイン論・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
		デザインプレゼンテーション演習	演習	2	選択	3	
		デザイン史	講義	2	選択	3	
		感性科学	講義	2	選択	3	
		管理システム論	講義	2	選択	3	
		デザインプロジェクト実習	演習	1	選択	3	
		インターンシップ	実習	2	選択	3	
		人間情報工学	講義	2	選択	4	
		デザインサーベイ演習	演習	1	選択	4	
		建築史	講義	2	選択	4	
		ビジネスデータ処理論・演習	講義・演習	3	選択	4	
		デザイン学特別研究1	演習	2	必修	4	
		デザイン学特別研究2	演習	4	必修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）							６９単位以上

総合デザイン学科（支援技術学コース　アクセシブルデザイン学領域）【令和6年度以前の入学者対象】

専門教育系科目

専門教育科目

授業科目 区分			科目名	授業方法	単位数	必修選択の別	履修年次	卒業所要単位数
専門教育系科目	専門教育科目	共通教育科目 支援技術科学	聴覚科学	講義	2	選択	2	専門教育科目　６９単位以上 ・必修科目　１４単位 ・選択必修科目　１６単位以上 ２年次科目　１０単位以上 ３年次科目　　６単位以上
			情報保障技術と活用	講義	2	必修	3	
			社会資源の実際	講義	2	選択	3	
			障害者スポーツ	講義・演習	1	選択	3	
			手話言語工学	講義	2	選択	3	
		領域横断教育科目	支援技術学論	講義	2	必修	2	
			支援技術学演習A	演習	1	必修	2	
			支援技術学演習B	演習	1	必修	3	
			情報保障技術学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	2	
			情報保障システム工学・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			情報保障評価法・演習＜情報系＞	講義・演習	3	選択	3	
			福祉機器設計学＜機械系＞	講義	2	選択	3	
			福祉機器材料学＜機械系＞	講義	2	選択	4	
			住居・住生活論＜建築系＞	講義	2	選択	2	
			福祉住環境デザイン論・演習＜建築系＞	講義・演習	3	選択	4	
			医療福祉施設計画論＜建築系＞	講義	2	選択	4	
			ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	講義	2	必修	2	
			ﾋｭｰﾏﾝｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ論＜デザイン系＞	講義	2	選択	3	
		デザイン系専門教育科目	グラフィックデザイン論	講　義	2	選択必修	2	
			プロダクトデザイン論	講　義	2	選択必修	2	
			情報デザイン論	講　義	2	選択必修	2	
			平面造形論・演習	講義・演習	3	選　択	2	
			立体造形論・演習	講義・演習	3	選　択	2	
			CG演習	演　習	1	選　択	2	
			タイポグラフィ論･演習	講義・演習	3	選　択	2	
			デザイン製図論･演習	講義・演習	3	選　択	2	
			プログラミング基礎演習	演　習	2	選　択	2	
			社会シミュレーション論	講　義	2	選　択	2	
			グラフィックデザイン基礎論・演習	講義・演習	3	選択必修	2	
			プロダクトデザイン基礎論･演習	講義・演習	3	選択必修	2	
			情報デザイン基礎論･演習	講義・演習	3	選択必修	2	
			エディトリアルデザイン論・演習	講義・演習	3	選　択	2	
			材料学	講　義	2	選　択	2	
			モデリング演習	演　習	2	選　択	2	
			デザインCAD・３D演習	演　習	2	選　択	2	
			クリエイティブプログラミング演習	演　習	2	選　択	2	
			日本語テクニカルライティング	演　習	1	選　択	2	
			画像処理論・演習	講義・演習	3	選　択	2	
			産業技術プロジェクトA	演　習	1	選　択	2・3	
			産業技術プロジェクトB	演　習	1	選　択	2・3	
			デザイン学特別講義	講　義	2	選　択	3	
			グラフィックデザイン論･演習A	講義・演習	3	選択必修	3	
			グラフィックデザイン論･演習B	講義・演習	3	選択必修	3	
			プロダクトデザイン論･演習A	講義・演習	3	選択必修	3	
			プロダクトデザイン論･演習B	講義・演習	3	選択必修	3	
			情報デザイン論・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
			クリエイティブデザイン演習	演　習	2	選　択	3	
			マーケティング論・演習	講義・演習	3	選　択	3	
			人間工学	講　義	2	選　択	3	
			多変量データ解析法・演習	講義・演習	3	選　択	3	
			グラフィックデザイン論･演習C	講義・演習	3	選択必修	3	
			プロダクトデザイン論･演習C	講義・演習	3	選択必修	3	
			アクセシブルデザイン演習A	演　習	1	選択必修	3	
			アクセシブルデザイン演習B	演　習	1	選択必修	3	
			アクセシブルデザイン演習C	演　習	1	選択必修	3	
			Webデザイン論・演習	講義・演習	3	選択必修	3	
			デザインプレゼンテーション演習	演　習	2	選　択	3	
			デザイン史	講　義	2	選　択	3	
			感性科学	講　義	2	選　択	3	
			管理システム論	講　義	2	選　択	3	
			デザインプロジェクト実習	演　習	1	選　択	3	
			インターンシップ	実　習	2	選　択	3	
			人間情報工学	講　義	2	選　択	4	
			デザインサーベイ演習	演　習	1	選　択	4	
			ビジネスデータ処理論・演習	講義・演習	3	選　択	4	
			アクセシブルデザイン学特別研究1	演　習	2	必　修	4	
			アクセシブルデザイン学特別研究2	演　習	4	必　修	4	
卒業に必要な修得単位数（専門教育科目）								６９単位以上

総合デザイン学科

各科目の開講学期・曜時限，担当教員及び授業概要

令和７年度以降の入学者（１～２年次）対象科目

1　総合デザイン学科（教養教育系科目）

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻，教職免許の教科等）
教養教育科目	SH011	哲学	2	1	選択	1	木2 507	（上田徹）	哲学的人間学の観点から、人間を全体像として理解するよう試みる。生物学的・社会学的・経済学的立場から見られたこの世界における人間の位置づけを検討し、特に技術と人間の間に生ずる現代の病を考える。	
	SH021	歴史学	2	1	選択	1	木2 プレゼンテーションルーム	（髙野友理香）	「歴史学」は、過去を知ることによって現在をいかに生きるかを学ぶ学問である。高校までの「覚える歴史」ではなく「考える歴史」を身につけ、現代社会を生きる時代感覚を養うとともに、豊かな発想力や表現力を身につけることを目標とする。 ※講義では中近世日本史を中心に扱う予定。	
	SH031	心理学	2	1	選択	1	月2 プレゼンテーションルーム	長南浩人	本授業では、心理学の各分野の基礎知識を学び、かつ心理学的な思考方法や調査、実験方法に触れることで、日常生活における心理現象の理解と心理学的課題の解決能力の習得を目的とする。	
	SH041	法律学	2	1	選択	1	金5 遠隔	（岡田大助）	「社会あるところに法あり」といわれるとおり、社会が存在すればそこには法も必ず存在する。それゆえ、法律学を学ぶことは、日本社会を構成するすべての人々にとって必要不可欠になる。本講義の目的は、履修者が法の基礎を理解し、法の体系性を意識し、そして具体的な事例を考えられることにより、法律学の場面だけで役立つのではなく、将来的に社会で役立てることができるリーガルマインド（法的思考力）の素養を身に付けることである。	
	SH051	経済学	2	1	選択	2	木2 遠隔	（篠塚友一）	経済学の入門的な内容について講義する。日本および世界の国々が直面する経済的諸問題を理解するのに有用な経済理論の考え方を紹介する。	
	SH061	社会学	2	1	選択	2	木1 214	（庄司俊之）	社会学という学問分野は近代化とともに誕生した。社会の急速な変貌を目の当たりにした人々は、そもそも社会とは何か、我々の社会は今どういう地点に立っているのか、そして一体どこへ向かっているのかと問い掛けたのだ。本講義では、そうした「現代社会論としての社会学」の古典を概説する。これら古典の学びは現在の状況を理解する上でも基礎的な教養となるだろう。	
	SH071	日本国憲法	2	1	選択	2	集中 遠隔	（岡田大助）	憲法は、つくるべき社会の設計図として制定される一国の最高法規であり、国家・社会を維持・発展させていくための見取り図の役割を果たすものである。それゆえ、日本国憲法を学習することは、日本社会を構成するすべての人々にとって必要不可欠になる。本講義の目的は、履修者が日本国憲法に対する輪郭を構築し、基本概念を理解し、そして将来的に社会で役立てることができるリーガルマインド（法的思考力）の素養を身に付けることである。	【教職】日本国憲法〔必修〕
	SH691	言語学概論	2	1	選択	2	火2 214	神村幸蔵	本学学生になじみのある日本語，英語，手話言語の例を中心に，言語の仕組みや言語と社会に関する諸学問を学修し，我々がふだん使っている言語とは何かについて理解し，説明することができるようになることを目的とする。	
	SH701	現代科学	2	1	選択	2	月2 216	新田伸也	20C前半の物理学革命の根幹の一つであり現代文明の基礎でもある相対論の骨子を理解する。相対論のもたらしたパラダイムシフトによって、人類の世界観がどれほど変わったかを体感する。	
	SH111	英語Ａ	2	1	必修	1	火3 214 水2 215	神村幸蔵 田中豊大	基礎的な英語力の養成を目標として、講読と表現の学習を行う。講読では自然科学を含む現代的トピックを扱い、表現では身近なことを英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	①　対象 【教職】外国語コミュニケーション〔必修〕
	SH121	英語Ａ	2	1	必修	1	火1 214 金2 215	神村幸蔵 田中豊大	基礎的な英語力の養成を目標として、講読と表現の学習を行う。講読では自然科学を含む現代的トピックを扱い、表現では身近なことを英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	②　対象 【教職】外国語コミュニケーション〔必修〕
	SH131	英語Ａ	2	1	必修	1	金2 214 火1 215	神村幸蔵 田中豊大	基礎的な英語力の養成を目標として、講読と表現の学習を行う。講読では自然科学を含む現代的トピックを扱い、表現では身近なことを英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	③　対象 【教職】外国語コミュニケーション〔必修〕

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
教養教育科目	SH141	英語Ａ	2	1	必修	1	水2 214 火3 215	神村幸蔵 田中豊大	基礎的な英語力の養成を目標として、講読と表現の学習を行う。講読では自然科学を含む現代的トピックを扱い、表現では身近なことを英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	④　対象 【教職】外国語コミュニケーション〔必修〕
	SH151	英語Ｂ	2	1	必修	2	火3 214 水2 215	神村幸蔵 田中豊大	英語Aに続き、基本的な英語力の養成を目的とした、講読と表現の学習を行う。講義では異文化理解、人文科学等に関する題材を扱い、表現では、身の回りで起きた出来事についての説明や自分の意見を英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	①　対象
	SH161	英語Ｂ	2	1	必修	2	火1 214 金2 215	神村幸蔵 田中豊大	英語Aに続き、基本的な英語力の養成を目的とした、講読と表現の学習を行う。講義では異文化理解、人文科学等に関する題材を扱い、表現では、身の回りで起きた出来事についての説明や自分の意見を英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	②　対象
	SH171	英語Ｂ	2	1	必修	2	金2 214 火1 215	神村幸蔵 田中豊大	英語Aに続き、基本的な英語力の養成を目的とした、講読と表現の学習を行う。講義では異文化理解、人文科学等に関する題材を扱い、表現では、身の回りで起きた出来事についての説明や自分の意見を英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	③　対象
	SH181	英語Ｂ	2	1	必修	2	水2 214 火3 215	神村幸蔵 田中豊大	英語Aに続き、基本的な英語力の養成を目的とした、講読と表現の学習を行う。講義では異文化理解、人文科学等に関する題材を扱い、表現では、身の回りで起きた出来事についての説明や自分の意見を英語で書き表すこと及び言い表すことを指導する。	④　対象
	SH191	英語Ｃ	2	2	選択	1	火2 215 水3 215	田中豊大 （三澤かがり）	目的や英文に応じて速度や読み方を変えるなど、リーディングスキルやストラテジーの習得を目指す。あわせて資料等を読み、身近な事柄を英文で表現する能力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	①　対象
	SH201	英語Ｃ	2	2	選択	1	火2 214 水4 215	神村幸蔵 （三澤かがり）	目的や英文に応じて速度や読み方を変えるなど、リーディングスキルやストラテジーの習得を目指す。あわせて資料等を読み、身近な事柄を英文で表現する能力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	②　対象
	SH211	英語Ｃ	2	2	選択	1	火2 215 水4 215	田中豊大 （三澤かがり）	目的や英文に応じて速度や読み方を変えるなど、リーディングスキルやストラテジーの習得を目指す。あわせて資料等を読み、身近な事柄を英文で表現する能力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	③　対象
	SH221	英語Ｃ	2	2	選択	1	水3 D101 水4 215	神村幸蔵 （三澤かがり）	目的や英文に応じて速度や読み方を変えるなど、リーディングスキルやストラテジーの習得を目指す。あわせて資料等を読み、身近な事柄を英文で表現する能力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	④　対象
	SH631	英語Ｃ	2	2	選択	1	集中	神村幸蔵 田中豊大	目的や英文に応じて速度や読み方を変えるなど、リーディングスキルやストラテジーの習得を目指す。あわせて資料等を読み、身近な事柄を英文で表現する能力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	令和6年度（2024年度）またはそれ以前に入学した学生対象
	SH231	英語Ｄ	2	2	選択	2	水3 215 火2 215	神村幸蔵 田中豊大	身近な事柄に関する英語の資料等を理解する能力を身につける。またTOEICや英検などに対応できる英語力をeラーニングなどの教材を通じて身につける。	
	SH311	アメリカ手話言語１	1	1	選択	1	月2 213 214	小林洋子 大杉豊	異文化コミュニケーションの能力を高めることを大きなねらいとし、米国などで使用されているアメリカ手話言語の基本的な語彙と文法を学ぶ。米国指文字の読取りと表現の練習にも力を入れる。	
	SH321	アメリカ手話言語２	1	1	選択	2	月2 213 214	小林洋子 大杉豊	学んだ基本的な語彙と文法を活かして、アメリカ手話言語による日常会話に参加できること、そして自分の意思を表示し、意見を述べられることを目標とした学習を行う。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
教養教育科目	SH331	手話コミュニケーション入門	2	1	選択必修	1	月3 213	小林洋子	大学生活に必要な手話コミュニケーション力を身につけることを大きなねらいとし、日本語の指文字、日本手話言語の基本的な語彙と文法を学ぶ。また、プレゼンテーション技術（読取、表現）の基本的な練習にも力を入れる。	１学期初めに手話コミュニケーション力に応じたクラス分けを行い，指定された方を履修する。
	SH341	日本手話言語基礎	2	1		2	①月1 214 ②月3 214	大杉豊	入学時において手話コミュニケーションに支障のない学生を対象とする。日本手話言語を構成する語彙と文法のしくみを学ぶとともに、日本語の影響を含めた日本手話言語の歴史と変異、日本社会における手話言語の位置付けに関する知識を身につける。	
	SH351	手話コミュニケーション演習	1	1	選択	2	月3 213	小林洋子	日本手話言語を使ったプレゼンテーション技術（読取，表現）の応用的な練習を主とする演習を行い、大学生活に必要な手話コミュニケーション力の増強を図る。	「手話コミュニケーション入門」履修学生が対象
	SH361	日本語表現法Ａ	1	1	必修	1	火1 213	（脇中起余子）	話しことばと書きことばは別物である。「日本語表現法A」では、書記日本語を書く力の養成に重点を置く。語彙を拡げ、誤解のない文を作り、目的に応じた適切な表現ができるようになることを主要目的とする。	①　対象
	SH371	日本語表現法Ａ	1	1	必修	1	火3 213	（脇中起余子）	話しことばと書きことばは別物である。「日本語表現法A」では、書記日本語を書く力の養成に重点を置く。語彙を拡げ、誤解のない文を作り、目的に応じた適切な表現ができるようになることを主要目的とする。	②　対象
	SH381	日本語表現法Ａ	1	1	必修	1	水2 213	（脇中起余子）	話しことばと書きことばは別物である。「日本語表現法A」では、書記日本語を書く力の養成に重点を置く。語彙を拡げ、誤解のない文を作り、目的に応じた適切な表現ができるようになることを主要目的とする。	③　対象
	SH391	日本語表現法Ａ	1	1	必修	1	水3 213	（脇中起余子）	話しことばと書きことばは別物である。「日本語表現法A」では、書記日本語を書く力の養成に重点を置く。語彙を拡げ、誤解のない文を作り、目的に応じた適切な表現ができるようになることを主要目的とする。	④　対象
	SH401	日本語表現法Ｂ	1	1	必修	2	火1 213	（脇中起余子）	「日本語表現法B」では、論文執筆に必要な日本語力の養成に重点をおく。誤解のない客観的・論理的な文章とは何かを理解し、論文執筆に必要な基本スキルを身につけることを主要目的とする。	①　対象
	SH411	日本語表現法Ｂ	1	1	必修	2	火3 213	（脇中起余子）	「日本語表現法B」では、論文執筆に必要な日本語力の養成に重点をおく。誤解のない客観的・論理的な文章とは何かを理解し、論文執筆に必要な基本スキルを身につけることを主要目的とする。	②　対象
	SH421	日本語表現法Ｂ	1	1	必修	2	水2 213	（脇中起余子）	「日本語表現法B」では、論文執筆に必要な日本語力の養成に重点をおく。誤解のない客観的・論理的な文章とは何かを理解し、論文執筆に必要な基本スキルを身につけることを主要目的とする。	③　対象
	SH431	日本語表現法Ｂ	1	1	必修	2	水1 214	（脇中起余子）	「日本語表現法B」では、論文執筆に必要な日本語力の養成に重点をおく。誤解のない客観的・論理的な文章とは何かを理解し、論文執筆に必要な基本スキルを身につけることを主要目的とする。	④　対象
	SH441	健康･スポーツＡ	1	1	必修	1	水3 体育館 214他	中島幸則 向後佑香	まず初めに、自らの運動能力を知るために体力測定を行う。一般的な体力測定に加え、バランステストも行う。また、日頃の栄養・生活活動状況についても調べ、自分の身体に目を向けられるようにする。その後、運動の必要性、運動と栄養、スポーツと怪我等に関する講義を行う。また、人の命を救うために必要な心肺蘇生法やAEDに関する知識・技術も習得する。	【教職】体育〔必修〕
	SH451	健康･スポーツＢ	1	1	必修	2	水3 体育館 216他	中島幸則 向後佑香	各種の運動・スポーツの実戦を通して、楽しさと必要性を実感してもらい、自らの健康の維持・増進に繋げていく。実技のみならず、座学も行い知識を深めていく。また、この授業を通して、仲間とのコミュニケーションを深めることも大きな目的と考える。	【教職】体育〔必修〕
	SH461	健康･スポーツＣ	1	2	必修	1	金1 体育館 213他	中島幸則 向後佑香 （齊藤まゆみ）	様々なスポーツ実技の実践をしながら、個々のレベルにあった技術の向上だけではなく、健康の維持・増進に繋げていき、スポーツを行う上でのマナーについても理解を深める。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
教養教育科目	SH471	健康・スポーツＤ	1	2	選択必修	2	金1 体育館 214他	中島幸則 向後佑香 （齊藤まゆみ）	「生涯にわたるスポーツ参加」を目指して、心身ともに健康な体をつくり、生涯を通じて継続的にスポーツに親しむ資質や能力を育む。自らの健康の維持、増進に繋げるとともに、自分の身の回りの人に対しても、スポーツの必要性、楽しさを伝えられるようにする。	
	SH481	アウトドアスポーツ	1	2	選択必修	1	集中	中島幸則 向後佑香 天野和彦 （大友あかね）	自然環境の中でテント泊や野外炊事というキャンプ生活を体験するとともに、縦走登山や沢遊びなどの様々なアウトドアアクティビティに取り組みながら、野外活動に関する基本的な知識や技術を習得する。また、日頃の体力づくりの成果を試すとともに、自然環境や他者との関わりについて様々な観点から考え、課題を発見し解決するための行動ができる態度や技術を養う。	
	SH491	スノースポーツ	1	2	選択必修	2	集中	中島幸則 向後佑香 天野和彦 （木村桂子）	スノースポーツを生涯スポーツとしてとらえ、長期にわたり楽しくかつ安全に活動できるための知識・技能を習得する。また、集団生活における協調性、社会性を養い、冬の大自然を楽しむ。	
	SH501	修学基礎	1	1	必修	1	水4.5 集中 214 体育館 他	小林洋子 中島幸則 新井達也 向後佑香 神村幸蔵 田中豊大 難波知希	大学で学ぶ意義、効果的な学習方法、進路選択、相互理解と集団の形成、心身の健康管理、安全な生活の進め方などのテーマを取り上げて、討論、発表、共同作業などの多様な活動を通して、大学生活を円滑に進めるための基盤の形成を図る。	
	SH511	情報保障概論	2	1	必修	1	火2 プレゼンテーションルーム	三好茂樹 白澤麻弓	聴覚障害者のための情報保障のうち、特に手話通訳や文字通訳等を中心とする視覚的な情報保障のあり方や、各種情報保障手段に関する知識や技術について、実習・演習等を交えながら理解を深める。	
	SH711	企業・社会への参加とコミュニケーション	2	1	選択	2	木4 214	河野純大 他	コミュニケーション体験などを通して、自分自身のコミュニケーション特性を説明できる能力の習得を目指す。また、社会環境としての企業の歴史や社会的責任、組織で求められる能力や社会ニーズについての理解を深める。	
	SH721	ろう・難聴者の社会資源と自分史	2	2	必修	1	水1 214 215	大杉豊 小林洋子	(1)ろう・難聴者の個人とコミュニティを人権、情報・コミュニケーション、文化、スポーツなどテーマ毎に、社会参加に必要な知識の習得を図る。(2)過去の経験を振り返ることで、自分の行動パターンや大事にしている価値観を「自分史」にまとめる。	
	SH551	日本語社会とコミュニケーション	2	2	選択	1	木3 214	（脇中起余子）	本講義では、「察する」ことが求められる聴者の日本語社会で生きる力の育成に重点を置く。場面設定やグループ協議を通して、聴者の世界と聴覚障害者の世界の両方をスムーズに行き来できるスキルを身につけることを主要目的とする。	
	SH731	聴覚科学	2	2	選択	2	月1 213	笹目友香 安　啓一	本講義では、聴覚障害に関わる聴覚の科学全般について、聴覚障害の生理病理、音の特徴、聴覚系における情報処理、聴覚障害に関わる聴覚心理を解説する。また、講義のみではなく騒音計、聴覚検査機器等を用いた実際の検証も取り入れる。	
	SH761	異文化コミュニケーション（COIL）	1	2・3・4	選択	1・2	集中	小林洋子 神村幸蔵 田中豊大	本授業では、COIL（Collaborative Online International Learning）を取り入れ、海外のろう・難聴学生とオンラインで協働学習を行う。国や地域による言語・文化・教育環境の違いを踏まえた対話や共同作業を通して、相互理解を深めるとともに、共生社会の実現に向けた視点と実践力を養う。	
	SH771	異文化コミュニケーション（米国）	1	2・3・4	選択	1・2	集中	小林洋子 神村幸蔵 田中豊大	本授業では、諸外国のろう・難聴者が学ぶ大学等での見学や交流を通して、言語・文化・歴史の違いを学び、相互理解を深める。あわせて、受講生同士の協力やリーダーシップを通じて、ろう・難聴者としての社会認識・自己認識を高める。	

２　総合デザイン学科（デザイン学基礎教育科目）

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考 （対象専攻，教職免許の教科等）
デザイン学基礎教育科目	SH012	デザイン概論	4	1	必修	1	月4.5 201 202	総合デザイン学科全教員	デザインについて内容、領域、業務などの概要について学習し、デザインに関する理解を深め、専門教育に備え、デザインの基礎知識を身に付ける。	【教職】工芸(高)〔必修〕
	SH022	色彩論	2	1	選択	1	金3 113	井上征矢	色が見える原理、表色法、混色法、測色法、配色法、色彩調和論、色彩心理等の色彩の基礎知識について解説する。また諸分野における色彩計画の実例について紹介する中で、色彩の表現効果や配色調和、コミュニケーションの手段としての色彩の活用法などについて理解を深める。	【教職】美術(中・高) 【教職】工芸(高)〔必修〕
	SH032	絵画基礎技法	2	1	選択	1	木3.4 201 202	田嶋美雪	デザインや造形に不可欠な描画表現の基本的技法の演習を行う。形態、空間、色彩表現技法の基礎演習を行い、絵として具体的にイメージを表現できる視覚的表現力を習得する。各回、2時限続きの授業として実施する。	【教職】美術(中・高)〔必修〕
	SH132	デザイン製図論･演習	3	1	選択	1	火4.5 113	横井聖宏	図学・製図の基本的なルールについて学び、読図・製図の知識を身につけるとともに、演習を通してデザイン案を適切に図面で表現するための実践的な技能を習得する。	「デザインCAD・3D演習」（2年次配当）の履修を希望する者は本科目の単位を修得すること。
	SH052	デザイン基礎論・演習	3	1	必修	2	火4.5 117他	総合デザイン学科全教員	グラフィック・プロダクト・情報というデザインの専門領域について、基礎的な演習を通じて理解を深める。 上記3領域ごとの演習課題に取り組み、各人が自分の適性について体験的かつ客観的に把握した上で専門領域の選択が行えるようにする。	
	SH062	ＣＧ基礎論・演習	3	1	必修	2	月4.5 117	田嶋美雪 横井聖宏	パソコンの初歩的な論・演習として、基礎的な知識と技術を関連づけながら、コンピュータグラフィックスについての理解を深め、表現手段を拡張する。各回、2時限続きの授業として実施する。	【教職】美術(中・高)〔必修〕
	SH082	造形基礎論	2	1	選択	2	木3 113	伊藤三千代	私たちの生活、文化、自然界に存在する造形について、造形秩序、造形心理などを論理的に学ぶ。 造形芸術全般の理解を深め、デザインの学習に必要な基礎力と感性を身につける。講義で学んだ知識を用いてレポートと小作品の課題制作に取り組むことで「表現力」「伝達力」「発想力」「造形力」を培う。	
	SH092	情報リテラシー	2	1	必修	1	木1 117	河野純大 井上征矢 鈴木拓弥 田嶋美雪	文書作成、表計算、提示資料用のソフトウェアの使用方法を学ぶとともに、大学での学習に必須なレポートの作成方法や記述方法についても学ぶ。 加えて、メールの作法やネットワーク利用に関してのマナー、ウイルスなどのセキュリティやトラブルに巻き込まれないために必要な知識について学ぶ。	【教職】情報機器の操作〔必修〕
	SH102	統計基礎	2	1	必修	1	金4 214	河野純大	データサイエンスに関する学びの基礎として、はじめに、平均値や分散、中央値などの基本統計量やデータの代表値の意味などを学ぶ。その後、データに基づいた論理的思考やプレゼンテーションのフレームなどについて学習し、確かな根拠に基づく議論の基礎を学ぶ。	
	SH112	基礎数学	2	1	選択	2	木5 R201	河野純大	データサイエンスに関する学びの基礎として、さまざまなデータの表現方法とそれを支える数学的知識、論理的な展開について学ぶ。また、デザインに関係する数学として、美しく見せる比率（黄金比、白銀比）や螺旋構造、対称性、繰返し模様（フラクタルを含む）、カオスなどについても学ぶ。	
	SH142	ウェブテクノロジーとセキュリティ	2	1	選択	2	金1 520	西岡知之	2進数や論理、情報量の基礎など、コンピュータの数理的裏づけを概観するとともに、コンピュータのハードウェア構造、プログラムが実行される仕組みなどについて学ぶ。	

３　総合デザイン学科　クリエイティブデザイン学コース

専門教育系科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考 (対象専攻，教職免許の教科等)
専門教育科目	SI013	グラフィックデザイン論	2	2	必修	1	金3 202	西岡仁也	人間がどのように対象を見ているか知覚から認知へ至る情報伝達を解説し、グラフィックデザインにおけるコミュニケーションを学ぶ。事例を通してメディアに応じた表現方法のほか、文字情報と絵情報の違いや、錯視や図などの伝達効果について理解することにより、グラフィックデザイン制作に応用可能な知識と技術を養う。	【教職】美術(中・高)〔必修〕 【教職】工芸(高)
	SI023	プロダクトデザイン論	2	2	必修	1	水2 202	郭　龍旻	プロダクトデザインの本質的意義、デザインプロセスと創造的な考え方、デザイン技術や業務内容などを具体的な開発事例を示し解説する。プロダクトと形態、材料、ユーザインターフェース、ユニバーサルデザイン、マーケティングなどのプロダクトデザイン要素を幅広く概説し、デザインプロセスのケーススタディを通してプロダクトデザインの理解を探める。	【教職】美術(中・高)〔必修〕 【教職】工芸(高)
	SI033	情報デザイン論	2	2	必修	1	月3 201 202	皆川洋喜 (内藤一郎) 河野純大	情報とデザインの知識を融合し、情報の収集・分析・可視化、課題発見・解決、企画立案等に関する基本的な考え方について学修する。また、学修した基本的な考え方をベースにして、心に訴えかけるような魅力的な資料作り、プレゼンテーションの在り方について考える。	
	SI043	ユニバーサルデザイン論	2	2	選択	1	月1 201 202	総合デザイン学科教員/福祉住環境学教員	ノーマライゼーション意識の普及による現代社会では、デザインのユニバーサル化が当然の課題となっている。ユニバーサルデザインの今日的意義、良いデザインとは何か、人間・モノ・情報・空間との関係など、ユニバーサルデザイン要素を理解し、幅広くモノ創りとしてユニバーサルデザインの対応力を高める。	【教職】工芸(高)
	SI053	平面造形論・演習	3	2	選択	1	木4.5 117	井上征矢	デザインの基礎である平面造形表現の理論と技術を習得する。点、線、面、形態、色彩といった造形の要素や、分割や比例や配置といった造形秩序について、その機能や特性に関する理論について講義を行い、さらにその効果を基礎造形や平面デザインに応用できる構成力や発想力、表現技術を身に付けるための演習を行う。	【教職】美術(中・高)〔必修〕 【教職】工芸(高)〔必修〕
	SI063	立体造形論・演習	3	2	選択	1	月4.5 114・工房	伊藤三千代 守屋誠太郎 郭　龍旻	デザインの基礎である立体造形表現の理論と技術を習得する。立体構成の概念、造形要素の知識と技法について講義を行い、多くの素材体験を通して発想力、表現力、造形力、構成力を養う。また、３次元基礎形態が持つ量感・力感・空間の特性を理解し、立体のフオルムや構成、加工、素材の変化によるイメージの変容を学習する。	【教職】美術(中・高)〔必修〕 【教職】工芸(高)〔必修〕
	SI073	ＣＧ演習	1	2	選択	1・2	(1学期) 集中 (2学期) 水4,5 集中 117	鈴木拓弥	コンピューターグラフィックスの内、主に二次元グラフィックスの描画技法を中心として学修する。ラスター描画（ペイント）とベクター描画（ドローイング）のそれぞれの技法について、実践的な制作課題を通じて専門知識と実践のための応用的スキルを習得する。	【教職】美術(中・高)
	SI573	Webデザイン基礎	2	2	選択	1	火1 117	河野純大	HTMLやJavascriptを題材にして、プログラミング言語を通して自身のアイデアを実現する手法や、場合分けや繰り返しなどプログラミングの基礎的なスキルを習得する。	
	SI113	社会シミュレーション論	2	2	選択	1	火5 117	皆川洋喜	レジでの順番待ち、道路の渋滞、工場の生産ライン等、社会のあらゆる場面で発生する「待ち行列」について、コンピュータを用いてシミュレーションする方法について学習する。	
	SI123	美術技法Ｂ(レンダリング、パース)	2	2	選択	1	火3・4 工房	郭　龍旻	立体表現の意義として理論について解説し、基礎的表現法、専門的な画材を使用した複雑な形状表現を演習して専門的理解を探める。様々な材料で作られたプロダクトを専門画材を使って表現する。最終的に自由にイメージしたプロダクト形状をパースペクティブで作図し、リアルなレンダリングを製作する。	【教職】美術(中・高) 【教職】工芸(高)

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
専門教育科目	SI133	グラフィックデザイン基礎論・演習	3	2	選択必修	2	木2.3 117	劉賢国 井上征矢	前半は、言語によるコミュニケーションデザインの基礎をテーマとし、文字の基本構造に関する講義とロゴタイプデザインの演習を行う。後半は、非言語のコミュニケーションデザインの基礎をテーマとし、シンボルやサインに関する講義とその演習を行う。	【教職】美術(中・高) 【教職】工芸(高)
	SI143	プロダクトデザイン基礎論・演習	3	2	選択必修	2	月4・5 工房	郭　龍旻	近未来のライフスタイルをリードするプロダクトをテーマにして、デザインコンセプト段階から実製作に至るまで、様々な角度のリサーチ能力の向上と共に、問題の導出と解決方法、また、分析データの適切な活用方法などについて説明する。プロダクトデザインを通し、ユーザーに新しいライフスタイルを提供するため、ユーザーの深みある行動観察と分析が要求される。デザインプロセスの全過程で、自分の考えとデザインコンセプトについて明確に説明できるように、プレゼンテーション能力の向上や創造的思考能力を高める。	立体造形論・演習を履修していることが望ましい 【教職】美術(中・高) 【教職】工芸(高)
	SI153	情報デザイン基礎論・演習	3	2	選択必修	2	水1・2 117	皆川洋喜 (内藤一郎) 河野純大	情報デザインに関する基本的な技術を身につけるために、データ分析、コンピュータのソフトウェア／ハードウェアについての演習を行う。個々の課題において、アイデアをカタチにする企画力、発想力を磨き、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を身につける。	
	SI583	映像論・演習	3	2	選択	2	金4・5 115	(永盛祐介) 西岡仁也 横井聖宏	モーショングラフィックス、アニメーション、撮影と編集など、グラフィックデザインにおける映像表現の知識と技術を学び、メディアに合わせた定着に取り組む。課題を通してコンセプトの立案から、絵コンテの作成、レイアウトによる伝達効果など、時間軸の設計と視覚表現を統合的に理解する。	
	SI163	エディトリアルデザイン論・演習	3	2	選択	2	金4・5 117	劉賢国	エディトリアルデザインの基本知識を理解し、編集企画とマニュアルの制作方法を学ぶ。本格的に複数ページのレイアウトの展開方法を演習し、自ら冊子デザインの企画を通して文字や図版を配置などの実践的なデザインを行う。台割の作成から、組版という一連のプロセスを通じて編集デザイン理論とIn Designの機能を習得し、実践的なデジタル編集の表現技術を身につける。	【教職】美術(中・高) 原則としてデザインプレゼンテーション演習履修に必要
	SI183	モデリング演習	2	2	選択	2	金2.3 工房	守屋誠太郎	デザインプロセスに適したスタディモデル・提案モデルを制作し、モデリングの表現技法、素材加工方法、形態表現などについて習得する。同時に制作手順をとおしてモノづくりの段取りと計画性を習得する。	【教職】美術(中・高) 【教職】工芸(高)〔必修〕
	SI193	デザインＣＡＤ・３Ｄ演習	2	2	選択	2	火4・5 114	横井聖宏	3DCADの基礎を学び、デザイン案をコンピュータ上で3Dモデルに表すための知識を身につけるとともに、3DCADソフトウェアや3Dプリンタを用いた演習を通して3Dモデリングの実践的な技能を習得する。	「デザイン製図論・演習」（1年次配当）の単位を修得済みでない者の履修は原則として認めない。「感性デザイン論・演習」（3年次配当）の履修を希望する者は本科目の単位を修得すること。
	SI203	クリエイティブプログラミング演習	2	2	選択	2	火4・5 215	皆川洋喜 (内藤一郎) 河野純大	ブロック型のグラフィカル・プログラミングを使って、インタラクティブなコンピュータゲームの制作やフルカラーLED、ロボットの制御などフィジカル・コンピューティング課題に取組み、論理的な思考力や実践的な課題解決能力を身につける。	
	SI593	画像処理論	2	2	選択	2	金2 117	皆川洋喜	デジタル画像の情報デザインとしての基本的な知識として、画像情報の表現と応用、デジタル画像処理の基礎、フラクタル図形について理解する。	
	SI603	写真演習	1	2	選択	2	月3 117	横井聖宏	写真の原理や写真機の仕組みについて学び、写真表現のための知識を身につけるとともに、意図に沿った写真を適切に制作するための実践的な技能を習得する。	「CG基礎論・演習」（1年次配当）の単位を修得済みでない者の履修は原則として認めない。

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
専門教育科目	SI233	美術技法Ａ(絵画、版画)	2	2	選択	2	木4.5 工房	守屋誠太郎 田嶋美雪 (丹野香織)	視覚的表現における色や質感、空間などの表現力を高めるために絵画、版画の制作を通して各種の用具の使い方を知り、様々な技法を体験する。絵画技法の特性を理解し、幅広い絵画表現力を習得する。	【教職】美術(中・高)
	SI243	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SI253	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 (松森果林)	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SI613	産業技術プロジェクトＣ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトCでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題に対して専門知識を生かして問題解決する取り組みを行う。	
	SI623	産業技術プロジェクトＤ	1	2・3	選択	2	集中 509他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトDでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題を専門知識を生かしてチームで解決し、その過程と成果をまとめ発表する。	
	SI343	人間工学	2	2	選択	1	木3 113	伊藤 三千代 井上 征矢 河野 純大 皆川 洋喜 西岡 仁也 横井 聖宏	人間の身体的・認知的・心理的特性や人間の行動の特性を理解することで、誰もが直感的に使える、使いやすく快適で疲労が少ない、安全な機器・環境・作業をつくり出すための考え方や手法について学ぶ。障害者や高齢者に安全で使いやすい生活環境とデザインについての理解が深まるように多岐に渡る応用分野についても広く学習する。	【教職】工芸(高)

４　総合デザイン学科　支援技術学コース：アクセシブルデザイン学領域

専門教育系科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
専門教育科目	SJ663	支援技術学論・演習Ａ	3	2	必修	1	火3,4 507他	支援技術学コース教員	支援や支援技術に関して、さまざまな事例や法制度などについて学習する。加えて、情報保障工学、福祉機器、福祉住環境、アクセシブルデザインの各支援技術学コースの領域に関する基本的な知識を講義・演習形式で習得する。	
	SJ673	支援技術学論・演習Ｂ	3	2	必修	1・2	1学期 集中 2学期 火4,5 R201他	菊地浩平 白澤麻弓 三好茂樹 大杉豊 （高山亨太）	本授業では、ろう・難聴者を取り巻くさまざまな社会資源のうち、手話通訳や文字通訳といった情報保障制度や音声認識・手話認識といった工学的技術を用いた支援、さらには、社会福祉の理論と現場における実践等について、講義と演習の両面から学習を深めていくことで、ろう・難聴者支援における多面的なアプローチについて理解を深めることを目的とする。	1学期(集中)と2学期(火4・5)の時間割の違いに注意されたい
	SJ693	障害の特性と理解	2	2	選択	2	金3 春日 316	白澤麻弓 青木千帆子 （山森一希） （吉川かおり） （末吉彩香） （上岡陽江）	多様な人々の社会的活躍を支えていくためには、そうした人々の持つ障害について、正しい理解を持つことが重要である。この授業では、自身の持つ障害以外のさまざまな障害（聴覚障害、視覚障害、知的障害、肢体不自由、発達障害、精神障害など）について、病理学、生理学、教育学、心理学、リハビリテーション学の観点から学ぶことで、障害の特性についての基礎的な知識を獲得するとともに、多様な障害がある人の「活動」や「参加」の状態を向上させるための指導や援助の内容について学習する。 これらを通じて、さまざまな障害を持つ人々の社会参加を支え、彼／彼女らの活躍を支援するための基礎的な技術と知識の習得を目指す。	共生社会創成学部開講科目
	SJ703	障害社会学	2	2	選択	2	金2 春日 316	青木千帆子	この授業では、国連障害者の権利に関する条約において示されている「社会モデル」を軸に、「障害」や「社会的障壁」に対する幅広い見方・捉え方について学習する。 講義はまず、障害学と呼ばれる分野で蓄積されてきた議論の歴史を学ぶ。続けて、今日における障害者の育児を事例に、過去の議論が現在においてどのような意味をもつのかを学ぶ。続けて、多くが非正規労働者である支援者や、日本社会におけるテクノロジーの位置づけをめぐる社会学の議論を学び、社会モデルの観点をより幅広い対象を包含する「ダイバーシティ」の概念に結び付けていく。このような学習を通し、共生社会に関する社会学的な理解を深める。 なお、この科目は視覚・聴覚系共同実施科目である。講義内容を理解することはもちろんであるが、同時に受講生相互のニーズや学び方の異なりを直接経験することを通し、共生社会の在り方について構想する姿勢が求められる。	共生社会創成学部開講科目
	SJ093	情報保障技術学・演習＜情報系＞	3	2	選択	2	火2・3 617他	若月大輔 加藤伸子 菊地浩平 白石優旗 安啓一	聴覚障害を中心とした基礎的な情報保障技術について学習する。情報保障が必要とされる場面や個々の障害の特性の配慮も視野に入れる。演習では社会に普及している情報保障技術を題材として、情報保障を適切に評価し活用できる力を身につけることを目標とする。	
	SJ143	住居・住生活論＜建築系＞	2	2	選択	1	水2 423	梅本舞子	人間の生活の基盤である住居について、歴史的な変遷、地域的な多様性、現代における住居の位置付けを概括する。その上で、住居の計画、並びに設計についての基礎知識を解説する。	
	SJ173	ユニバーサルデザイン論＜デザイン系＞	2	2	必修	1	月1 201 202	総合デザイン学科教員/福祉住環境学教員	ノーマライゼーション意識の普及による現代社会では、デザインのユニバーサル化が当然の課題となっている。ユニバーサルデザインの今日的意義、良いデザインとは何か、人間・モノ・情報・空間との関係など、ユニバーサルデザイン要素を理解し、幅広くモノ創りとしてユニバーサルデザインの対応力を高める。	【教職】工芸(高)
	SJ773	映像論・演習〈デザイン系〉	3	2	選択	2	金4・5 115	（永盛祐介） 西岡仁也 横井聖宏	モーショングラフィックス、アニメーション、撮影と編集など、グラフィックデザインにおける映像表現の知識と技術を学び、メディアに合わせた定着に取り組む。課題を通してコンセプトの立案から、絵コンテの作成、レイアウトによる伝達効果など、時間軸の設計と視覚表現を統合的に理解する。	
	SJ193	グラフィックデザイン論	2	2	選択必修	1	金3 202	西岡仁也	人間がどのように対象を見ているか知覚から認知へ至る情報伝達を解説し、グラフィックデザインにおけるコミュニケーションを学ぶ。事例を通してメディアに応じた表現方法のほか、文字情報と絵情報の違いや、錯視や図などの伝達効果について理解することにより、グラフィックデザイン制作に応用可能な知識と技術を養う。	【教職】美術(中・高)〔必修〕 【教職】工芸(高)

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考 (対象専攻，教職免許の教科等)
専門教育科目	SJ203	プロダクトデザイン論	2	2	選択必修	1	水2 202	郭　龍旻	プロダクトデザインの本質的意義、デザインプロセスと創造的な考え方、デザイン技術や業務内容などを具体的な開発事例を示し解説する。プロダクトと形態、材料、ユーザインターフェース、ユニバーサルデザイン、マーケティングなどのプロダクトデザイン要素を幅広く概説し、デザインプロセスのケーススタディを通してプロダクトデザインの理解を探める。	【教職】美術(中・高)〔必修〕 【教職】工芸(高)
	SJ213	情報デザイン論	2	2	選択必修	1	月3 201 202	皆川洋喜 (内藤一郎) 河野純大	情報とデザインの知識を融合し、情報の収集・分析・可視化、課題発見・解決、企画立案等に関する基本的な考え方について学修する。また、学修した基本的な考え方をベースにして、心に訴えかけるような魅力的な資料作り、プレゼンテーションの在り方について考える。	
	SJ223	平面造形論・演習	3	2	選択	1	木4.5 117	井上征矢	デザインの基礎である平面造形表現の理論と技術を習得する。点、線、面、形態、色彩といった造形の要素や、分割や比例や配置といった造形秩序について、その機能や特性に関する理論について講義を行い、さらにその効果を基礎造形や平面デザインに応用できる構成力や発想力、表現技術を身に付けるための演習を行う。	【教職】美術(中・高)〔必修〕 【教職】工芸(高)〔必修〕
	SJ233	立体造形論・演習	3	2	選択	1	月4.5 114 工房	伊藤三千代 守屋誠太郎 郭　龍旻	デザインの基礎である立体造形表現の理論と技術を習得する。立体構成の概念、造形要素の知識と技法について講義を行い、多くの素材体験を通して発想力、表現力、造形力、構成力を養う。また、３次元基礎形態が持つ量感・力感・空間の特性を理解し、立体のフォルムや構成、加工、素材の変化によるイメージの変容を学習する。	【教職】美術(中・高)〔必修〕 【教職】工芸(高)〔必修〕
	SJ243	ＣＧ演習	1	2	選択	1・2	1学期 集中 2学期 水4,5 集中 117	鈴木拓弥	コンピューターグラフィックスの内、主に二次元グラフィックスの描画技法を中心として学修する。ラスター描画（ペイント）とベクター描画（ドローイング）のそれぞれの技法について、実践的な制作課題を通じて専門知識と実践のための応用的スキルを習得する。	【教職】美術(中・高)
	SJ783	Webデザイン基礎	2	2	選択	1	火1 117	河野純大	HTMLやJavascriptを題材にして、プログラミング言語を通して自身のアイデアを実現する手法や、場合分けや繰り返しなどプログラミングの基礎的なスキルを習得する。	
	SJ283	社会シミュレーション論	2	2	選択	1	火5 117	皆川洋喜	レジでの順番待ち、道路の渋滞、工場の生産ライン等、社会のあらゆる場面で発生する「待ち行列」について、コンピュータを用いてシミュレーションする方法について学習する。	
	SJ293	グラフィックデザイン基礎論・演習	3	2	選択必修	2	木2.3 117	劉賢国 井上征矢	前半は、言語によるコミュニケーションデザインの基礎をテーマとし、文字の基本構造に関する講義とロゴタイプデザインの演習を行う。後半は、非言語のコミュニケーションデザインの基礎をテーマとし、シンボルやサインに関する講義とその演習を行う。	【教職】美術(中・高) 【教職】工芸(高)
	SJ303	プロダクトデザイン基礎論・演習	3	2	選択必修	2	月4・5 工房	郭　龍旻	近未来のライフスタイルをリードするプロダクトをテーマにして、デザインコンセプト段階から実製作に至るまで、様々な角度のリサーチ能力の向上と共に、問題の導出と解決方法、また、分析データの適切な活用方法などについて説明する。プロダクトデザインを通し、ユーザーに新しいライフスタイルを提供するため、ユーザーの深みある行動観察と分析が要求される。デザインプロセスの全過程で、自分の考えとデザインコンセプトについて明確に説明できるように、プレゼンテーション能力の向上や創造的思考能力を高める。	立体造形論・演習を履修していることが望ましい 【教職】美術(中・高) 【教職】工芸(高)
	SJ313	情報デザイン基礎論・演習	3	2	選択必修	2	水1・2 117	皆川洋喜 (内藤一郎) 河野純大	情報デザインに関する基本的な技術を身につけるために、データ分析、コンピュータのソフトウェア／ハードウェアについての演習を行う。個々の課題において、アイデアをカタチにする企画力、発想力を磨き、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を身につける。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
専門教育科目	SJ323	エディトリアルデザイン論・演習	3	2	選択	2	金4・5 117	劉賢国	エディトリアルデザインの基本知識を理解し、編集企画とマニュアルの制作方法を学ぶ。本格的に複数ページのレイアウトの展開方法を演習し、自ら冊子デザインの企画を通して文字や図版を配置などの実践的なデザインを行う。台割の作成から、組版という一連のプロセスを通じて編集デザイン理論とIn Designの機能を習得し、デジタル編集の表現技術を身につける。	【教職】美術(中・高) 原則としてデザインプレゼンテーション演習履修に必要
	SJ343	モデリング演習	2	2	選択	2	金2.3 工房	守屋誠太郎	デザインプロセスに適したスタディモデル・提案モデルを制作し、モデリングの表現技法、素材加工方法、形態表現などについて習得する。同時に制作手順をとおしてモノづくりの段取りと計画性を習得する。	【教職】美術(中・高) 【教職】工芸(高)〔必修〕
	SJ353	デザインＣＡＤ・３Ｄ演習	2	2	選択	2	火4・5 114	横井聖宏	3DCADの基礎を学び、デザイン案をコンピュータ上で3Dモデルに表すための知識を身につけるとともに、3DCADソフトウェアや3Dプリンタを用いた演習を通して3Dモデリングの実践的な技能を習得する。	「デザイン製図論・演習」（1年次配当）の単位を修得済みでない者の履修は原則として認めない。「感性デザイン論・演習」（3年次配当）の履修を希望する者は本科目の単位を修得すること。
	SJ363	クリエイティブプログラミング演習	2	2	選択	2	火4・5 215	皆川洋喜 (内藤一郎) 河野純大	ブロック型のグラフィカル・プログラミングを使って、インタラクティブなコンピュータゲームの制作やフルカラーLED、ロボットの制御などフィジカル・コンピューティング課題に取組み、論理的な思考力や実践的な課題解決能力を身につける。	
	SJ793	画像処理論	2	2	選択	2	金2 117	皆川洋喜	デジタル画像の情報デザインとしての基本的な知識として、画像情報の表現と応用、デジタル画像処理の基礎、フラクタル図形について理解する。	
	SJ803	写真演習	1	2	選択	2	月3 117	横井聖宏	写真の原理や写真機の仕組みについて学び、写真表現のための知識を身につけるとともに、意図に沿った写真を適切に制作するための実践的な技能を習得する。	「CG基礎論・演習」（1年次配当）の単位を修得済みでない者の履修は原則として認めない。
	SJ393	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SJ403	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 (松森果林)	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SJ813	産業技術プロジェクトＣ	1	2・3	選択	1・2	集中 509 他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトCでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題に対して専門知識を生かして問題解決する取り組みを行う。	
	SJ823	産業技術プロジェクトＤ	1	2・3	選択	2	集中 509他	渡辺知恵美 白石優旗	産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、相互に議論しながら全員で1つのテーマに取り組む総合的学習を行う。プロジェクトDでは学外学生とチームを組み、身の回りに起きている問題を専門知識を生かしてチームで解決し、その過程と成果をまとめ発表する。	
	SJ493	人間工学	2	2	選択	1	木3 113	伊藤 三千代 井上 征矢 河野 純大 皆川 洋喜 西岡 仁也 横井 聖宏	人間の身体的・認知的・心理的特性や人間の行動の特性を理解することで、誰もが直感的に使える、使いやすく快適で疲労が少ない、安全な機器・環境・作業をつくり出すための考え方や手法について学ぶ。障害者や高齢者に安全で使いやすい生活環境とデザインについての理解が深まるように多岐に渡る応用分野についても広く学習する。	【教職】工芸(高)

総合デザイン学科

各科目の開講学期・曜時限，担当教員及び授業概要

令和６年度以前の入学者（３～４年次）対象科目

1　総合デザイン学科（教養教育系科目）

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻，教職免許の教科等）
教養教育科目	SH581	自分史	2	3	選択	1	木2 213	大杉豊	就職活動の軸となる「自分史」を作る。自分の過去の経験を振り返ることで、自分の行動パターンや自分が大事にしている価値観を言葉にする。そして面接やエントリーシートで自分の価値観や行動パターンを説明できるスキルを身につけることを主要目的とする。	
	SH591	就職活動支援	2	3	選択	2	月2 プレゼンルーム	加藤伸子	自己分析および社会的状況の客観的理解を基盤とした進路選択、意思決定について解説する。また聴覚障害者の就職活動における手順や、履歴書・エントリーシートの作成、面接対策等のポイントを教授する。さらに聴覚障害者の就労場面で生起する活動参加制限について、卒業生等が直面している事例を紹介し、あわせて就労に際して知っておくべき制度、法律、支援体制について教授する。	
	SH601	ライフキャリア	2	4	選択	1	水3 216	小林洋子	本授業では、仕事に限らず、結婚・出産・育児・介護など生涯のあらゆる経験を「キャリア」と捉えるライフキャリアの考え方を学ぶ。人生100年時代における多様な生き方・働き方を踏まえ、キャリア発達の理論と実践を通して課題を検討し、講義・ワーク・ディスカッションを通じて自分らしいキャリアの在り方を考える。	

３　総合デザイン学科　クリエイティブデザイン学コース

専門教育系科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
専門教育科目	SI243	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 西岡仁也 他	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SI253	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	
	SI263	デザイン学特別講義	2	3	選択	1・2	(1学期) 水3,4 集中 202 (2学期) 集中 202	河野純大 鈴木拓弥 他	企業におけるデザインの活動、マーケティングや市場動向の解説に企業見学を加え、大学での学修内容と企業のデザイン活動の関連性を理解させる。	
	SI273	グラフィックデザイン論･演習A	3	3	選択必修	1	月3・4 115 117	鈴木拓弥 田嶋美雪	広告デザインについて系統的かつ具体的に学修する。講義において広告対象の持つ魅力や課題の発見、分析、解決方法を学び、演習において実務的な知識と技術を身に着ける。実務的な課題やコンペティションを通じ、発想をクリエイティブに結びつけるプロセスを学び、デザイン・レイアウトを行う。	
	SI283	グラフィックデザイン論･演習B	3	3	選択必修	2	金4・5 115	西岡仁也 （永盛祐介） 横井聖宏	モーショングラフィックス、アニメーション、撮影と編集など、グラフィックデザインにおける映像表現の知識と技術を学び、メディアに合わせた定着に取り組む。課題を通してコンセプトの立案から、絵コンテの作成、レイアウトによる伝達効果など、時間軸の設計と視覚表現を統合的に理解する。	
	SI293	プロダクトデザイン論･演習A	3	3	選択必修	1・2	1学期 月5集中 114 2学期 金3集中 114	横井聖宏	プロダクトデザインのプロセスやユーザー調査の手法を学び、論理的にデザイン企画をおこなうための知識を身につけるとともに、コンセプト提案、デザイン案の可視化、３Ｄプリントによるモックアップ制作、ユーザー情報にもとづく分析・評価などの演習を通して、新たな感性価値を提供するデザイン企画の実践的な技能を習得する。	履修者は「デザインＣＡＤ・３Ｄ演習」（2年次配当）の単位を修得済みであることが望ましい。
	SI303	プロダクトデザイン論･演習B	3	3	選択必修	1	水1・2 工房	伊藤三千代	日用品や身近な生活雑貨のデザインを取り上げ、モノの目的とその機能や形態、使いやすさについて考察する。課題の抽出、コンセプトの策定、具体化、評価というプロセスを通じて、広い視点から目的にあったデザインと美しいかたちを提案できる知識・技能を習得する。	
	SI313	情報デザイン論・演習	3	3	選択必修	1	火1・2 507	皆川洋喜 （内藤一郎） 河野純大	情報デザインに関する応用的な思考力と技能を身につけるために，実社会における課題をデザイン思考により解決する。現場の観察，課題の抽出，アイディア出し，プロトタイプ制作，テストの各ステップについて実践的に取り組み，イノベーション創出につなげる力を身につける。	
	SI323	クリエイティブデザイン演習	2	3	選択	1	火3・4 115 117	鈴木拓弥	広告やWebなど、各種媒体のデザイン技法について、主に写真とDTPについて学修する。デザインに必要な撮影機材の使い方、撮影技法、画像処理など、写真に関する演習、及びDTP環境下におけるクリエイティブについて、実務的な図版作成やレイアウトを通じ、展開力を身につける。複数のグラフィックスアプリケーションを用い、写真、文字、グラフィックを操る技術と知識を実践的に習得する。	【教職】美術(中・高)
	SI333	マーケティング論・演習	3	3	選択	1	月1・2 507	河野純大	講義では，人の嗜好や意思決定の仕組みを知るための基礎的理論と，対象となる人や競合となるモノなどをリサーチする方法論について学習する。演習では，マーケティング戦略立案，商品開発，広告宣伝活動など，総合企画力を実践的に取得する。	
	SI343	人間工学	2	3	選択	1	木3 113	伊藤 三千代 井上 征矢 河野 純大 皆川 洋喜 西岡 仁也 横井 聖宏	人間の身体的・認知的・心理的特性や人間の行動の特性を理解することで、誰もが直感的に使える、使いやすく快適で疲労が少ない、安全な機器・環境・作業をつくり出すための考え方や手法について学ぶ。障害者や高齢者に安全で使いやすい生活環境とデザインについての理解が深まるように多岐に渡る応用分野についても広く学習する。	【教職】工芸(高)

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
専門教育科目	SI353	多変量データ解析法・演習	3	3	選択	1	金4・5 113	皆川洋喜	アンケート等の多項目のデータを分析する手法について、仮説の立て方、データの収集方法、データの解析方法、解析結果の評価方法、解析結果の報告方法を、一連の流れとして実践的に学習する。	
	SI363	ヒューマンインタフェース論	2	3	選択	1	木1 617	加藤伸子 河野純大 西岡知之 皆川洋喜	人間の感覚器・運動器・認知機構と、これらを補償・拡大するシステムやデザイン設計について学習する。人とコンピュータとのインタフェース技術やデザイン設計について基礎から応用まで幅広く学習し自分達の身の回りの実際の問題に適応できる力を身に付ける。ケーススタディを通じて人間とモノ・コト・情報等の関係性について理解を深める。	
	SI373	芸術学概論	2	3	選択	1	火5 202	守屋誠太郎	西洋美術史と日本美術史について年代を追って解説する。時代ごとにどのような変化・様式が生まれ、現代の美術、アートへ受け継がれるまでを学習する。鑑賞を通じて、歴史から人間と美術の関係性を知り、表現の多様性を理解する。	【教職】美術(中・高)〔必修〕
	SI383	彫塑演習	2	3	選択	1	金2・3 工房	守屋誠太郎	塑造制作を通じて、彫刻分野における基礎的な立体造形能力を養う。塑造粘土を使用し、腕（手像）と首（頭像）の作品制作を行う。ヘラの使い方や心棒の組み方などを理解し、塑造における量感、フォルム、質感などの基礎的な表現方法を学習する。	【教職】美術(中・高)〔必修〕
	SI393	工芸論	2	3	選択	1	金1 113	伊藤三千代	伝統工芸と現代クラフトの「素材」「技術」「意匠」の特徴について、歴史的背景を踏まえながら、その発生や地域文化、各地の素材や生産技法を学習する。工芸全般の興味を深め、歴史風土の中で人間生活に深く関わりながら生み出されてきたことを理解する。	【教職】美術(中・高)〔必修〕 【教職】工芸(高)〔必修〕
	SI403	工芸演習	2	3	選択	2	月3・4 工房	伊藤三千代	木工・陶芸・ガラス工芸・水引細工・折形・判子染等の作品制作を通じて工芸の技法を習得する。用と美をテーマに、伝統的な工芸品の造形や図案からオリジナルデザインへの発想を学び、インテリアクラフトとして作品を制作することで、工芸への関心と理解を深め、手で作り出す喜びと造形の美しさを学習する。	工芸論を履修していることが望ましい。 【教職】美術(中・高) 【教職】工芸(高)〔必修〕
	SI413	グラフィックデザイン論･演習C	3	3	選択必修	2	火3・4 115 117	井上征矢 劉賢国 西岡仁也	企業のブランド価値や認知度を高め、企業イメージの向上をはかる「ＣＩ計画」や「ＶＩ(Visual Identity)計画」の意義と機能を理解し、事例研究や既存ブランドのＶＩリニューアル計画課題を通して、ＶＩ計画の実践的な手法、進め方、展開方法等を習得する。	
	SI423	プロダクトデザイン論･演習C	3	3	選択必修	2	火3・4 工房	郭　龍旻	近未来に開発可能な新概念の乗りモノを提案することを最終の課題として設定している。新概念の乗りモノとは、今までなかった新しい乗りモノを意味する。どんな状況や環境で、乗るモノなのかについて仮説を設定する。デザインプロセスに沿って問題点の発見、コンセプト策定、スケッチによるアイデア展開する。スケールモデル制作を通じてデザイン・スキルを養成し、プロダクトデザインへの理解を深める。	
	SI433	アクセシブルデザイン演習A	1	3	選択必修	2	水2 115	井上征矢 鈴木拓弥 西岡仁也	課題の抽出から関連調査、解決案の提示とその評価に至るまでの一連の流れを具体的な研究課題を通じて実践し、グラフィックデザイン分野におけるアクセシビリティを向上させるためのプロセスや考え方について学ぶ。	
	SI443	アクセシブルデザイン演習B	1	3	選択必修	2	火2 114 113 工房	郭　龍旻 伊藤三千代 守屋誠太郎 横井聖宏	課題の抽出から関連調査、解決案の提示とその評価に至るまでの一連の流れを具体的な研究課題を通じて実践し、 プロダクトデザイン分野におけるアクセシビリティを向上させるためのプロセスや考え方について学ぶ。	
	SI453	アクセシブルデザイン演習C	1	3	選択必修	2	水1 113	河野純大 (内藤一郎) 皆川洋喜	課題の抽出から関連調査、解決案の提示とその評価に至るまでの一連の流れを具体的な研究課題を通じて実践し、 情報デザイン分野におけるアクセシビリティを向上させるためのプロセスや考え方について学ぶ。	
	SI463	Webデザイン論・演習	3	3	選択必修	1	金4・5 115	西岡仁也	HTML、CSS等Web基本から、DreamWeaverやCMSを使用したデザイン展開と応用を学習する。課題を通じて、Webサイトの計画立案からワイヤーフレームの作成、素材の作成、実装を経て、統合されたブランディングに基づいたサイト設計から運用までの、専門知識と実践のための具体的スキルを習得する。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考 (対象専攻，教職免許の教科等)
専門教育科目	SI473	デザインプレゼンテーション演習	2	3	選択	2	木4・5 115	鈴木拓弥 （山内実歌）	本授業は二部構成で実施する。本演習の前半では、意図や概念、価値を受信者に効果的に伝達するための表現手法やクリエイティブについて、問題解決型学習（PBL）を通じて修得する。本演習の後半では、自己の特性を把握し、適確に伝達する手法を学び、ポートフォリオを編集する。	【教職】美術(中・高) 原則としてエディトリアルデザイン論・演習の単位を修得済みであること
	SI483	デザイン史	2	3	選択	2	金1 113他	劉賢国	現代デザインにおいて流行のデザインの発想や新しい表現方法の情報を収集するとき、近代デザイン史の知識があればより理解が深まる。産業革命後、人々は自由と平等ともにデザインが生まれ、統一性のない断片的な寄せ集めのデザインから、現在ビジネスの場としてのデザイン史的な展開と、その意味を解説する。	【教職】美術(中・高)〔必修〕 【教職】工芸(高)〔必修〕
	SI493	感性科学	2	3	選択	2		横井聖宏	心地よさ、使いやすさ、楽しさなど、計測での評価が難しい事象について、客観的な評価法ならびに主観的な評価法（官能評価法）について学ぶ。主観的な評価法に際しては、統計的な検定を可能にするアンケートの作成法についても学ぶ。	R8年度は開講しない
	SI503	管理システム論	2	3	選択	2	月3,4 隔週 507	（浅見太一）	企業における情報処理の概要を解説し、管理情報システムの考え方、及びビジネス上で果たしている役割について概説する。	
	SI513	デザインプロジェクト実習	1	3	選択	1・2	集中 113他	（松森果林） 伊藤三千代	ユニバーサルデザインやインクルーシブデザインに関するプロジェクト事例をもとに、社会課題の発見と解決策や決定するまでのプロセスについて具体的手法を学習する。 設定されたテーマに対し、現場視察や調査、問題の発見と課題設定、デザイン提案などに取り組み、聴覚障がいの立場から、あるべき未来社会の姿を提言、発信できる力を身につける。	
	SI523	インターンシップ	2	3	選択	1・2	(1学期) 集中 202 (2学期) 水4集中 202	鈴木拓弥 伊藤三千代 田嶋美雪	デザイン学の専門分野に関する内容の企業実習等により、実社会の理解および大学での学習内容と企業活動の関連性を理解する。企業研究、エントリーシートの書き方等就職準備の進め方を学ぶ。	
	SI533	人間情報工学	2	4	選択	1	火1 509 510	加藤　伸子 皆川　洋喜 安　啓一	人間の感覚や行動についての情報処理に着目し、人間の思考や行動をモデル化し客観的に表現する手法、様々な環境における人間の思考や行動を分析する手法、人の感覚器について理解し感覚代行技術を検討する手法など、多岐に渡る応用分野について広く学習する。	
	SI543	デザインサーベイ演習	1	4	選択	1	火3 117	井上征矢 横井聖宏	自らの研究テーマに即した調査課題を通じて、デザインに関わる調査の立案から調査用紙の作成、実施、集計・分析に至るプロセスや方法、考え方について習得する。	
	SI553	建築史	2	4	選択	1	木2 423	北橋主税	古代から現代にいたるまでの西洋諸国と日本の建築・都市の歴史に沿って、各時代の技術・文化の中で築かれてきた建築・都市の特質、様式等を習得する。西洋建築史と日本建築史の具体的な事例を通して学習することにより、時代と地域特性による建築の変遷を把握し、建築の審美眼を養う。	【教職】工芸(高)
	SI563	ビジネスデータ処理論・演習	3	4	選択	1	水1・2 409 410	（井上正之）	ビジネスデータの処理の流れについて、その概略を学修する。具体的には、ビジネスデータの実際とその解析手法について学修する。さらに、演習によって実際的な理解を深める。	
	SI014	デザイン学特別研究1	2	4	必修	1	指導教員の指示による	各指導教員	クリエイティブデザイン学における学修の集約として、個々の専門分野に関する研究テーマや創造性のあるテーマを設定し、教員の指導の下で研究を行う。研究の成果を論文や作品等としてまとめ、発表する。	
	SI024	デザイン学特別研究2	4	4	必 修	2	指導教員の指示による	各指導教員	クリエイティブデザイン学における学修の集約として、個々の専門分野に関する研究テーマや創造性のあるテーマを設定し、教員の指導の下で研究を行う。研究の成果を論文や作品等としてまとめ、発表する。	

４　総合デザイン学科　支援技術学コース：アクセシブルデザイン学領域

専門教育系科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻，教職免許の教科等）
専門教育科目	SJ023	情報保障技術と活用	2	3	必修	1	木4 214他	三好茂樹 白澤麻弓	情報保障手段の組み合わせや配置、システムの構築や工夫、体験など、実際の場面での活用に繋がる実践的な内容を中心に進める。	
	SJ033	社会資源の実際	2	3	選択	1	集中	大杉豊（高山亨太）	社会福祉制度の概論を学ぶ講義と、きこえない人のための施設の見学及び実習で授業を構成し、自身の専門技術を現場でどのように活かせるのかを具体的に検討することを主要目的とする。	
	SJ043	障害者スポーツ	1	3	選択	2	木1 216他	中島幸則 向後佑香	障がいのある人が取り組むスポーツについて理解を深めるために、各種障がいの特性について学ぶとともに、スポーツ指導者に必要な知識や技能を、体験を通して身に着けることを目標とする。さらに、本学で開催される「障がい者スポーツイベント」において、企画、運営に関わり実践力を養う。	「初級パラスポーツ指導員」資格取得希望学生は必修
	SJ053	手話言語工学	2	3	選択	2	水3 520	大杉豊 菊地浩平	音声認識や機械翻訳と同様にコンピューターが手話表現を認識し、音声言語へ翻訳する将来の社会に向けて、研究に必要な基礎知識を身につけることを主要目的とする。具体的には、手話言語の構造の理解、分析・解析のための表記、音声翻訳の原理などを学ぶ。	
	SJ083	支援技術学演習B	1	3	必修	1	木5 プレゼンルーム	河野純大 ほか	支援や支援技術に関する幅広い分野について、講師陣が現在取り組んでいる最先端の研究や現場の実践について学び、支援技術に関する理解を深化させる。	
	SJ103	情報保障システム工学・演習＜情報系＞	3	3	選択	1	金1・2 507他	若月大輔 河野純大 白石優旗 西岡知之 安啓一	情報保障システムを構築する上で必要な工学について学ぶ。情報保障システムを実現するためのハードウェアやソフトウェアをはじめとして、構築されたシステムの運用に関することも対象とする．システムの試作や評価を通して、情報保障システムを工学的に理解し、構築するための基礎的な力を身につけることを目標とする。	
	SJ113	情報保障評価法・演習＜情報系＞	3	3	選択	2	金4・5 409 410 617他	渡辺知恵美 大川学	情報保障の効果を検証する上で必要な実験デザインや実施方法、得られた結果の分析方法について学ぶ。情報保障を評価した実例を題材として、情報保障を適切に評価する力を身につけることを目標とする。	
	SJ123	福祉機器設計学＜機械系＞	2	3	選択	2	火1 314	後藤啓光	福祉機器を構成する機械システム（軸接手、クラッチ、軸受け等）について、その種類および機能を述べ、それらの設計法を理解させる。	
	SJ133	福祉機器材料学＜機械系＞	2	4	選択	1	金1 304	谷　貴幸	産業界で多くの分野で使用されている材料であるプラスチック、半導体、セラミックスの基本的な特性について学習する。さらに、福祉機器分野を含む具体的な用途の適用例、それを実現するための加工方法を学ぶことによって、各種材料に関する知識を深める。	
	SJ153	福祉住環境デザイン論・演習＜建築系＞	3	4	選択	1	月4・5 423 428	櫻庭晶子	人間の諸活動の場として特化された住環境を対象に、福祉の視点から住空間の機能分析及び現代的課題、デザイン手法等を，講義と演習を一体として学習する。	
	SJ163	医療福祉施設計画論＜建築系＞	2	4	選択	2	火2 423	山脇博紀	医療施設と福祉施設を規定する制度と体系、そして計画手法を習得する．各施設のサービス、そして利用の様態等と空間との関係を論じ、施設を機能させる諸空間とその空間の連携について理解を深める。	
	SJ183	ヒューマンインタフェース論＜デザイン系＞	2	3	選択	1	木1 617	加藤伸子 河野純大 西岡知之 皆川洋喜	人間の感覚器・運動器・認知機構と、これらを補償・拡大するシステムやデザイン設計について学習する。人とコンピュータとのインタフェース技術やデザイン設計について基礎から応用まで幅広く学習し自分達の身の回りの実際の問題に適応できる力を身に付ける。ケーススタディを通じて人間とモノ・コト・情報等の関係性について理解を深める。	
	SJ393	産業技術プロジェクトＡ	1	2・3	選択	1・2	集中 509他	若月大輔 安啓一 渡辺知恵美 山脇博紀 北橋主税 西岡仁也 田嶋美雪	産業技術学部の各専門分野で培っている知識・技術を活用し、学内の現状を調査・分析し、発信する総合的学習を行う。「筑波技術大学の魅力を再発見し、より良い技大生活を創る」をテーマとして取り組む。	
	SJ403	産業技術プロジェクトＢ	1	2・3	選択	1・2	集中 202 他	総合デザイン学科全教員 田中豊大 （松森果林）	グループワークによって、各専門分野の知識や技術を相互に活かし、聾学校等の学外との連携によるプロジェクトの企画や運営を行う。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　　業　　概　　要	備　考 (対象専攻，教職免許の教科等)
専門教育科目	SJ413	デザイン学特別講義	2	3	選択	1・2	(1学期) 水3,4 集中 202 (2学期) 集中 202	河野純大 鈴木拓弥 他	企業におけるデザインの活動、マーケティングや市場動向の解説に企業見学を加え、大学での学修内容と企業のデザイン活動の関連性を理解させる。	
	SJ423	グラフィックデザイン論･演習A	3	3	選択 必修	1	月3・4 115 117	鈴木拓弥 田嶋美雪	広告デザインについて系統的かつ具体的に学修する。講義において広告対象の持つ魅力や課題の発見、分析、解決方法を学び、演習において実務的な知識と技術を身に着ける。実務的な課題やコンペティションを通じ、発想をクリエイティブに結びつけるプロセスを学び、デザイン・レイアウトを行う。	
	SJ433	グラフィックデザイン論･演習B	3	3	選択 必修	2	金4・5 115	西岡仁也 (永盛祐介) 横井聖宏	モーショングラフィックス、アニメーション、撮影と編集など、グラフィックデザインにおける映像表現の知識と技術を学び、メディアに合わせた定着に取り組む。課題を通してコンセプトの立案から、絵コンテの作成、レイアウトによる伝達効果など、時間軸の設計と視覚表現を統合的に理解する。	
	SJ443	プロダクトデザイン論･演習A	3	3	選択 必修	1・2	1学期 月5集中 114 2学期 金3集中 114	横井聖宏	プロダクトデザインのプロセスやユーザー調査の手法を学び、論理的にデザイン企画をおこなうための知識を身につけるとともに、コンセプト提案、デザイン案の可視化、３Ｄプリントによるモックアップ制作、ユーザー情報にもとづく分析・評価などの演習を通して、新たな感性価値を提供するデザイン企画の実践的な技能を習得する。	履修者は「デザインＣＡＤ・３Ｄ演習」（2年次配当）の単位を修得済みであることが望ましい。
	SJ453	プロダクトデザイン論･演習B	3	3	選択 必修	1	水1・2 工房	伊藤三千代	人間工学の基礎をもとに人体寸法と器具との関わり、環境要素と設備・家具のあり方などの理解を深める。スケッチやCADによる三面図、３Dパース、モデル制作を通して製品デザインの提案が出来る知識と技術を習得する。スケールモデルでの具体化展開を通じて、構造を理解し完成度の高い作品に仕上げる。	
	SJ463	情報デザイン論・演習	3	3	選択 必修	1	火1・2 507	皆川洋喜 (内藤一郎) 河野純大	情報デザインに関する応用的な思考力と技能を身につけるために，実社会における課題をデザイン思考により解決する．現場の観察，課題の抽出，アイディア出し，プロトタイプ制作，テストの各ステップについて実践的に取り組み，イノベーション創出につなげる力を身につける．	
	SJ473	クリエイティブデザイン演習	2	3	選択	1	火3・4 115 117	鈴木拓弥	広告やWebなど、各種媒体のデザイン技法について、主に写真とDTPについて学修する。デザインに必要な撮影機材の使い方、撮影技法、画像処理など、写真に関する演習、及びDTP環境下におけるクリエイティブについて、実務的な図版作成やレイアウトを通じ、展開力を身につける。複数のグラフィックスアプリケーションを用い、写真、文字、グラフィックを操る技術と知識を実践的に習得する。	【教職】美術(中・高)
	SJ483	マーケティング論・演習	3	3	選択	1	月1・2 507	河野純大	講義では，人の嗜好や意思決定の仕組みを知るための基礎的理論と，対象となる人や競合となるモノなどをリサーチする方法論について学習する．演習では，マーケティング戦略立案，商品開発，広告宣伝活動など，総合企画力を実践的に取得する．	
	SJ493	人間工学	2	3	選択	1	木3 113	伊藤　三千代 井上　征矢 河野　純大 皆川　洋喜 西岡　仁也 横井　聖宏	人間の身体的・認知的・心理的特性や人間の行動の特性を理解することで、誰もが直感的に使える、使いやすく快適で疲労が少ない、安全な機器・環境・作業をつくり出すための考え方や手法について学ぶ。障害者や高齢者に安全で使いやすい生活環境とデザインについての理解が深まるように多岐に渡る応用分野についても広く学習する。	【教職】工芸(高)
	SJ503	多変量データ解析法・演習	3	3	選択	1	金4・5 113	皆川洋喜	アンケート等の多項目のデータを分析する手法について、仮説の立て方、データの収集方法、データの解析方法、解析結果の評価方法、解析結果の報告方法を、一連の流れとして実践的に学習する。	
	SJ513	グラフィックデザイン論･演習C	3	3	選択 必修	2	火3・4 115 117	井上征矢 劉賢国 西岡仁也	企業のブランド価値や認知度を高め、企業イメージの向上をはかる「ＣＩ計画」や「ＶＩ(Visual Identity)計画」の意義と機能を理解し、事例研究や既存ブランドのＶＩリニューアル計画課題を通して、ＶＩ計画の実践的な手法、進め方、展開方法等を習得する。	
	SJ523	プロダクトデザイン論･演習C	3	3	選択 必修	2	火3・4 工房	郭　龍旻	近未来に開発可能な新概念の乗りモノを提案することを最終の課題として設定している。新概念の乗りモノとは、今までなかった新しい乗りモノを意味する。どんな状況や環境で、乗るモノなのかについて仮説を設定する。デザインプロセスに沿って問題点の発見、コンセプト策定、スケッチによるアイデア展開する。スケールモデル制作を通じてデザイン・スキルを養成し、プロダクトデザインへの理解を深める。	

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考 (対象専攻，教職免許の教科等)
専門教育科目	SJ533	アクセシブルデザイン演習A	1	3	選択必修	2	水2 115	井上征矢 鈴木拓弥 西岡仁也	課題の抽出から関連調査、解決案の提示とその評価に至るまでの一連の流れを具体的な研究課題を通じて実践し、グラフィックデザイン分野におけるアクセシビリティを向上させるためのプロセスや考え方について学ぶ。	
	SJ543	アクセシブルデザイン演習B	1	3	選択必修	2	火2 114 113 工房	郭　龍旻 伊藤三千代 守屋誠太郎 横井聖宏	課題の抽出から関連調査、解決案の提示とその評価に至るまでの一連の流れを具体的な研究課題を通じて実践し、 プロダクトデザイン分野におけるアクセシビリティを向上させるためのプロセスや考え方について学ぶ。	
	SJ553	アクセシブルデザイン演習C	1	3	選択必修	2	水1 113	河野純大 (内藤一郎) 皆川洋喜	課題の抽出から関連調査、解決案の提示とその評価に至るまでの一連の流れを具体的な研究課題を通じて実践し、 情報デザイン分野におけるアクセシビリティを向上させるためのプロセスや考え方について学ぶ。	
	SJ563	Webデザイン論・演習	3	3	選択必修	1	金4・5 115	西岡仁也	HTML、CSS等Web基本から、DreamWeaverやCMSを使用したデザイン展開と応用を学習する。課題を通じて、Webサイトの計画立案からワイヤーフレームの作成、素材の作成、実装を経て、統合されたブランディングに基づいたサイト設計から運用までの、専門知識と実践のための具体的スキルを習得する。	
	SJ573	デザインプレゼンテーション演習	2	3	選択	2	木4・5 115	鈴木拓弥 (山内実歌)	本授業は二部構成で実施する。本演習の前半では、意図や概念、価値を受信者に効果的に伝達するための表現手法やクリエイティブについて、問題解決型学習（PBL）を通じて修得する。本演習の後半では、自己の特性を把握し、適確に伝達する手法を学び、ポートフォリオを編集する。	【教職】美術(中・高) 原則としてエディトリアルデザイン論・演習の単位を修得済みであること
	SJ583	デザイン史	2	3	選択	2	金1 113他	劉賢国	現代デザインにおいて流行のデザインの発想や新しい表現方法の情報を収集するとき、近代デザイン史の知識があればより理解が深まる。産業革命後、人々は自由と平等ともにデザインが生まれ、統一性のない断片的な寄せ集めのデザインから、現在ビジネスの場としてのデザイン史的な展開と、その意味を解説する。	【教職】美術(中・高)〔必修〕 【教職】工芸(高)〔必修〕
	SJ593	感性科学	2	3	選択	2		横井聖宏	心地よさ、使いやすさ、楽しさなど、計測での評価が難しい事象について、客観的な評価法ならびに主観的な評価法（官能評価法）について学ぶ。主観的な評価法に際しては、統計的な検定を可能にするアンケートの作成法についても学ぶ。	R8年度は開講しない
	SJ603	管理システム論	2	3	選択	2	月3,4 隔週 507	(浅見太一)	企業における情報処理の概要を解説し、管理情報システムの考え方、及びビジネス上で果たしている役割について概説する。	
	SJ613	デザインプロジェクト実習	1	3	選択	1・2	集中 113他	(松森果林) 伊藤三千代	ユニバーサルデザインやインクルーシブデザインに関するプロジェクト事例をもとに、社会課題の発見と解決策や決定するまでのプロセスについて具体的手法を学習する。 設定されたテーマに対し、現場視察や調査、問題の発見と課題設定、デザイン提案などに取り組み、聴覚障がいの立場から、あるべき未来社会の姿を提言、発信できる力を身につける。	
	SJ623	インターンシップ	2	3	選択	1・2	(1学期) 集中 202 (2学期) 水4集中 202	鈴木拓弥 伊藤　三千代 田嶋美雪	デザイン学の専門分野に関する内容の企業実習等により、実社会の理解および大学での学習内容と企業活動の関連性を理解する。企業研究、エントリーシートの書き方等就職準備の進め方を学ぶ。	
	SJ633	人間情報工学	2	4	選択	1	火1 509 510	加藤　伸子 皆川　洋喜 安　啓一	人間の感覚や行動についての情報処理に着目し、人間の思考や行動をモデル化し客観的に表現する手法、様々な環境における人間の思考や行動を分析する手法、人の感覚器について理解し感覚代行技術を検討する手法など、多岐に渡る応用分野について広く学習する。	
	SJ643	デザインサーベイ演習	1	4	選択	1	火3 117	井上征矢 横井聖宏	自らの研究テーマに即した調査課題を通じて、デザインに関わる調査の立案から調査用紙の作成、実施、集計・分析に至るプロセスや方法、考え方について習得する。	
	SJ653	ビジネスデータ処理論・演習	3	4	選択	1	水1・2 409 410	(井上正之)	ビジネスデータの処理の流れについて、その概略を学修する。具体的には、ビジネスデータの実際とその解析手法について学修する。さらに、演習によって実際的な理解を深める。	
	SJ014	アクセシブルデザイン学特別研究1	2	4	必修	1	各指導教員の指示による	各指導教員	アクセシブルデザイン学における学修の集約として、個々の専門分野に関する研究テーマや創造性のあるテーマを設定し、教員の指導の下で研究を行う。研究の成果を論文や作品等としてまとめ、発表する。	
	SJ024	アクセシブルデザイン学特別研究2	4	4	必修	2	各指導教員の指示による	各指導教員	アクセシブルデザイン学における学修の集約として、個々の専門分野に関する研究テーマや創造性のあるテーマを設定し、教員の指導の下で研究を行う。研究の成果を論文や作品等としてまとめ、発表する。	

総合デザイン学科

各科目の開講学期・曜時限，担当教員及び授業概要

令和６年度以前の入学者対象　再開講科目

再開講科目　【令和２年度から令和６年度の入学者対象】

１　総合デザイン学科（教養教育系科目）

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
教養教育科目	SH081	現代的自然観	2	1	選択	2		新田伸也	20C前半の物理学革命の根幹の一つであり現代文明の基礎でもある相対論の骨子を理解する。相対論のもたらしたパラダイムシフトによって人類の世界観がどれほど変わったかを体感する。	［隔年開講］ R8年度は開講しない
	SH091	宇宙地球科学	2	1	選択	2	集中	新田伸也	身近な現象から天体現象の理解までが、物理学と言う共通の論理体系でなされる事を実感する。天体物理／地球物理現象を教材にして、基礎的な物理学、数学と自分たちの頭を使って、自然現象を理解する事の楽しさを実感する。	［隔年開講］
	SH271	ドイツ語１	1	2	選択	1	集中	未定	ドイツ語とドイツ語圏文化の学習によって自律的学習者を育成することを目標とする。授業では視覚教材や学習アプリを多用して、語学学習の新しい方向を経験してもらう。学習アプリを使う双方向授業、ネット検索、グループワーク、動画の字幕を読むなど多様な学習を行い、自己表現の意欲や知識探求への積極性を育てたい。	
	SH281	ドイツ語２	1	2	選択	2	集中	未定	ドイツ語とドイツ語圏文化の学習によって自律的学習者を育成することを目標とする。授業では視覚教材や学習アプリを多用して、語学学習の新しい方向を経験してもらう。学習アプリを使う双方向授業、グループワーク、動画に加えて映画の字幕を読むなど多角的な学習を行い、さらなる自己表現や知識探求への積極性を育てたい。	
	SH291	フランス語１	1	2	選択	1	集中	未定	フランス語の基礎を習得する。日常的な語彙と基本的な文法事項を、練習問題を繰り返し行うことによってしっかり身につける。平易なフランス語の文章を辞書を用いながら読めるようになることが目標である。	
	SH301	フランス語２	1	2	選択	2	集中	未定	フランス語の基礎を習得する。日常的な語彙と基本的な文法事項を、練習問題を繰り返し行うことによってしっかり身につける。平易なフランス語の文章を辞書を用いながら読めるようになることが目標である。	
	SH531	コミュニケーションと社会環境	2	1	選択	2	集中 講堂 オンライン	河野純大 加藤伸子 若月大輔 皆川洋喜 渡辺知恵美	私たちは、現代社会の様々なコミュニケーション環境を通して常に情報を受け取り、発信もしている。私たちに馴染みの深いメディアを取り上げ、その仕組みや人間との相互関連について学ぶ。また、様々なメディアからの情報を利用する私たち自身の行動を顧みることを通して、社会環境としての情報メディアのあり方も考える。	
	SH541	聴覚障害教育と心理	2	2	選択	1	集中	長南浩人	本授業では聴覚障害教育を聴覚障害者に関する心理について、言語、認知、コミュニケーション、社会性およびパーソナリティの学問的知見を根拠として科学的に斯界のあり方について検討し、学生が字の育ちを振り返ることを通して、今後の教育の在り方を検討する。	
	SH561	企業と社会	2	1	選択	2	集中 214	黒木速人 倉田成人 山脇博紀 郭龍旻 鈴木拓弥 櫻庭晶子 北橋主税 辻田容希	自立して社会へ巣立ってゆく学生たちは、いずれは企業・組織の一員となるか、何らかの局面で企業・組織との関わりを持つことになる。本講義は、日本の企業の歴史から現代社会における企業の実体に至るまで言及。学生に「企業と社会」に関しての理解を深める。	
	SH571	きこえない人の生活文化	2	2	選択	2	集中	大杉豊	国内外の社会できこえない人の生活文化がどのような形で芸術作品や文化施設に反映されてきているのかを探究することを目的として、芸術作品の鑑賞や文化施設の視察を通してグループディスカッションと図解レポート作成を主体とした授業を展開する。（学外授業を一日実施する。）	

２　総合デザイン学科（デザイン学基礎教育科目）

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
デザイン学基礎教育科目	SH042	芸術と技術	2	1	選択	1	集中 202	劉　賢国	芸術と技術を融合により現代創造文化の歴史的な発展について解説する。量産を前提とする造形制作および、芸術を支える技術によって触発される創造的な現代デザイン文化についての理解を深める。また、技術発展に伴って表現物の制作概念の変化、実用性によって期待される造形の無限な可能性について総合的な観点から解説する。	【教職】美術(中・高)

３　総合デザイン学科　クリエイティブデザイン学コース

専門教育系科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考（対象専攻，教職免許の教科等）
専門教育科目	SI083	タイポグラフィ論・演習	3	2	選択	1	集中	劉賢国	グラフィックデザインの目的にあわせた印刷・ディスプレイ画面用書体を選択し、読者が理解しやすく効果的に組む技術と理論を学習する。実践として、文字と道具、紙と活字等で形成する日本語組版の演習を行う。また、創作レタリングのプロセスや文字組版についての使い方を身につける。そして、書体（フォント）製作技術の変化がタイポグラフィの世界に与えた影響についての理解を深める。	【教職】美術(中・高)
	SI093	デザイン製図論・演習	3	2	選択	1		横井聖宏	図学・製図の基本的なルールについて学び、読図・製図の知識を身につけるとともに、演習を通してデザイン案を適切に図面で表現するための実践的な技能を習得する。	【教職】工芸(高)〔必修〕 R8年度は開講しない
	SI173	材料学	2	2	選択	2	集中	郭　龍旻	プロダクトデザインに関わる主要材料の特性及び加工方法、生産技術について解説する。デザイナーに求められるデザイン設計技術を習得する。さまざまな材料の加工、サンプルの観察を通し材料の特性と適用性、エコロジーデザインについても考察し、デザインと材料の関係について理解を探める。	【教職】美術(中・高) 【教職】工芸(高)
	SI213	日本語テクニカルライティング	1	2	選択	2	集中	河野純大	専門科目でのレポートや卒業論文を作成するために、簡潔で誤解のない文章を書く技術の習得を目指す。短い文章で正確に伝えるための情報伝達型の文章の書き方について演習を行う。	
	SI223	画像処理論・演習	3	2	選択	2	集中	皆川洋喜	デジタル画像についての基本的な知識を身に付け、さらにその処理方法について画像処理ソフトを用いた演習を通して体験的に理解する。	

４　総合デザイン学科　支援技術学コース：アクセシブルデザイン学領域

専門教育系科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教　室	担当教員	授　業　概　要	備　考（対象専攻，教職免許の教科等）
専門教育科目	SJ063	支援技術学論	2	2	必修	1	集中	支援技術学コース担当教員全員	情報保障工学、福祉機器、福祉住環境、アクセシブルデザインの各支援技術学コースの領域に関する基本的な知識を習得する。	
	SJ073	支援技術学演習Ａ	1	2	必修	1	集中	支援技術学コース担当教員全員	情報保障工学、福祉機器、福祉住環境、アクセシブルデザインの各支援技術学コースの領域に関する基本的な知識を演習形式で習得する。	
	SJ253	タイポグラフィ論・演習	3	2	選択	1	集中	劉賢国	グラフィックデザインの目的にあわせた印刷・表示用書体を選択し、読者が理解しやすく効果的に組む技術と理論を学習する。実践として、文字と道具、紙と活字等で形成する日本語組版の演習を行う。また、創作レタリングのプロセスや文字組版についての使い方を身につける。そして、書体製作技術の変化がタイポグラフィの世界に与えた影響についての理解を深める。	【教職】美術(中・高)
	SJ263	デザイン製図論・演習	3	2	選択	1		横井聖宏	図学・製図の基本的なルールについて学び、読図・製図の知識を身につけるとともに、演習を通してデザイン案を適切に図面で表現するための実践的な技能を習得する。	【教職】工芸(高)〔必修〕 R8年度は開講しない
	SJ333	材料学	2	2	選択	2	集中	郭　龍旻	プロダクトデザインに関わる主要材料の特性及び加工方法、生産技術について解説する。デザイナーに求められるデザイン設計技術を習得する。さまざまな材料の加工、サンプルの観察を通し材料の特性と適用性、エコロジーデザインについても考察し、デザインと材料の関係について理解を探める。	【教職】美術(中・高) 【教職】工芸(高)
	SJ373	日本語テクニカルライティング	1	2	選択	2	集中	河野純大	専門科目でのレポートや卒業論文を作成するために、簡潔で誤解のない文章を書く技術の習得を目指す。短い文章で正確に伝えるための情報伝達型の文章の書き方について演習を行う。	
	SJ383	画像処理論・演習	3	2	選択	2	集中	皆川洋喜	デジタル画像についての基本的な知識を身に付け、さらにその処理方法について画像処理ソフトを用いた演習を通して体験的に理解する。	